

# AG5 プロジェクト 2020 年度 最終報告書

2021 年 2 月 28 日 提出

文責：AG5 プロジェクトコーディネーター

平岩 佐江子

## 目次

1. 2020 年度事業概要（要約）
  - 1.1. 日本人学校教員によるオンライン出前授業の実施
  - 1.2. 日系人としてのアイデンティティ形成のための教材開発
  
2. 日本人学校教員によるオンライン出前授業
  - 2.1. 日程、授業学年
  - 2.2. 出前授業の様子
  - 2.3. 今後の課題等
  
3. 副読本活用事例集、移住かるた制作について
  
4. 総括～本年度の成果および来年度の見通し～

## 1. 2020年度事業概要（要約）

アスンシオン日本人学校（以下、本校）では「南米日系人及び現地コミュニティにおける日本型教育・日本語教育の発信・普及のためのプログラム開発」に、2017年より取り組んでいる。

本年度は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、2020年3月よりパラグアイ全土で全面的なロックダウンが実施されたため、本事業に多大なる影響が及んだ。ロックダウンはその後段階的に解除されたものの、学校教育は公立学校・私立学校ともに対面授業は中止され、2020年度はオンライン授業のみの実施となった（2021年2月より新年度が開始しているが、オンライン授業のみの実施をしている学校がまだまだ多い状況である）。そのような状況下、実施可能な取り組みは以下の通りとなった。

### 1.1 日本人学校教員によるオンライン出前授業の実施

### 1.2 日系人としてのアイデンティティ形成のための教材開発

※例年実施していた「日本人学校および日本語学校の合同教員研修会（モデル授業）」および「書写指導」は、本年度は対面授業の中止により、実施不可。

### 1.1 日本人学校教員によるオンライン出前授業の実施

- ・ アスンシオン日本語学校の小・中学生に対するオンライン出前授業（全6回、9月および10月に実施）

本プロジェクトの第一の協力・支援先である、アスンシオン日本語学校（以下、日語校）における小・中学生に対する出前授業は、2017年、2018年、2019年度と毎年行ってきた、本事業の重要な取り組みの一つである。

本年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響のため、出前授業の予定は当初は立たなかったものの、日語校の関校長先生からの強い要請により、オンラインにて出前授業を実施することが決定した。

授業は全6回で、9月および10月に実施した。本オンライン授業は、日本語教師の方々の研修も兼ねていたことと、オンラインでの開催だったこともあり、地方都市や日系移住地にある各日本語学校（アマンバイ日本語学校、イグアス日本語学校、エステ日本語学

校、エンカルナシオン日本語学校、チャベス日本語学校、ピラポ日本語学校、ラ・コルメナ日本語学校、ラパス日本語学校) から多くの見学者をお迎えすることができた。

授業はチームティーチング（以下、TT）形式ではなく、基本的には本校教員が日本語のみで授業を行い、必要があった場合にのみ、日語校の担当教師がスペイン語で通訳を行ってサポートするという形で行った。

試みとしてのオンライン形式ではあったが、結果として、オンライン出前授業は好評を博すことができた（参加者アンケート参照）。

## **1.2 日系人としてのアイデンティティ形成のための教材開発**

本年度の教材開発の取り組みとして、『わたしたちのパラグアイ 第3版』の『活用事例集』、および『パラグアイ 移住かるた』を作成した。

・『活用事例集』について.....昨年度制作した副読本『わたしたちのパラグアイ 第3版』を、本校教員および日本語学校の教師の方々が実際の指導で活用する際に参考にできるような活用事例集。

・『パラグアイ 移住かるた』について.....パラグアイへの日系人の移住の歴史を知ることができるような教材。

## 2. 日本人学校教員によるオンライン出前授業

出前授業は全6回で、前半3回を9月、後半3回を10月に実施。

アプリケーションはZOOMを使用した。

### 2.1. 日程、授業学年

前半（9月）

回	第1回	第2回	第3回
日程	9月12日(土)	9月19日(土)	9月26日(土)
時程	10:00~10:50	13:00~13:45	10:00~10:45
授業者	加藤校長	伊原教諭	金元教諭
学年	中学部2・3年	小学部6年	小学部4・5年
教科	社会または総合 (副読本を使用した授業)	理科 (実験の演示を含む授業)	社会または総合 (副読本を使用した授業)

後半（10月）

回	第4回	第5回	第6回
日程	10月10日(土)	10月14日(水)	10月17日(土)
時程	9:00~9:45	15:00~15:45	15:00~15:50
授業者	田中教諭	大家教諭	ブラッシュ鳥越教諭
学年	小学部3年	小学部4・5年(平日)	中学部1年
教科	社会	国語	特別活動 (進路)

### 2.2. 出前授業の様子

#### ・第1回：概観

日本人学校教員による日本語学校へのオンライン出前授業を実施。

コロナ禍による初めての試みであったが、日本語教師の皆様の研修会も兼ねて、全パラグアイの日本語学校より計37名の参観者を迎え、さらに日本より森茂先生、見世先生、拝野先生もご参観くださり、大盛況となった。

生徒たちがグループワークをしている20分の間に、日本人学校教員と参観者による意見交換会を



実施した。普段の授業の悩みなどを相談していただく場にすることができた。また、AG5 プロジェクトを通して、日本人学校へ望むことは何かについても伺いました。

### 単元名 30年後の首都アスンシオンの街づくりを考えよう

今日の授業の流れは？

- ★ 1 副読本「わたしたちのパラグアイ第3版」の紹介
- ★ 2 副読本の写真ページを見て、街の変化を感じてみる
- ★ 3 日本の中学校の地理の教科書で都市問題を学ぼう
- ★ 4 首都アスンシオンのよいところと課題を考えよう
- ★ 5 世界の都市の工夫を知ろう
- ★ 6 30年後の首都アスンシオンの街づくりをグループで考えよう
- ★ 7 各グループの考えを発表しよう
- ★ 8 今日の授業の感想を聞かせてください

### 生徒たちの様子

Zoom ミーティング

レコーディング

アスンシオン日本語学校 MASAARI KATO アスンシオン日本語学校 Issei Suzuki Moriya Yasumi

Mai Endo Ami Endo sungmi pessoa mia kojima Kazuki Taniwaki

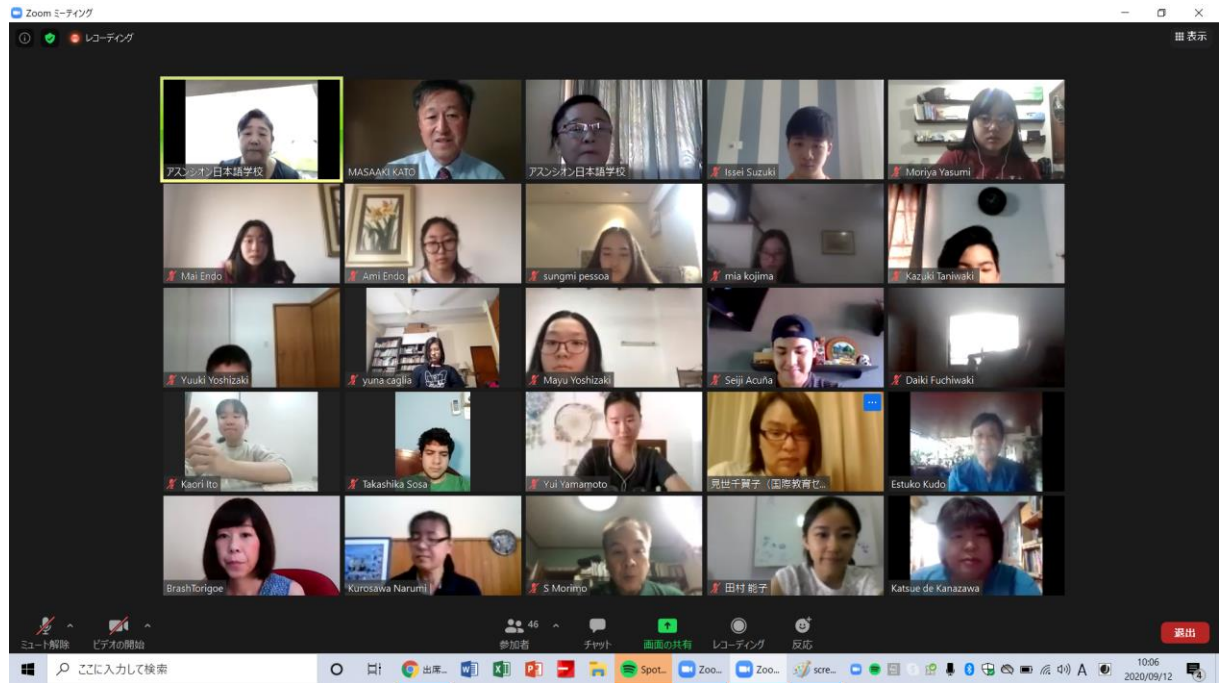
Yuuki Yoshizaki Yuna caaglia Mayu Yoshizaki Daiki Fuchiwaki Kaori Ito

Yui Yamamoto Takashika Soso Seiji Acuña

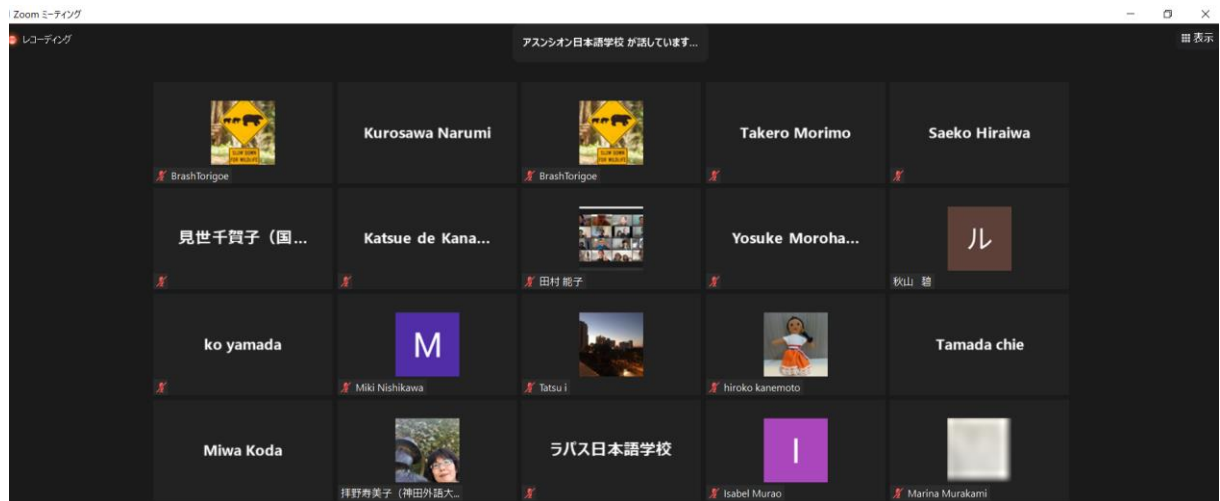
ここにを入力して検索

10:11 2020/09/12

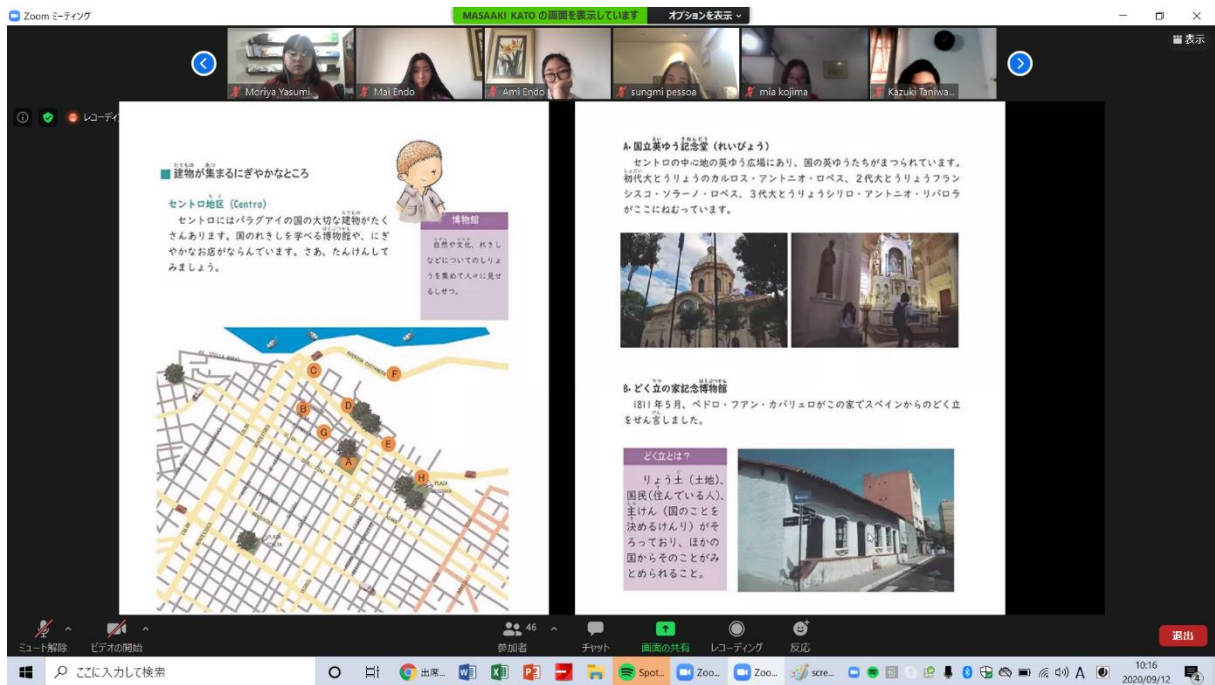
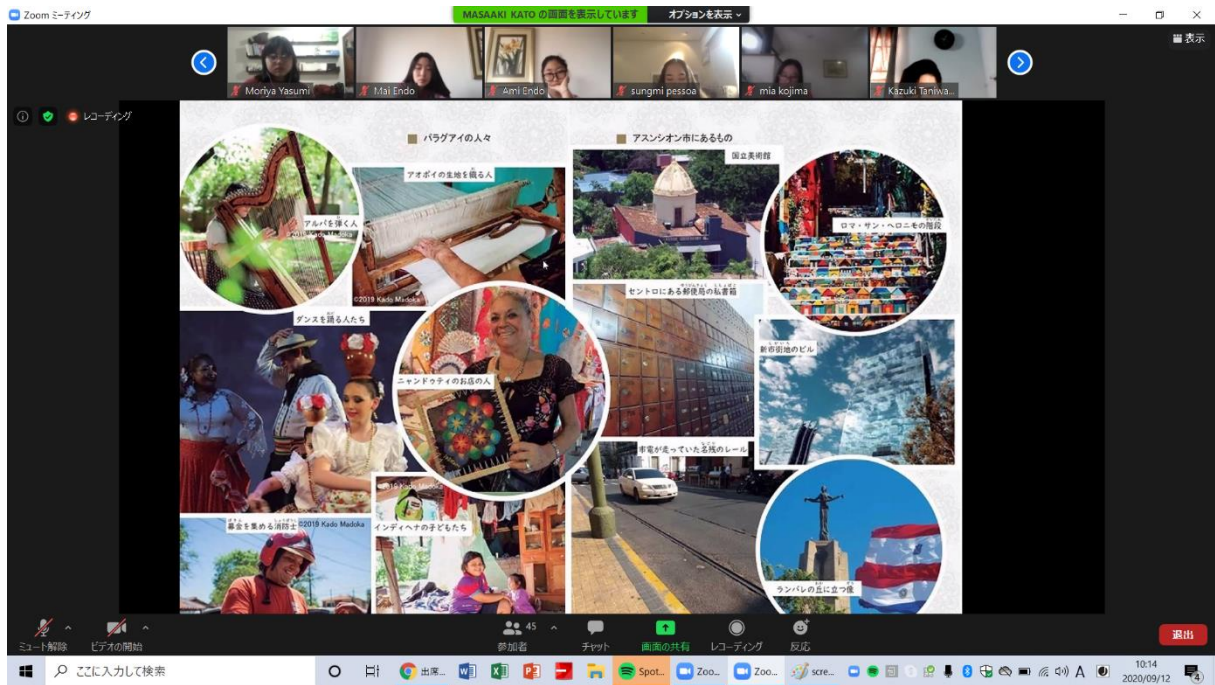
参観者の様子 1



参観者の様子 2 (授業中は、参観者はビデオ・音声をオフ。さらにビデオをオフにしている参加者を非表示にして、生徒たちが参観者を気にしないように工夫した。)



# 授業の様子 1 副読本の紹介・街の変化を感じよう





Zoom ミーティング MASAAKI KATO の画面を表示しています オプションを表示

Moriya Yasumi, Mai Endo, Ami Endo, sungmi pesso, mia kojima, Kazuki Tanino

1 スーパーマーケットではたらく人

スーパーマーケットの人から話を聞こう。

わたしたちがよく利用しているスーパーマーケットでは、たくさんの方が働いています。お店の中には、買い物に来たお客さんたくさんいます。スーパーマーケットが、どのようにしてたくさんのお客さんに買い物に来てもらえるように工夫しているのかを調べてみましょう。

買う人になって考えよう  
 買い物のしかたについてくわしく調べるために、家の人に聞いてみましょう。

どんなことに気をつけて品物を選びますか。  
 ( )  
 ( )  
 お店にもっとこうしてほしいというねがいはありませんか。  
 ( )  
 家の人は、いろいろなねがいをもって、買物をしてしているということがわかりました。スーパーマーケットでは、買う人のねがいに合わせて、どのように工夫があるか、見学したり、お店の人にインタビューしたりしてみましょう。

海のない国のおいしいお魚  
 スーパーで売っている魚にはどんなものがあるでしょうか。ドラド (Dorado)、スルビ (Surubi)、チカラビラ (Tikarabi) と聞いて、どの魚のことかわかりますか。ドラドはまぐろのどおり色の魚で、英語ではスーパータイガーといいますが、スルビはナマズのような大きな魚です。チカラビラは身がおいしい魚で、あらこでよく使われています。これらはすべて冷凍で売られています。魚をとりすぎないようにきんぎょ節 (魚をとってはいけない期間) があります。

10:17 2020/09/12

Zoom ミーティング

yune ragla, Mayu Yoshizaki, Daiki Fuchiwa..., Iul Yamamoto, Seiji Acuna, Takashika Sora

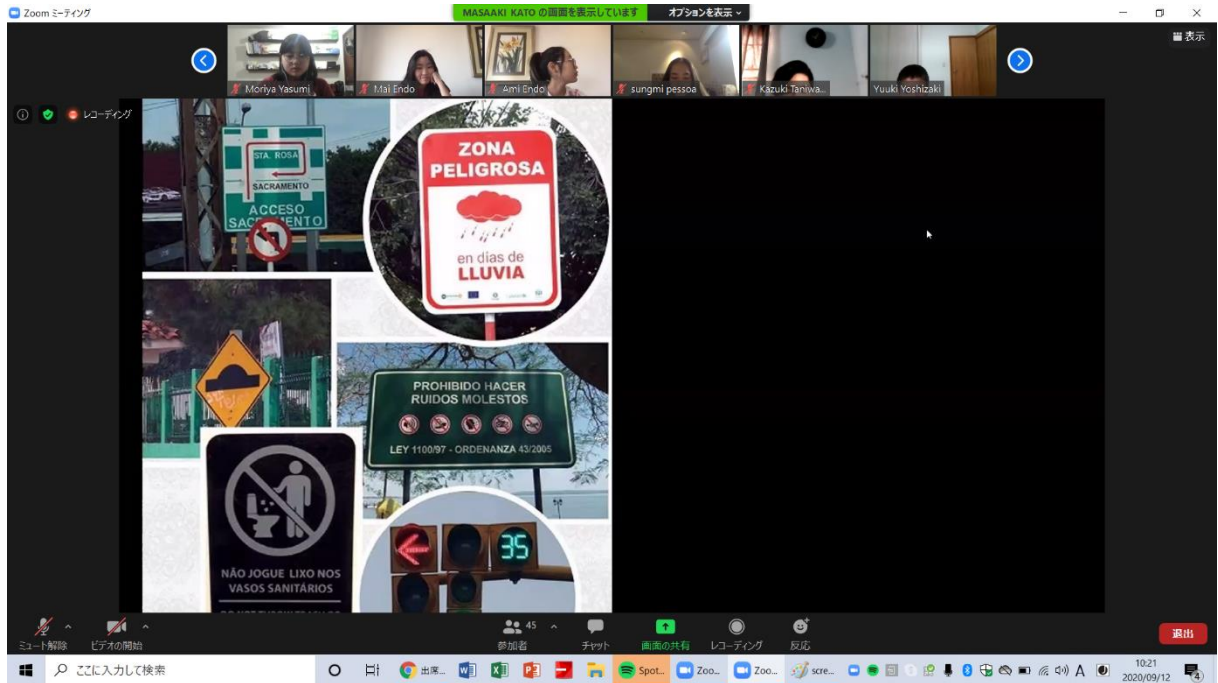
第2部

パラグアイ共和国について学ぼう

現地理解資料

78 79

10:19 2020/09/12

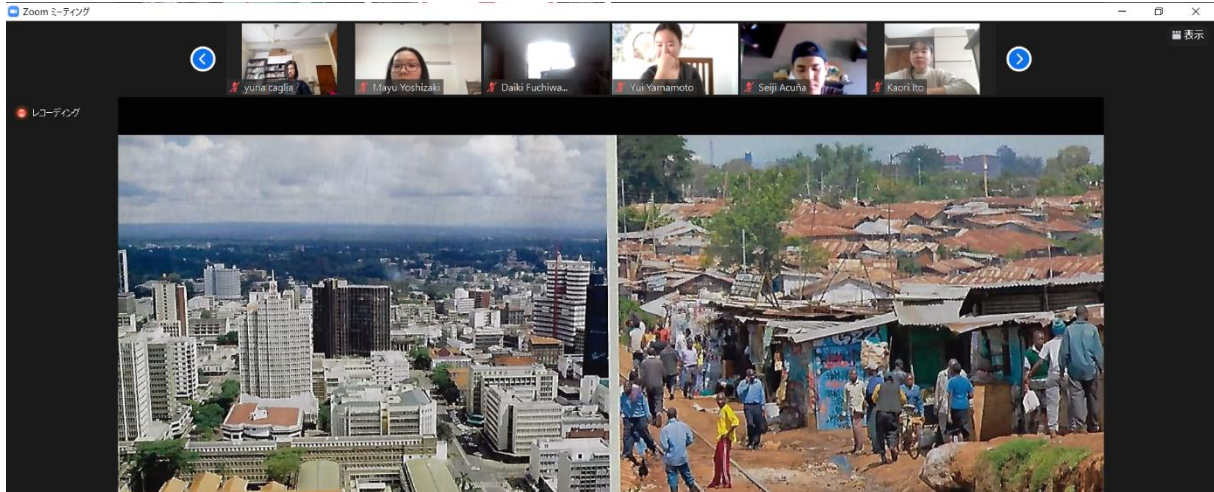


## 授業の様子 2 日本の地理の教科書で都市問題を学ぼう







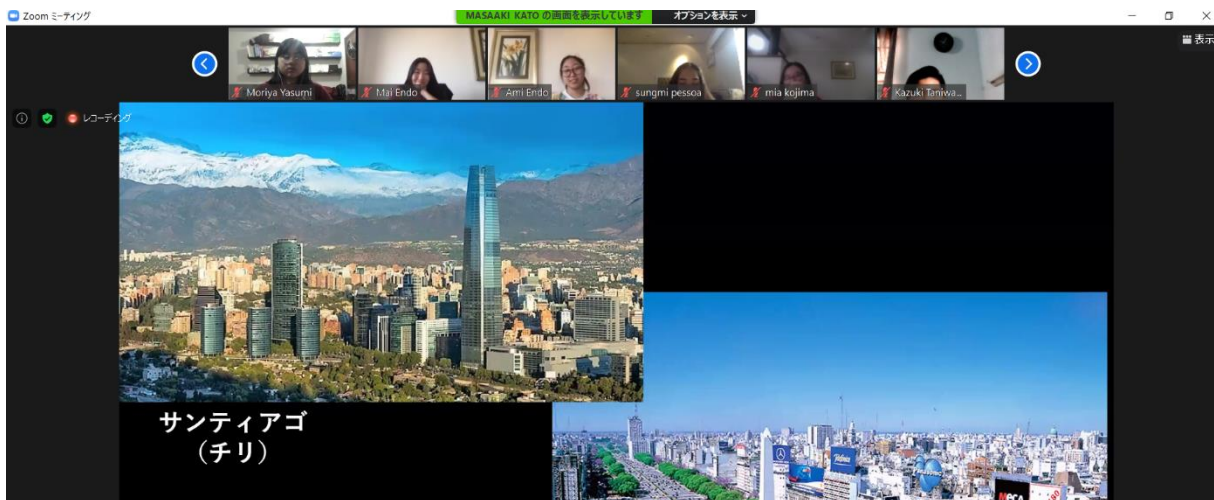


MASAOKI KATO の画面を表示しています オプションを表示

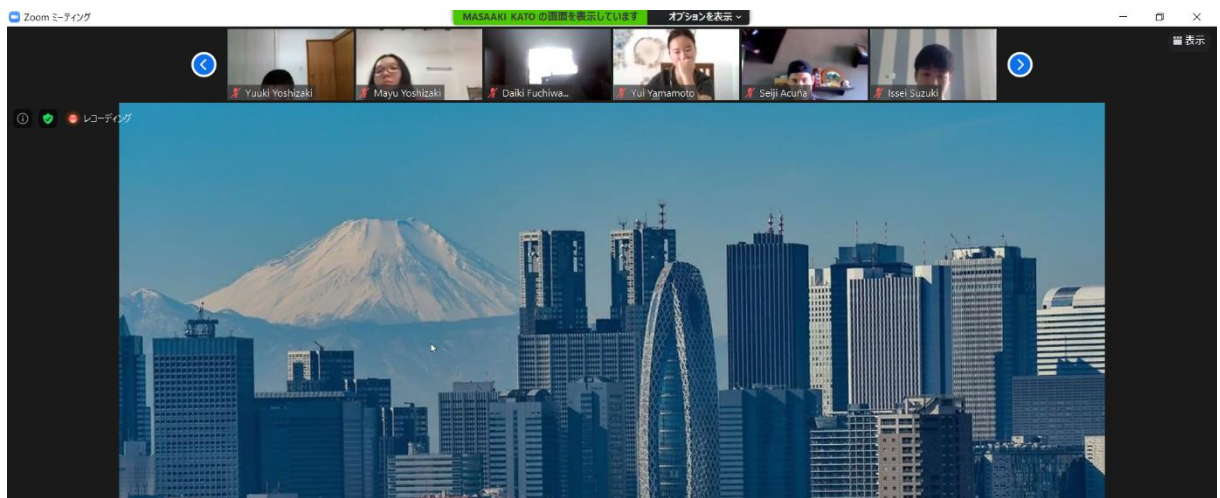
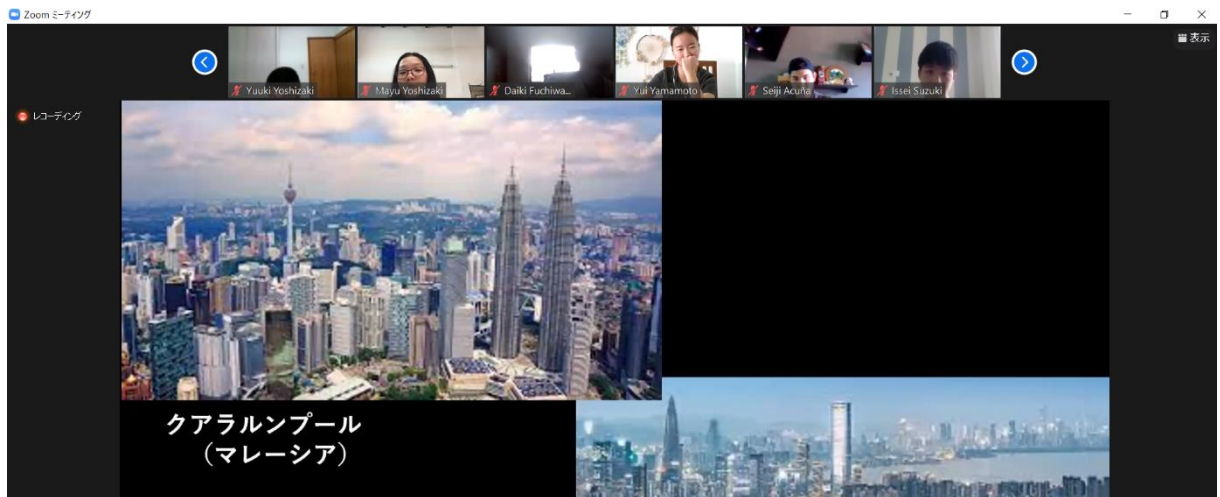
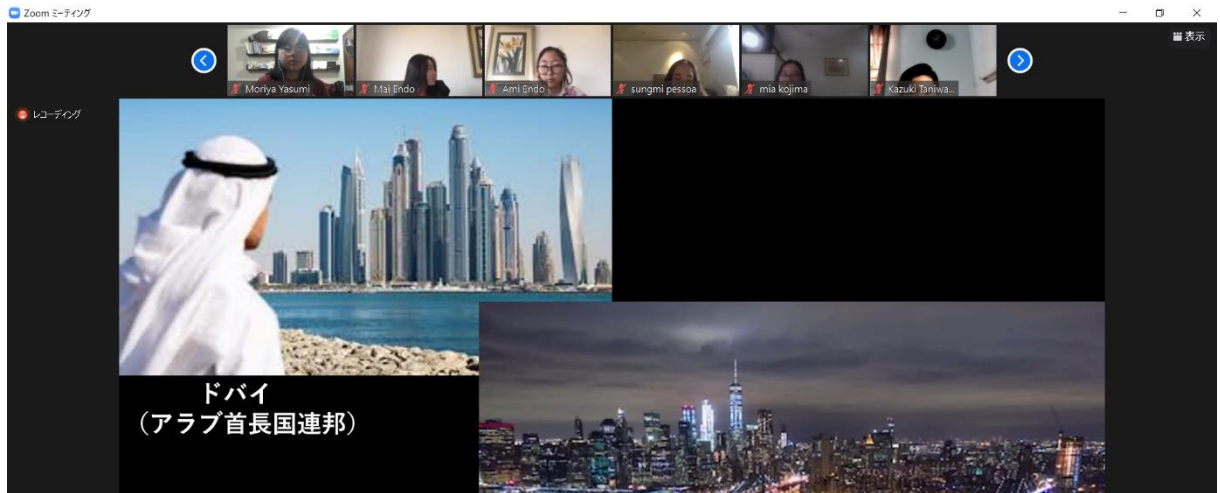
急速な都市化と課題 農村からの人口の流入と高い出生率により、タイのバンコクやインドネシアのジャカルタなど東南アジアの都市では、1960年代から人口が急速に増えました。川や鉄道の線路に沿ってスラムができたり、交通渋滞が激しくなったりするなど、さまざまな都市問題が起っています。

また、ASEAN 諸国は、工業団地を造ったり、外国の企業が工場を造りやすくしたりする政策を採ってきたため、急速に成長する都市も現れました。生活が豊かになるにつれ、新たなショッピング

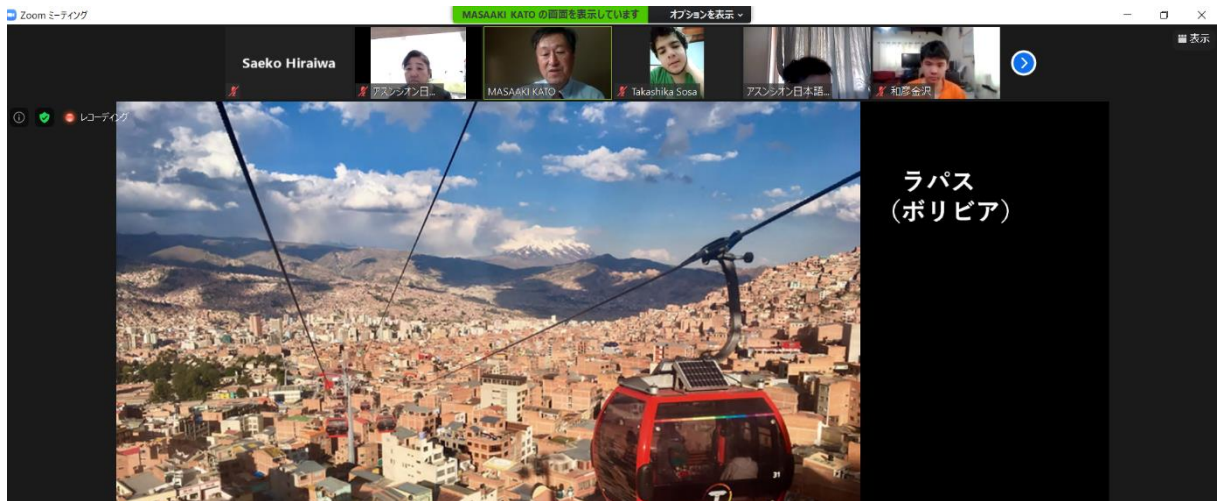
### 授業の様子 3 世界の都市の工夫を知ろう

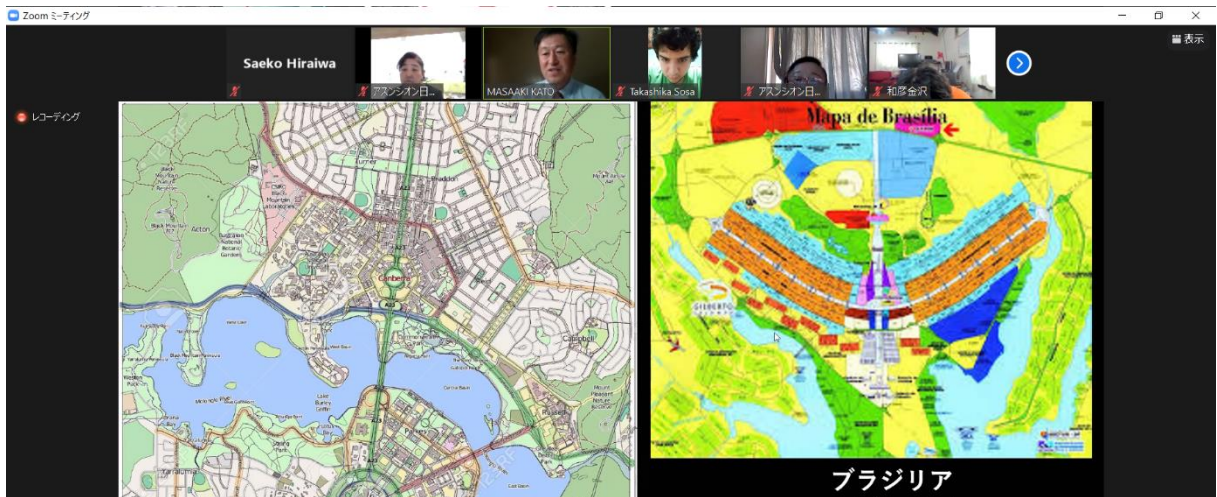










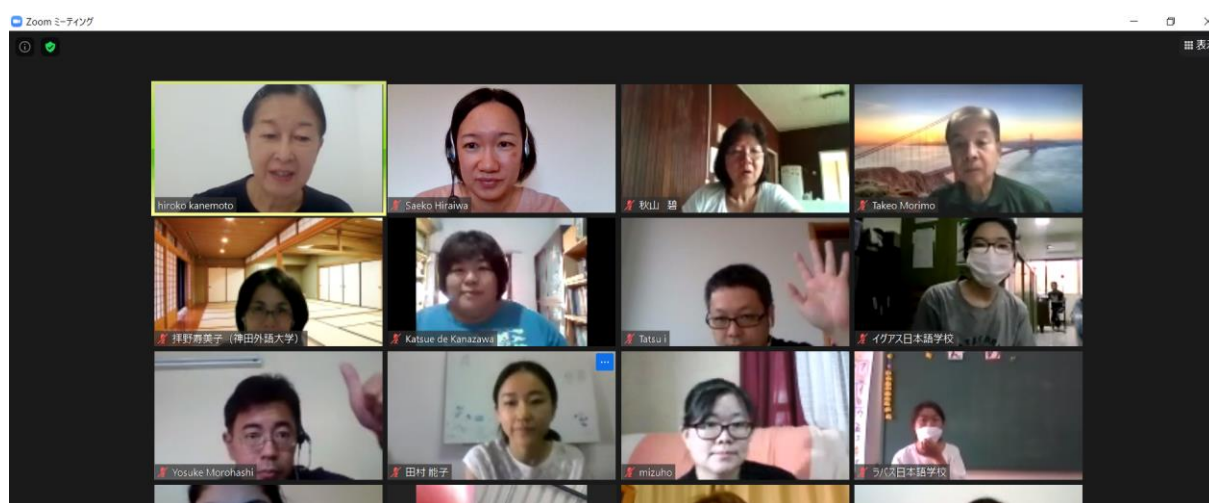
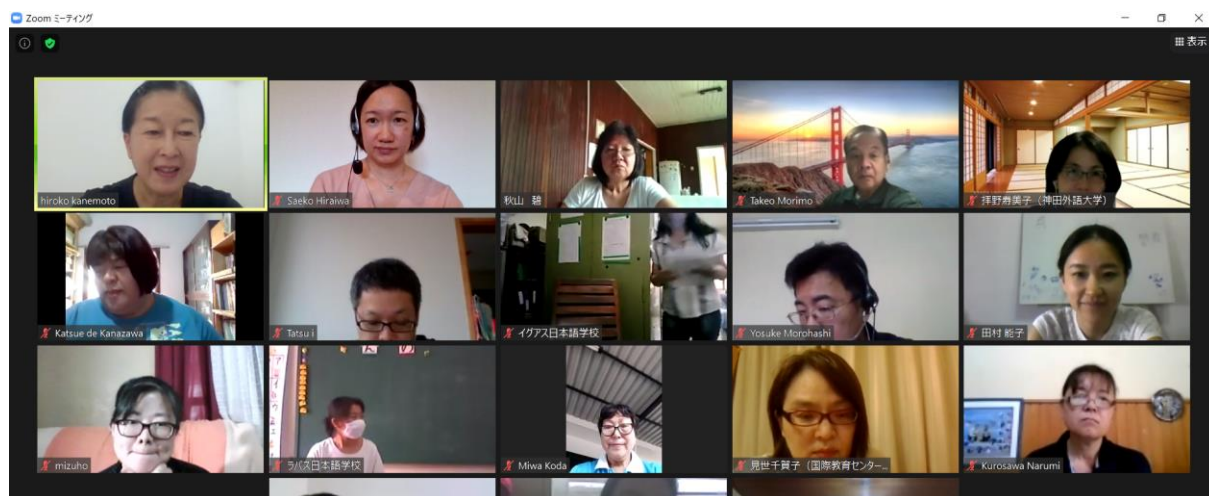


#### 授業の様子 4 グループワーク





## 授業の様子 5 グループワークの間に、参観者たちは意見交換会を実施



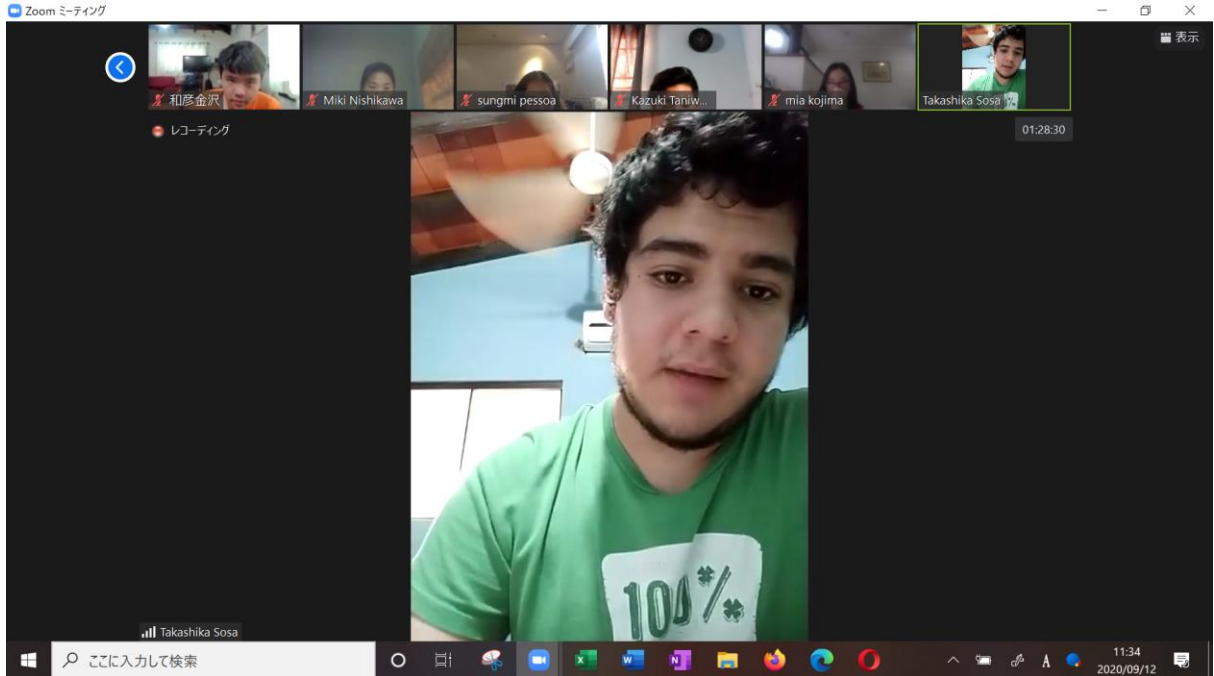
意見交換会で提起された問題には次のようなものがあった。

- ・年齢が異なる生徒がいるクラスをどう教えていくか。
- ・加藤校長のオンライン授業は、見やすい資料を子供たちに見せるように配慮されていた。日本でオンライン授業をする際に、国から示されているガイドライン等があるのか？
- ・AG5 の取り組みで発信をしているが、日本人学校に望むことはあるか。子どもたちが日本語をたくさん使えるような授業を希望されているが。その他いかが。

(日本人学校では、以前から出されている「パラグアイではあまりやっていない実技系、また体験的な授業を見せてほしい」という要望に答えるような出前授業を実践していきたいと考えている) →授業の中で、簡単な沢山な発話が出せる授業がよいと思う。

- ・地方でのオンライン授業をコロナ後も活用していくとよい。

## 授業の様子 6 生徒による意見発表



渋滞の多いアスンシオンを 30 年後に快適な街にするアイデアについて、生徒の意見には次のようなものがあった。

- ・地下鉄を作る。
- ・自転車道を整えて、もっと自転車で移動できるようにする。環境にも健康にも良い。
- ・川を使って水上交通をもっと行う。
- ・パラグアイ川の向こう側に新しく首都をつくる。そして、もっとパラグアイ川に橋を架ける。

また、最後に生徒に今回の授業の感想を聞いたところ次のようなものが出された。

- ・いろいろな資料があり、おもしろかった。
- ・自分たちの街の未来を考えるのは興味深かった。
- ・私たちの街を、私たちが将来、いい街にしたい。

授業後に各日本語学校へアンケートを実施し、出前授業に関する意見感想などを求めたところ、次のようなものがあった。

- ・一番参考になったところは、グループに分かれて子供たちの意見などをまとめたことでしょう

か。でも、低学年では少し難しい気がします。日本人学校から期待いたします授業は、楽しく学べる日本語授業です。作文や漢字などを現地でも使える形での指導案などです。研修に関しましては、日本の教育環境ではなく、日本の進んだ文化を現地に合わせた感じの指導の仕方を学びたいと思います。日本の本拠地からしか伝えられない何かがあると思います。素晴らしく、貴重な経験だと思います。本当にありがとうございました。(アスンシオン日本語学校 佐野恵子先生)

・今回の授業で参考になったところは、自らの考えや意見を述べさせ、それが住んでいる町の発展について考えることができたのでとてもよかったと思います。内の生徒たちに自分の町をどう普段考えて生活しているか。どんな街になったらいいのかと考えさせるような授業を組み立ててみようと思っていました。(アマンバイ日本語学校 秋山碧先生)

・副読本の活用例について学ぶことができ良かったと思います。とてもいい機会となりました。内容的には、すごく興味深く、よく考えられた議題でした。生徒が聞き慣れていない授業であっても、説明が見やすく分かりやすかったです。最初はやはり生徒の考えや意見を引き出すのが難しかったけど、最後にはいろんな意見が出ました。生徒がおもわず社会的なものを学びたくなったような感じがしました。(アマンバイ日本語学校 奈良さゆり先生)

・パソコンの問題で途中までしか参加することができませんでした。パラグアイと日本の違いや生徒の知らないパラグアイや現在のパラグアイを生徒たちが知ることができた授業でした。残念ながら、これからのパラグアイについてのグループのまとめを聞くことができませんでした。(アマンバイ日本語学校 西本美和先生)

・今回の授業でプレゼンの資料バックが黒で、字を明るい色にしたスライドが参考になりました。生徒たちはあまり緊張せずに発言していました。オンライン授業での生徒たちの見ている画面がこのような感じだと知ることができました。地方ではネットの電波があまりよくないため、オンライン授業がスムーズに進まない状態です。出前授業に参加させて頂き、どうもありがとうございました。(チャベス日本語学校)

・今回の授業で特に参考になったところは、ZOOM を使った授業でグループに分けての話し合いなど、いろいろできる事を知る機会が出来て良かったと思います。

・オンライン授業での、教師の背景が何もないことで落ち着きが感じられました。早速、取り入れたいと思います。

・画像で説明することによって、授業が飽きない…いろいろ工夫がしてあり、参考にしていきたいです。

・スライドの背景が黒で文字が白、新しい発見です。

・スライド授業は、街の様子を比較することで、とても分かりやすかったです。

・身近なものを利用しての実験で、子どもたちの興味や反応が素晴らしかったと思います。オン

ライン授業をする為、教材の準備などに特別な配慮がなされていて感心しました。(ピラポ日本語学校 5名分の先生の感想)

・まず、オンライン授業を見学させていただく事が初めてでした。中学生の授業(では生徒達が恥ずかしいのか、あまり発言していなかった様子がかがええました。グループ活動を行っている様子が見られなかったのが、残念でした。(イグアス日本語学校 三田村エリカ先生)

・出前授業は、とても参考になりました。発言が少ない子供達が多いので紙に書かせて答えさせるのがよかったです。(イグアス日本語学校 春日恵理香先生)

・各生徒の理解度がモニターでは把握しずらく、授業の進め方が大変難しいと感じた。かと言って授業は予定通り進めなくてはならないこともあり、対面授業との差を痛感した。説明等に“黒板”というツールが使用できない事が最大の課題になるが、この当たりの代替になるものを工夫すべきと考えさせられた。日本人学校の先生方の授業案は大変参考になりました。(イグアス日本語学校 川原高雄先生)

・オンラインでは、生徒の興味を引くのは出席授業より難しそうです。生徒達のグループ討議が聞けなかったのが残念です。(イグアス日本語学校 大野友里恵先生)

概して日本語学校では、一つのクラスの中に日本語がかなりできる生徒もいれば、あまりできない生徒もおり、日本語のレベルはさまざまである。今回、日語校の先生がスペイン語の通訳サポートとして生徒の意見をスペイン語から日本語へ訳すなどの場面も見られた。授業は日本語のみで行われたが、内容を理解することということに関しては、生徒全員がおおむねできていたのではないかと考えられる。意見を発言するとなると、日本語に関して自信がない様子を見せる生徒は多くいた。

日本人学校の教員による出前授業が、オンラインという形式では全く初めての試みだったこと、また生徒は事前に出前授業に多くの参観者がいるということを知らされていなかったこと(知らせると、わざと欠席しようとする生徒がいたかもしれないため)などを考えると、少しシャイになってしまうという反応はあって当然だったと考えられる。

参観者のアンケートでは出前授業の試みは好意的に受け止められていることが伺える。これを励みに、次回以降の出前授業でも注力していきたい。

## ・第2回：概観

日本人学校教員による日本語学校への第二回目となるオンライン出前授業を実施した。

参観者は全パラグアイの日本語学校より計 38名の参観者を迎えた。

## 単元名 考える観察 ～科学の考え方を学ぼう～

### 授業の様子 1

観察、仮説、実験、考察という考え方の流れを説明。

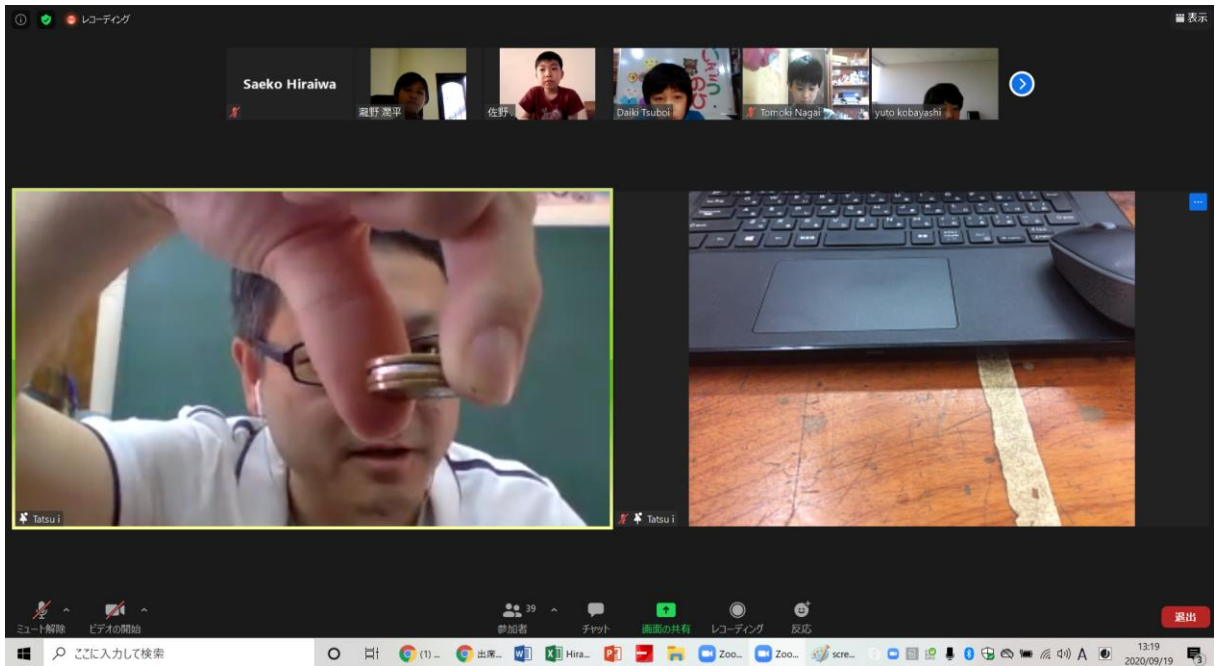


### 授業の様子 2

コインを使った不思議な現象を提示。一円玉と十円玉の位置が入れ替わることを見せる。

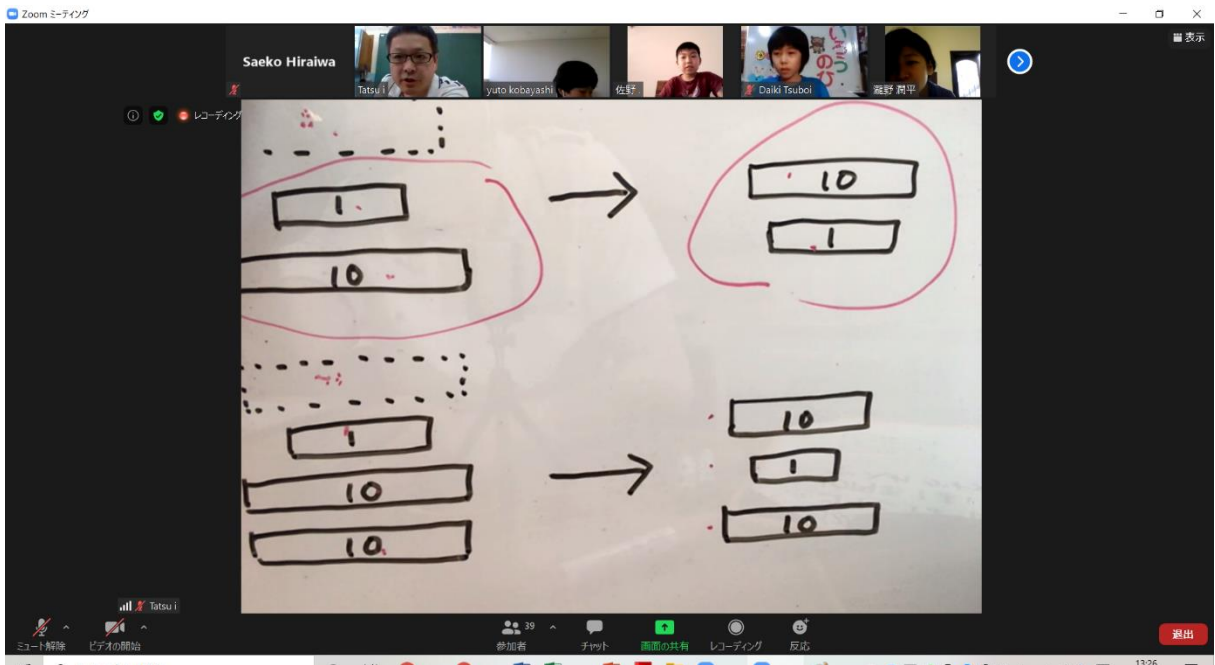






### 授業の様子 3

仮説を立てる。生徒自身に考えさせる。どのように考えたか発話を促す。

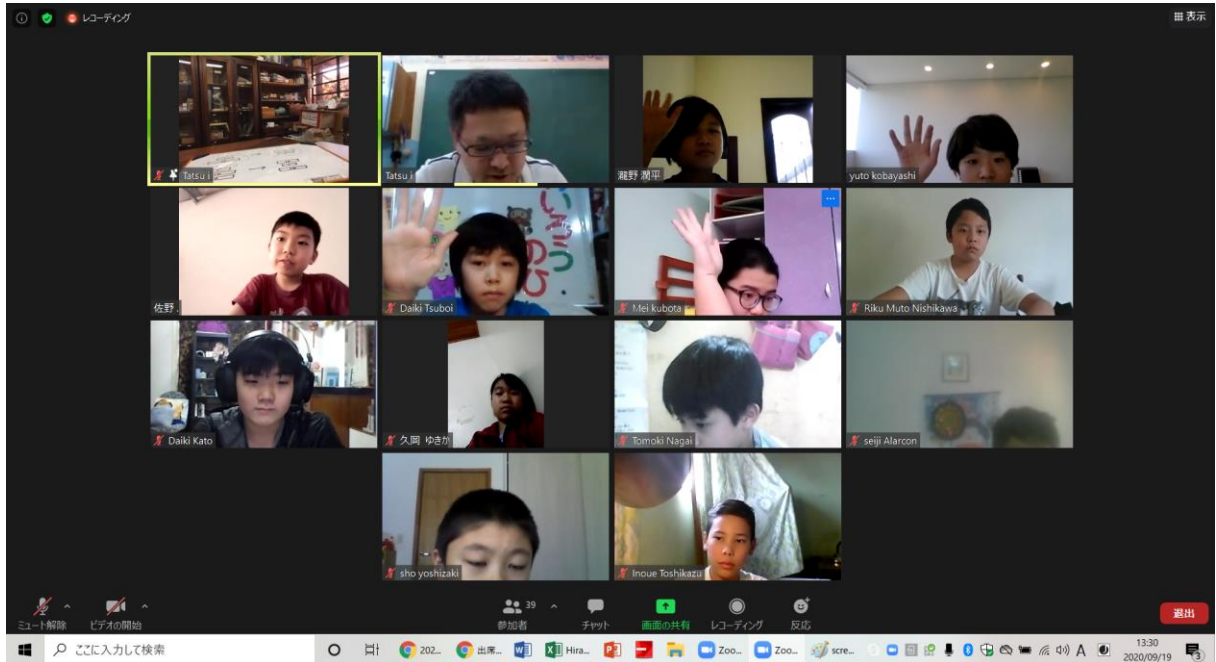




#### 授業の様子 4

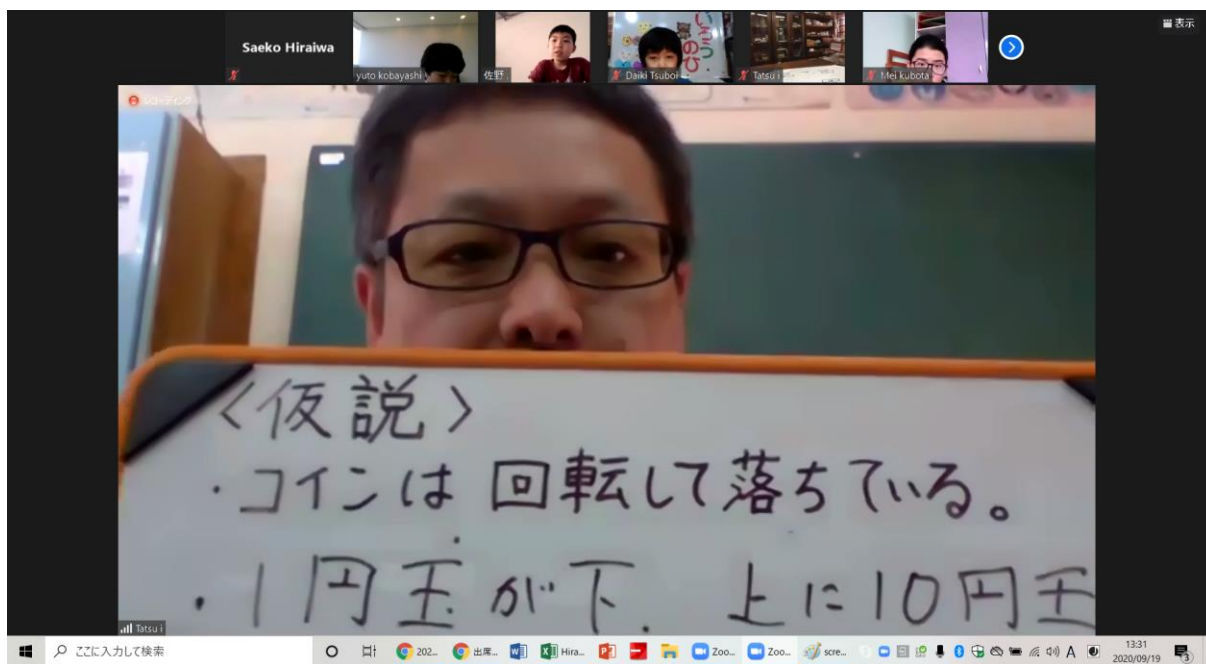
教師が全体に対して質問。

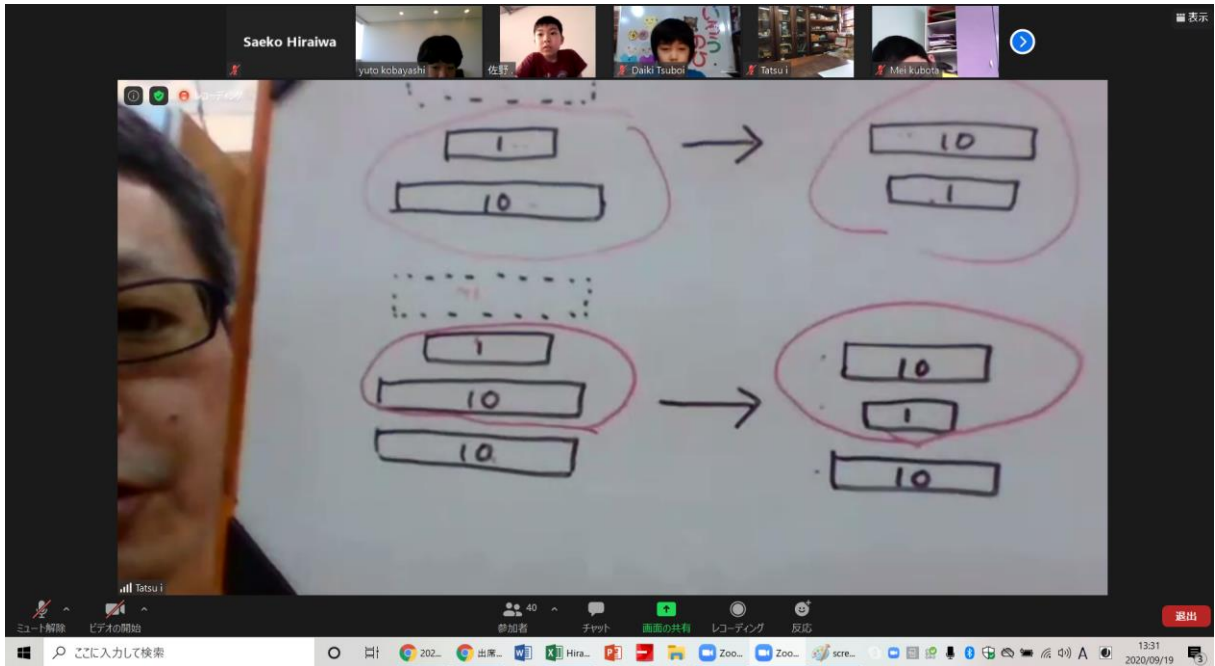
3つの選択肢から選ばせる。



#### 授業の様子 5

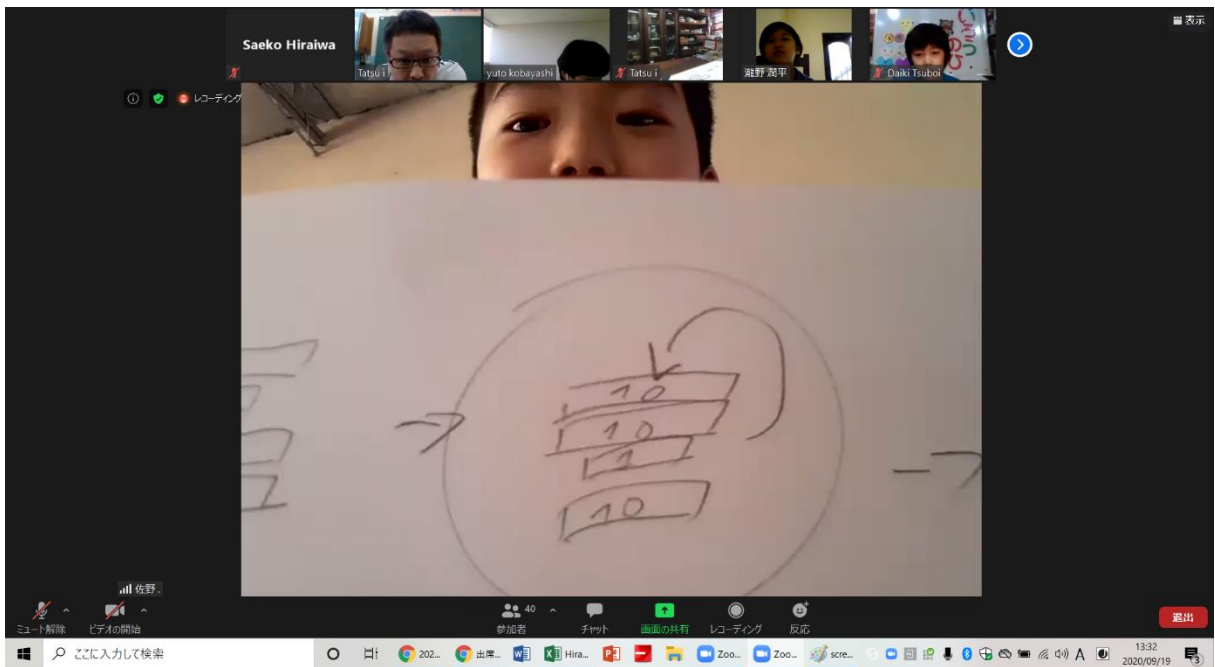
生徒自身に仮説を考えさせる。

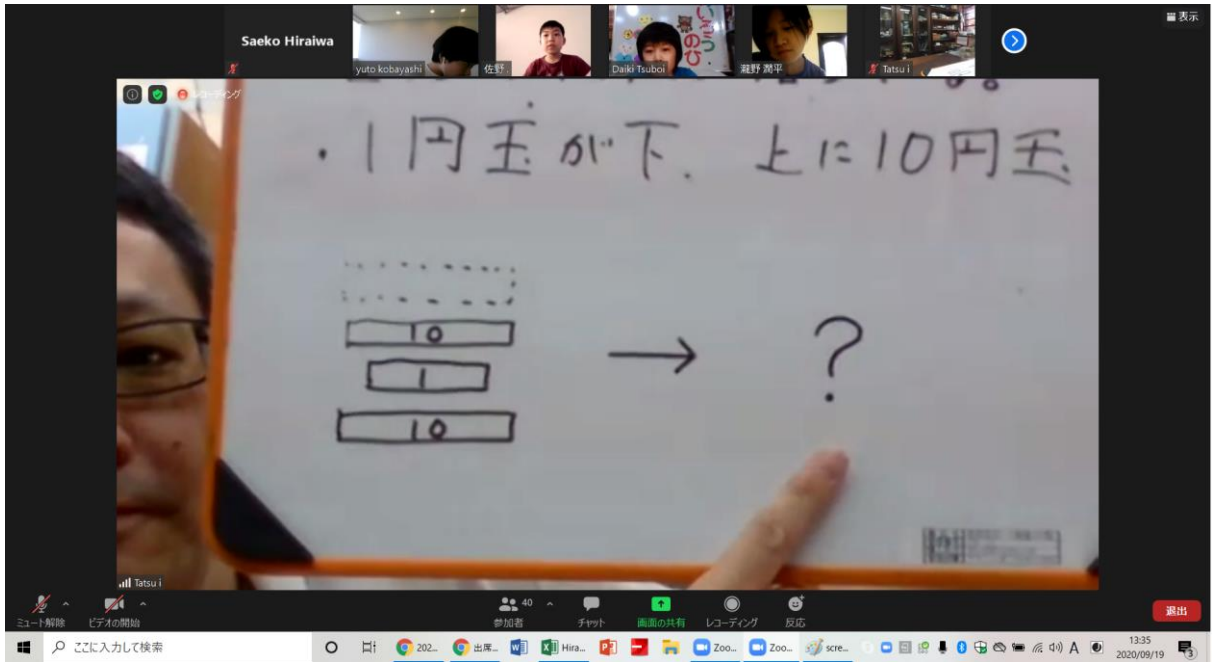




授業の様子 6

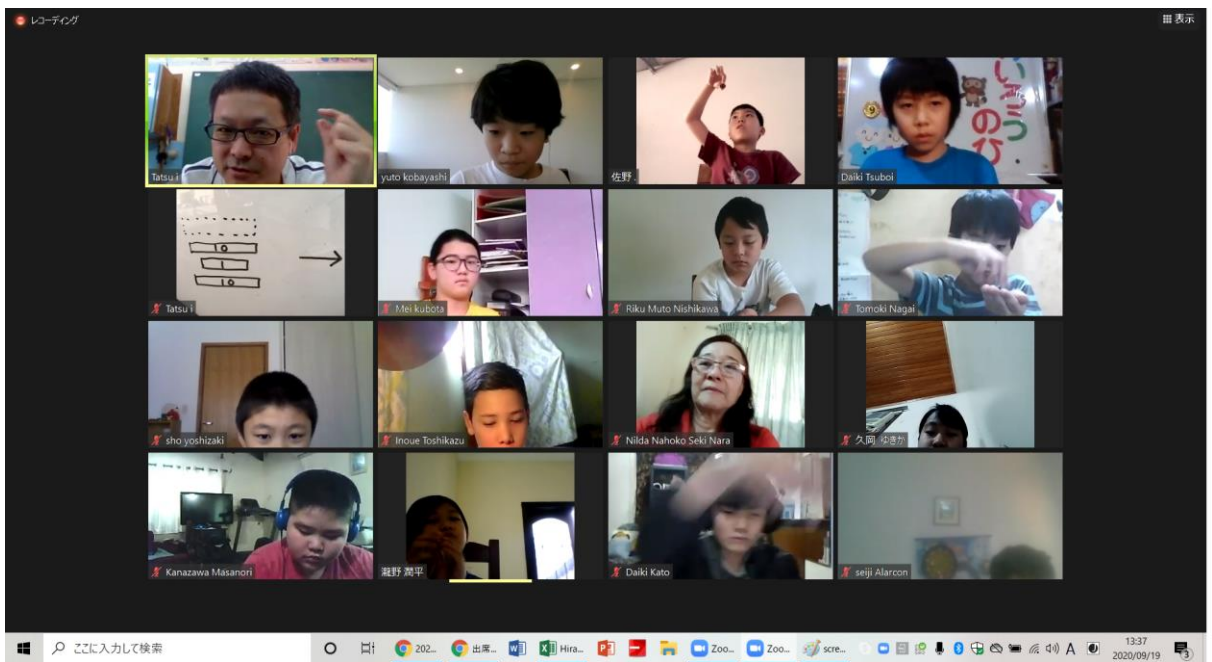
考えたことを生徒が発言。日本語による発話を促す。





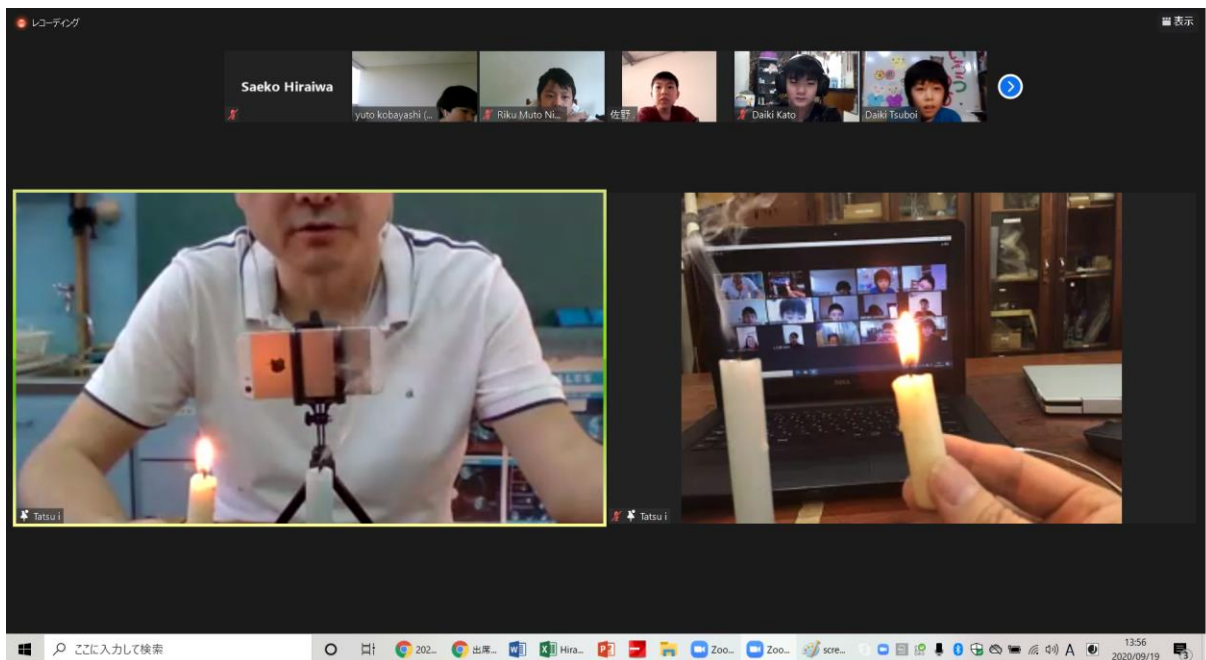
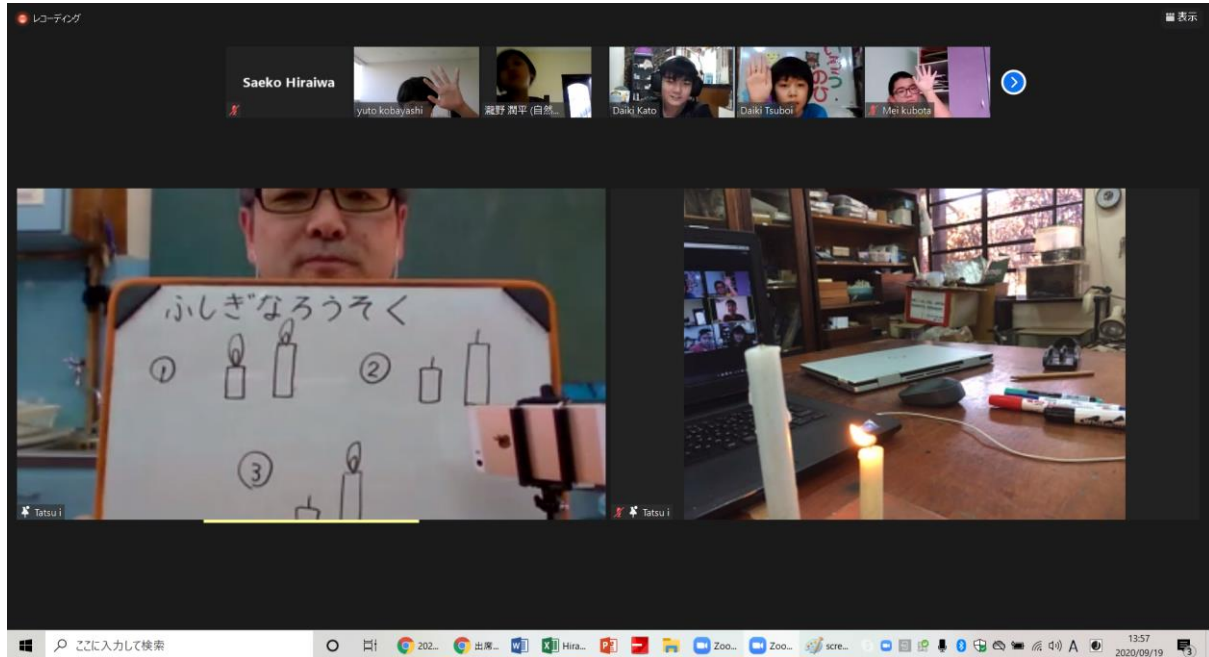
授業の様子 7

実験。実際にコインを上から落としてみる。現象を確認。→考察。仮説の検証。



## 授業の様子 8

もう一つの実験の紹介。現象を見せるだけで、仮説、実証、考察は各自で（大人の監督のもと、とお願いをして）。



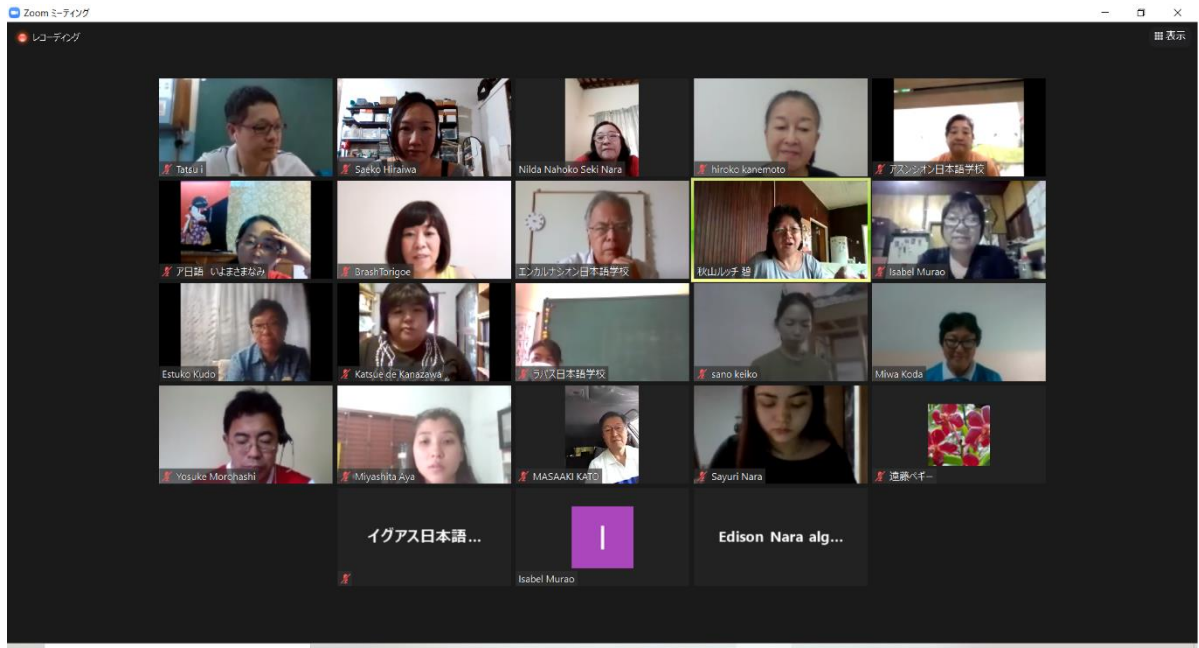




授業の最後に生徒に感想を聞いたところ、次のような意見が出された。

- とてもおもしろかった。実験は楽しい。
- もっといろいろな実験をやってみたい。
- あまり実験を学校でやっていないので、興味深かった

参加者による感想。下の写真はエンカルナシオン日本語学校の山田校長先生。



授業の後に本校に寄せられた参加者の感想には、次のようなものがあった。

・今回の出前授業は、国語教育とは違う科目の授業であり、とても面白い授業でした。子どもたちは集中し、本時の学習ねらいに興味深くはきはきと考えを発言していました。私も一人の生徒気分を考えさせられました。出前授業後、実際にコインで実験し、ビデオスローモーションで撮ってみました。当校の子どもたちは日常会話が主にスペイン語なのでこの実験を通して少しでも

考えを日本語で発言し、会話力を高めたいとおもっています。伊原先生の出前授業に参加させていただき、どうもありがとうございました。

(チャベス日本語学校校長 黒澤徳美先生)

・すばらしい授業でした。六年生の生徒はとても興味があって上手に先生をこたえていました。先生の授業はとても楽しい授業でした。いろいろなアイデアをもらうことが出来ました。二台のカメラを使って授業は行うことにいいアイデアであることを感じました。(アマンバイ日本語学校 宮下綾先生)

・化学の考え方を学ぶように、観察し、仮説し実験をして考察する順序にて子どもたちが分かりやすく理解できるように指導されていたことがとても良かったと思います。アマンバイの子どもたちもそうした指導をし、知識を高めることも必要ではないかと思われました。例えば化学発表会の場とかのイベントを作るとか。また、よく、中学生に言われますが、「先生ロボットの作り方を学びたいと」。しかし、答えてあげられないままにあります。とても、いい勉強になりました。ありがとうございました。(アマンバイ日本語学校 秋山碧先生)

・とても参考になりました。普段読むこと書くことを中心にしていたが、子どもに飽きる授業を行っていたことに反省しています。もう少し子どもたちが興味を持つ授業にしなければならないということを教えられました。すごく勉強になりました。(アマンバイ日本語学校 奈良エジソン先生)

・理科の授業を見ると、面白くて興味のある授業をするのが大切だと思いました。子供の思いや考えを大事にしながら、子どもの知的好奇心をくすぐり、学習意欲を引き出すような授業をする必要があると感じました。子どもに理解させ意欲的で、自分で調べ、考えたくなるような授業のこと、そして自分で体験することです。自ら課題を見つけ、観察し、仮説を立て、実験し、その結果をもとに考えて学ぶということです。答えを全部解説して教えてもらうのではなく、自分で考えるのが大事だと気づきました。とても勉強になりました。(アマンバイ日本語学校 奈良さゆり先生)

・両先生(12日と16日の指導)は、指導案に添い生徒の反応をみながら落ち着いて授業が進められ流石プロ、と指導の違いを痛感させられた授業でした。

・科学の授業、先生が上手に興味を引いて、生徒も楽しそうでとても良かったです。大人もびっくり!

・国語以外に、このような実験なども入れたら楽しいと思いました。

・素晴らしい授業でした。先生の話し方がやさしく、ゆっくりで聞きやすかった。導入の仕方も文字を見せて、観ている方もすごく分かりやすく、実験もおもしろかったです。たまには、このような事も取り入れると子供たちは喜ぶと思いました。

・一般の授業では体験できない、細やかなオンライン授業ならではの新しい方法だと賛同しました。(ピラポ日本語学校 5名分の先生の感想)

・生徒達はとても元気で、集中していたと思います。理科の実験が楽しかったみたいです。難しい漢字も読めていました。興味を持って参加していたと感じました。(イグアス日本語学校 三田村エリカ先生)

・実験の時は、授業の流れがよく分かるようになっていました。それでも落とす高さがまばらで生徒の意識の違いが見られました。よりよくする授業、実験や知りたい事を知る授業、どれも思考力を試される授業です。その中で、意見を出した生徒は少数、引き出すのが難しそうでした。今後オンライン授業をすることがあれば参考にしたいです。(イグアス日本語学校 大野友里恵先生)

パラグアイの公立学校では、理科の授業で「実験をする」ということがほとんどないと聞いている。子どもたちは普段のスペイン語学校であまりやらない授業を、新しい試みとして大変好意的に受け止め、積極的に参加してくれるという印象を受けた。また、参加者からも同様の意見が聞かれた(スペイン語学校や、日本語学校の普段の授業で取り扱わない、どうやって教えていいのかわからないことを日本人学校先生に出前授業でやってもらいたいという意見は昨年度より出されている。)。実験に際しては、ある程度の器材などが必要になる場合が多いが、今回本校教員が取り組んだ実験では、数枚のコインしか使用しないため、子どもたちだけで気軽に再現が可能であることも、プラスの要素として働くことを期待したい。

### ・第3回：概観

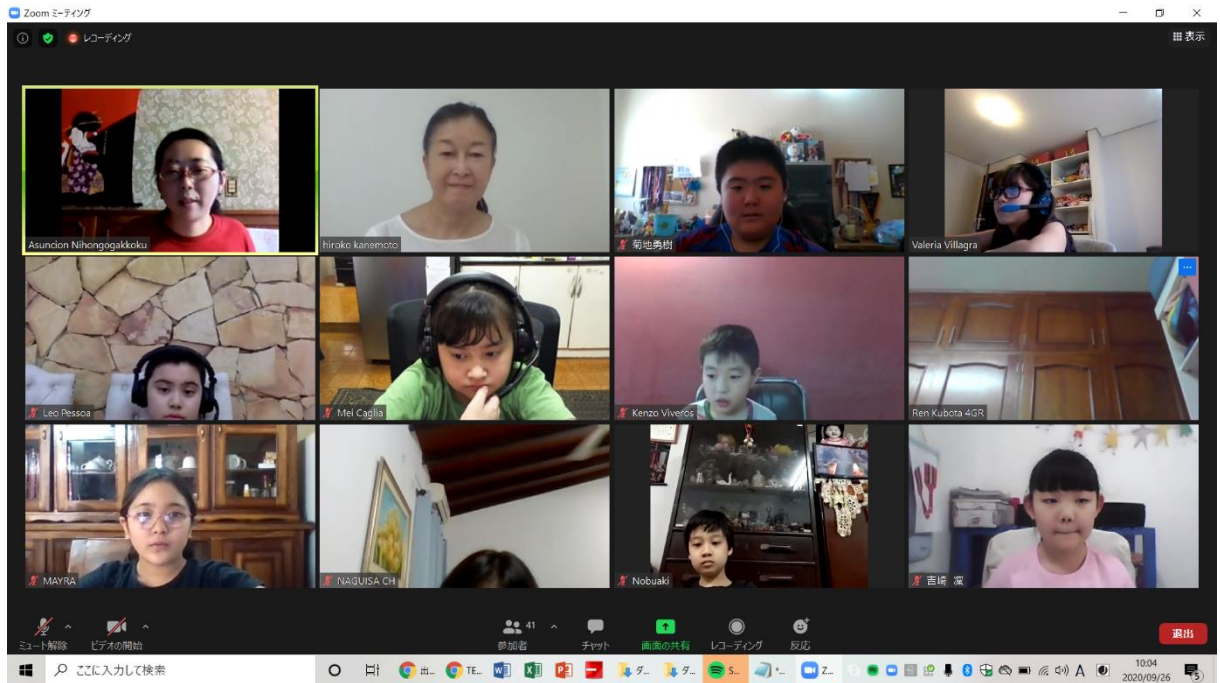
日本人学校教員による日本語学校への第三回目となるオンライン出前授業を実施。参観者は全パラグアイの日本語学校より計50名の参観者を迎えた。

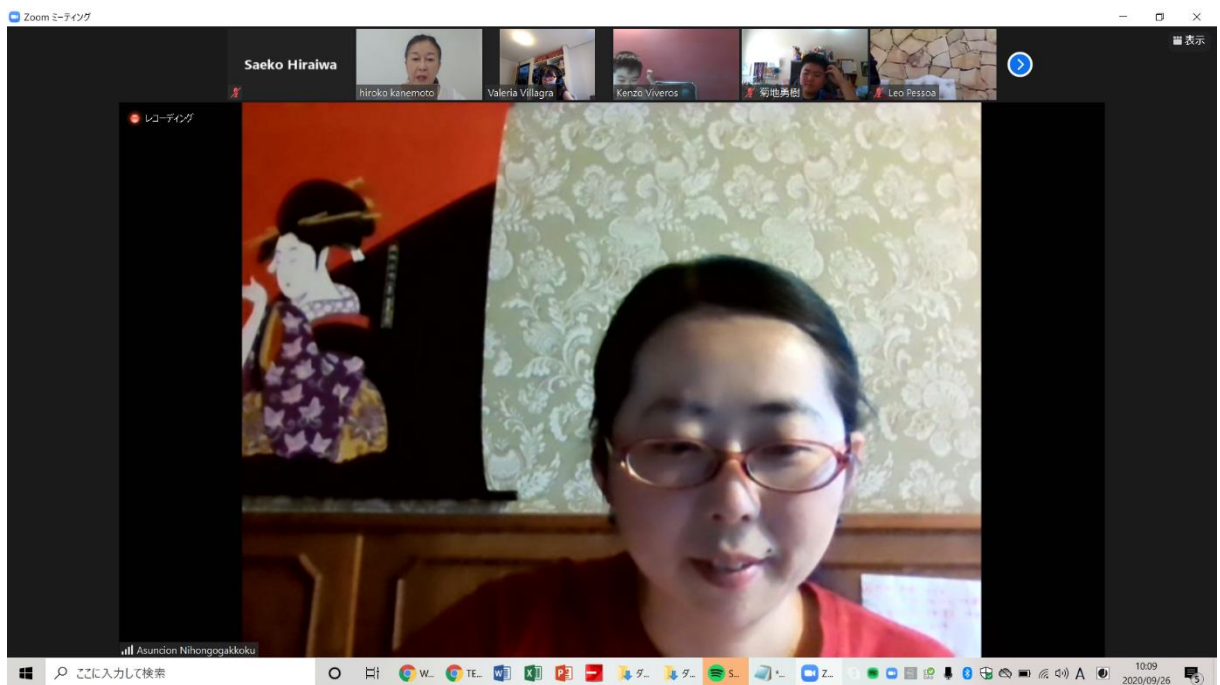
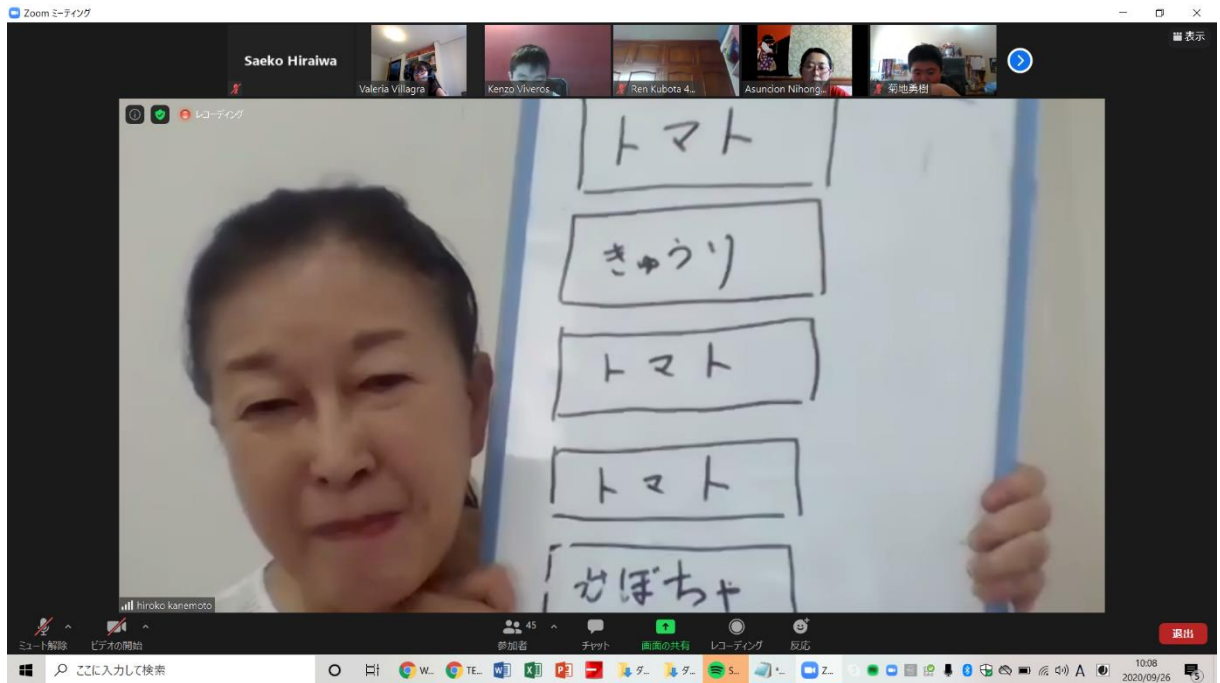
#### 単元名 のこしたいもの つたえたいもの

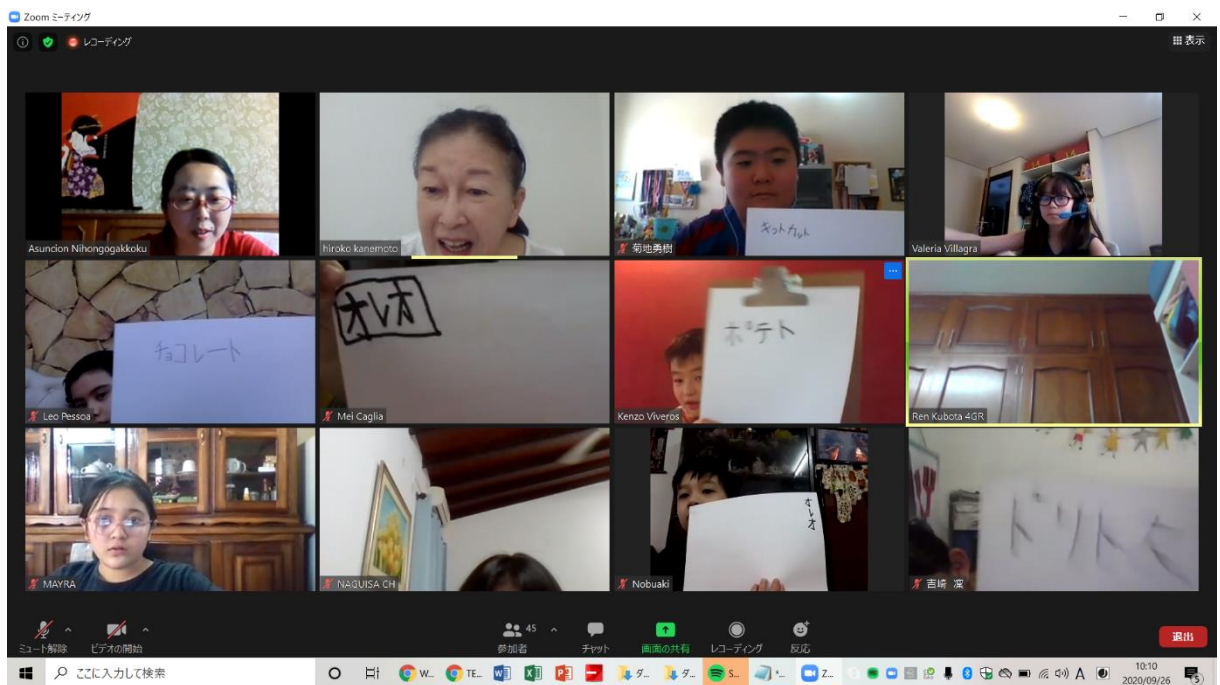
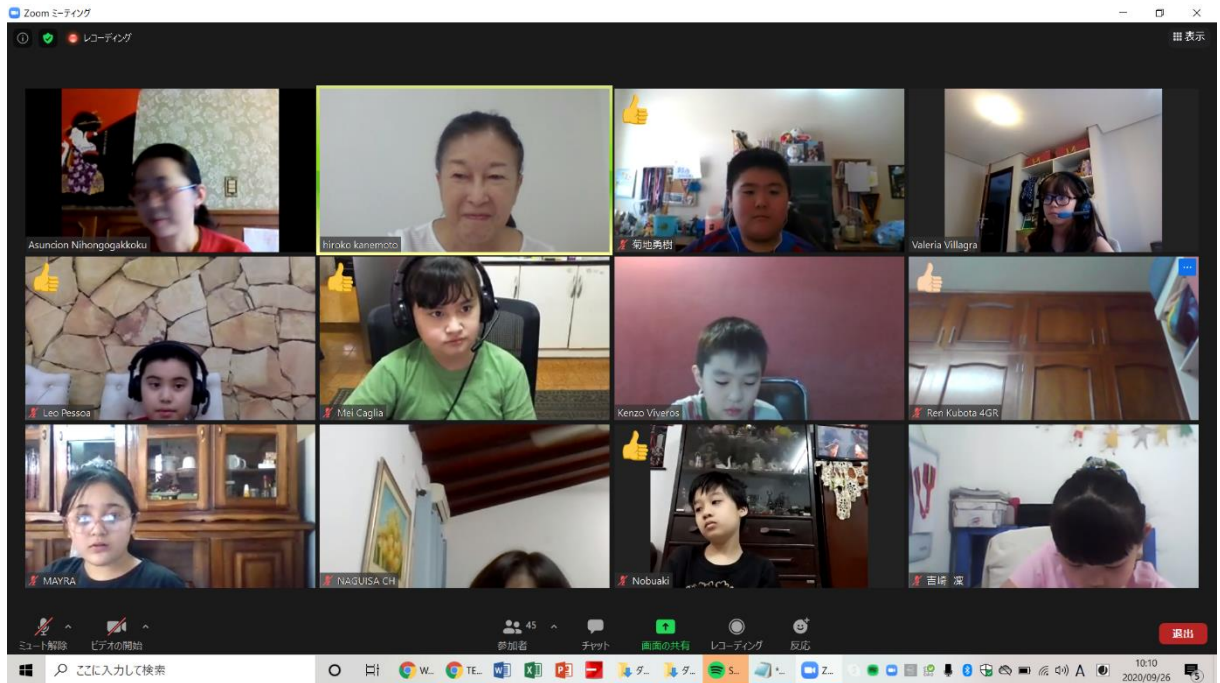
##### 授業の様子 1

以心伝心ゲーム(アイスブレイク)を通して、子どもたちの意識を少しずつ日本に関するものに近づける。



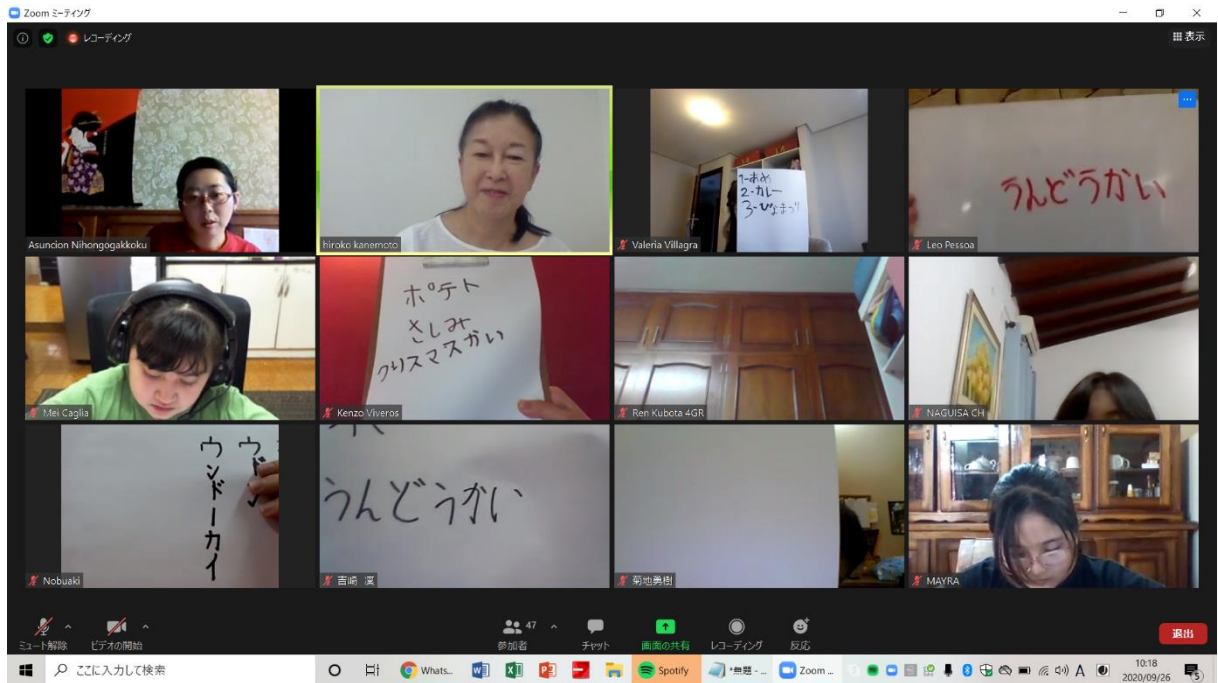












## 授業の様子 2

### パラグアイの移住地に関するクイズ





Zoom ミーティング

hiroko kanemoto の画面を表示しています オプションを表示

Saeko Hiraiwa

hiroko kanemoto Kenzo Viveras Ren Kubota 4GR Nobuaki Mei Caglia

レコーディング

日本からはじめてのパラグアイへの移住

ラ・コルメナ

ミュート解除 ビデオの開始

46 参加者 チャット 音楽の共有 レコーディング 反応

10:23 2020/09/26

Zoom ミーティング

Saeko Hiraiwa

hiroko kanemoto Kenzo Viveras Ren Kubota 4GR Nobuaki Mei Caglia

レコーディング

いじゅう ひとびと きしゃ  
移住してきた人々は、汽車をおりてから、ラ・コルメナ  
まで、どうやって行ったでしょう。

① 馬車 (ばしゃ)      ② 牛車 (ぎゅうしゃ)      ③ トラック

ここに入力して検索

10:24 2020/09/26



Zoom ミーティング

hiroko kanemoto の画面を表示しています オプションを表示

Saeko Hiraiwa

hiroko kanemoto Valeria Villagra Ren Kubota 4GR Mei Caglia 菊池勇樹

ミュート解除 ビデオの開始

参加者 46 チャット 画面の共有 レコーディング 反応

10:26 2020/09/26

ここに入力して検索

Zoom ミーティング

hiroko kanemoto の画面を表示しています オプションを表示

Saeko Hiraiwa

hiroko kanemoto Valeria Villagra Ren Kubota 4GR Mei Caglia 菊池勇樹

日本から初めてパラグアイへの移住が行われたのは、  
 1936年8月のことです。アスンシオンから130 kmほど  
 はなれたラ・コルメナに、11家族81名の人々が移住して  
 きました。

ミュート解除 ビデオの開始

参加者 46 チャット 画面の共有 レコーディング 反応

10:27 2020/09/26

ここに入力して検索



Zoom ミーティング

hiroko kanemoto の画面を表示しています オプションを表示

Saeko Hiraiwa

hiroko kanemoto Valeria Villagra Ren Kubota 4GR Mei Caglia 菊池勇樹

レコーディング

きしゃ じかんの 汽車に4時間乗り、さらに 駅から 10時間以上 牛車に  
 の 乗って やっと ついた そうです。 移住 してきた 人々は、  
 つぎ の 日 から さっそく 仕事 にとりかか りました。 ます、  
 す 住める よう 仮小屋 を たて、 井戸 を ほり、 山 を 切りひら  
 き、 道 を つくり、 移住地 での 生活 を はじめ た の です。

46 参加者 チャット 音楽の共有 レコーディング 反応 退出

ここに入力して検索

10:28 2020/09/26

Zoom ミーティング

レコーディング

Asundon Nihongogakkoku Hiroko kanemoto Valeria Villagra Leo Pessoa

Kenzo Viveros Ren Kubota 4GR NAGUSA CH 白崎 優

Mei Caglia 菊池勇樹 MAYRA Nobuaki

ここに入力して検索

10:31 2020/09/26

Zoom ミーティング

Saeko Hiraiwa

Asundón Nirihiro | Hiroko Kanemoto | Ren Kubota 4GR | Mei Caglia | Nobuaki

レコーディング

ラ・コルメナにきた日本人は、どの作物を中心  
のうぎょう おこな  
 農業を行いましたか。

①小麦 ②コーヒー ③めん花 ④大豆

こむぎ か だいず

Windows taskbar: 10:43 2020/09/26

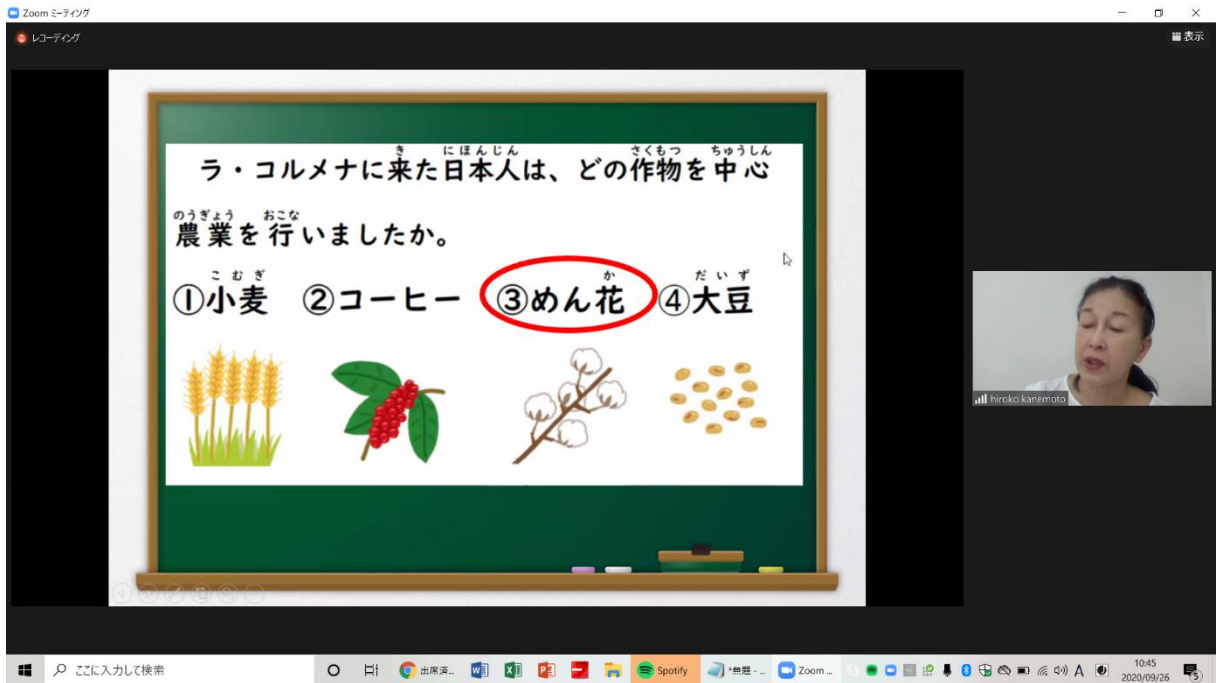
Zoom ミーティング

Hiroko Kanemoto の画面を表示しています

レコーディング

吉崎 英 | Mei Caglia | 菊池勇樹 | MAYRA | Nobuaki | Leo Pessoa

Windows taskbar: 10:44 2020/09/26



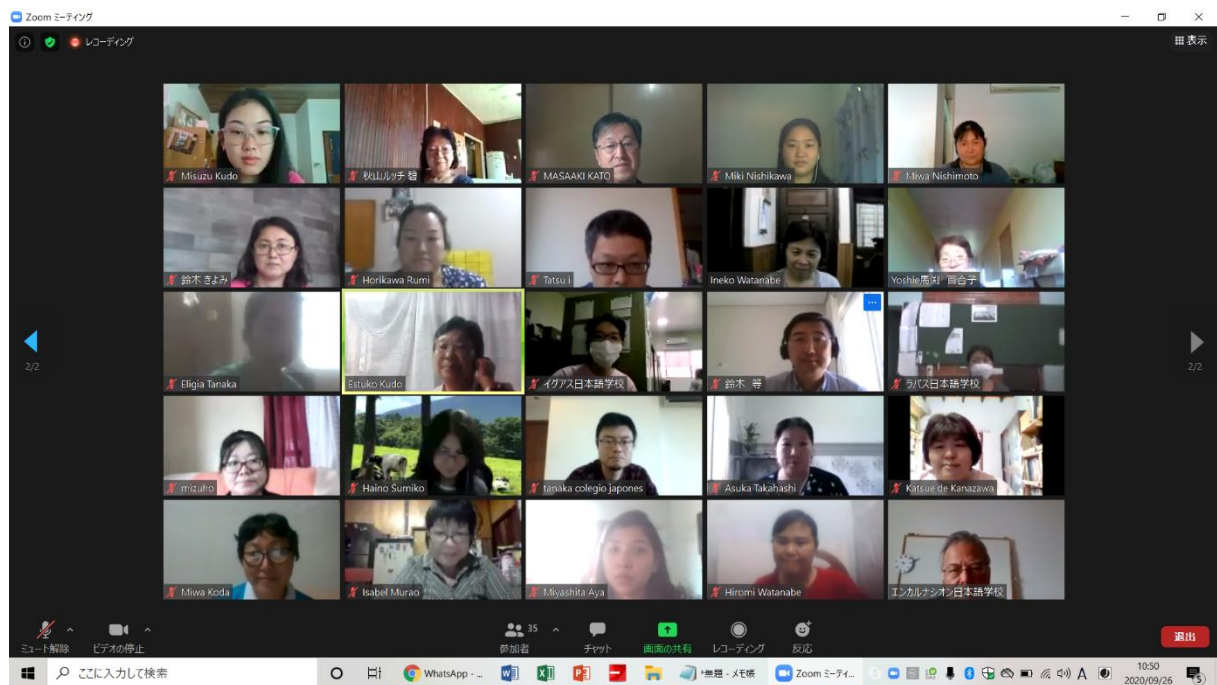
### 授業の様子 3

移住当時の生活についてもっと知りたいと思ったことはどんなことか、各自発表する。日本語での発話を促す。





# 参加者の様子 1





## 参加者の様子 2

### 授業の感想等







授業後に、本校に寄せられた感想には次のようなものがあった。(ピラポ日本語学校の先生方より。)

【ピラポ日本語学校参加教師 感想】 (10名参加)

・「わたしたちのパラグアイ」素晴らしい副読本、これから活用させていただく為に、導入から子どもたちの興味をひいて進めて行く方法等具体的に示され、とても分かりやすく参考になりました

た。

- ・パワーポイントを使って、クイズなどをしながらの授業は、とても良かったです。参考にしたいと思います。
- ・オンラインという非対面の状態なので、話すだけではなく、イラストを見せながら授業をすることはとても大切だと改めて思いました。学生の集中力あつてのオンライン授業。ありがとうございました。
- ・やっぱり、パワーポイントで写真やイラストを使って授業を進めた方が、子どもたちにも分かりやすくていくつにならないと思いました。
- ・とても楽しい授業でした。最初のゲームも、すごくいいなと思いました。あのようになれば、みんなの緊張も少しとけて良いなと思いました。また、イラストや写真もいっぱい入れることで、子どもが興味を持って取り組めることも参考になりました。ありがとうございました。
- ・授業がスムーズに流れていること、また、導入の仕方も工夫されていて子どもたちが興味や関心をもてたのではないかと思います。子どもたちの発言を、ゆっくり待って聞いていたのも良かったです。「やっぱり違います、流石プロですね」 毎回、勉強になります。
- ・写真やイラストを使った、分かりやすい授業でした。クイズを取り入れ、考えを引き出すのもとても参考になりました。ありがとうございます。
- ・日系人として歴史を継承していくことが、いかに大切なことか改めて勉強になりました。ありがとうございました。
- ・毎回、先生が 2 名ずつで授業を進めていて、一人が授業を進め、もう一人が生徒のサポートをして、スムーズに流れをつないでいるのが印象に残りました。

また、他の学校からも次のような感想が寄せられた。

- ・とても面白い授業でした。やっぱりクイズをしながら授業をするのはとても楽しい授業になります。子供達が考えながら覚えるので大切だとおもいます。いろいろ自ら知りたいことがあって、子供が覚えたい気持ちになったのでとても良かったと思いました。パワーポイントの使い方も上手でしたから、分かりやすい説明ができましたと思えます。(アマンバイ日本語学校 宮下綾先生)
- ・本校では移住学習を毎年行っています。今年度は、パンデミックのため行うことができませんでしたが。来年度の移住学習の行事の中に先生により教わったことを少し取り入れていきたいと思えます。非日系の生徒も多くなり、移住学習はこれからも続けるべきかと考えたこともありました。しかし、日系人としてのアイデンティティーを教えていくためには重要であることを考え続けています。こうした研修により新しいことを発見し、考えさせられたりすることができるのでとてもいい勉強になりました。ありがとうございました。(アマンバイ日本語学校 秋山碧先生)



・アイスブレイク：以心伝心ゲームから気が付かないうちに移住のお話になりました。生徒たちは自然と質問や疑問が出ていて、生徒たちも気づかずどんどん答えを述べている。とてもびっくりしました。紙に書いて発表するところは、生徒たちそして先生も色々な疑問、知りたいことがあって楽しそうでした。今後の授業に取り組んでいきたいと思います。(アマンバイ日本語学校 西川美樹先生)

・生徒と仲良くなるためのゲームがよかったです。そして、生徒の反応を教師はゆっくり待つことの大切さを改めて教えられました。アマンバイのこれからの移住学習に取り入れていきたいです。(アマンバイ日本語学校 西本美和先生)

・アイスブレイクで生徒たちの目が輝き、良い表情になっていました。金元先生の優しく、活力のある声掛けが、生徒たちを引きつけていくのが見えました。生徒全員に発表の機会を与え、そしてそれらひとつひとつに共感されている姿がとても印象的でした。これからの移住学習に繋がる一つのきっかけとなった授業だったと思います。(ラ・コルメナ日本語学校 金澤克枝先生)

・小学4・5年の生徒たちはオンライン授業に慣れている様子がうかがえました。ゲーム感覚で授業を進めていたのが良かったです。楽しく学んでいると思います。ほとんどの生徒が日本語で受け答え出来ていた。これから、私たちも時代に合った教え方を取り入れていかないと、思いました。(イグアス日本語学校 三田村エリカ先生)

この回の出前授業は、参加者が50名となり、移住学習への関心の高さが伺えた。副読本『わたしたちのパラグアイ』については、参加者から好評を持って受け止められていることが発言などからもわかり、本校としては大変嬉しい結果となった。10月にも本校による出前授業を予定しているため、継続して取り組みを進めたい。

また、各地の日本語学校にアンケートをお願いした際に、次のような視点から意見・感想を寄せてほしいということをお願いしてあり、こちらについても多くの意見を送ってもらうことができた。以下に紹介したい。

- ①今回の授業で特に参考になったところは何か。
- ②日本人学校による公開授業では、どのような授業を期待するか。
- ③日本人学校を含めた研修では、どのような研修を期待するか。
- ④日本人学校が行うような日本型教育は、どの程度、各日本語学校で有効か。
- ⑤「移住すごろく」「副読本」「移住かるた(制作中)」「出前授業」など、AG5で日本人学校が取り組んできたことの成果は、どんなところか。

### ①についての意見・感想

- ・実際に生徒たちが見ている画面が見られたこと。それによって教材の提示や、発問など参考に  
なり、今後の教材準備や授業展開を考えるうえで参考になった。(9月12日の授業に対して、エン  
カルナシオン日本語学校)
- ・各生徒たちが自分の意見を出し合うことで、それぞれ思っていることがよく分かりました。(ア  
マンバイ 西川美樹先生)
- ・内容的には、とてもすごかったと思います。興味深くて、社会的な考え方を育てることが必要  
であると気づきました。(9月12日の授業に対して、アマンバイ日本語学校 奈良さゆり先生)
- ・昔と現在を比較した上で30年後の様子を考えさせる授業はとても参考になった。(9月12日の  
授業に対して、ラパス日本語学校)
- ・クイズをしながら教えるのはとても大切な授業だと思いました。子供が楽しみに勉強しながら  
興味をもつからです。(9月26日の授業に対して、アマンバイ日本語学校 宮下綾先生)

### ②についての意見・感想

- ・教師研修として参考になるので続けてほしい。いろんな分野で行ってもらえるといい。それを  
参考に現場での応用が考えられる。(エンカルナシオン日本語学校)
- ・パワーポイントを使いながら授業をすること。(アマンバイ日本語学校 宮下綾先生)
- ・例えば：ZOOMでの授業で、小学1年生はどのようにひらがなやカタカナを導入出来ますか。  
(アマンバイ 西川美樹先生)
- ・参加者全員が意見を出しやすくなるような授業。(アマンバイ日本語学校 奈良さゆり先生)
- ・国語授業の教え方。(アマンバイ日本語学校 西本美和先生)
- ・日本人学校による公開授業は、提示された授業はできるだけ参観し、その中から一つでも何  
かを学んでいけたら良いと思っています。(ピラポ日本語学校)
- ・総合的授業がとても良いと思います。(ピラポ日本語学校)
- ・複式授業の進め方。(ラパス日本語学校)

### ③についての意見・感想

- ・オンライン授業に使える教材の研修。(アマンバイ日本語学校 宮下綾先生)
- ・今後、コロナの影響でZOOMなどネットでの授業が増える為色々なアプリを習得しなければな  
らないのですが。日本人学校の先生方は何か便利なアプリご存知でしょうか。例えば：ゲーム式  
アプリなど。パワーポイントの作成方法など。(アマンバイ 西川美樹先生)

- ・オンライン授業でのやり方(ZOOM,PPoint)、国語の授業の仕方の工夫など。(アマンバイ日本語学校 奈良さゆり先生)
- ・国語の授業の取り入れ方、教え方を学びたいです。発表会の教え方。(アマンバイ日本語学校 西本美和先生)
- ・国語の総合が役にたつと思います。(ピラポ日本語学校)
- ・授業の進め方や、漢字指導のポイント等教えてもらいたいです。(ピラポ日本語学校)
- ・絵画指導等の基本的な指導法などの授業を期待しています。(ピラポ日本語学校)
- ・年齢に応じた指導法。(ラパス日本語学校)

#### ④についての意見・感想

- ・日本語学校では、さまざまな日本語能力の生徒が混在しているので、ワンポイントで行うといいと思う。今回の社会科では、写真の比較とか、気温に絞るとか。語彙がかなり難しいので、事前に狭い範囲にしぼり、現地教員の方で、語彙について予め、生徒たちがひっきりそう語彙を分かっているといいと思う。(エンカルナシオン日本語学校)
- ・研修でもらうアイデアを見本として各学校は適応しながら教材をつくって授業ができます。(アマンバイ日本語学校 宮下綾先生)
- ・日本型教育をサンプルとして、アマンバイ日本語学校の生徒たちが理解出来る範囲での授業を行うことを考えています。今は ZOOM での授業なので。(アマンバイ 西川美樹先生)
- ・アマンバイ日本語学校では、日本型教育から学んだことを参考にして使っています。(アマンバイ日本語学校 奈良さゆり先生)
- ・情操教育等の技術的な指導方法など、学ぶ必要があると思っています。(ピラポ日本語学校)
- ・日本語を通じて他の科目や色々な情報を取り入れることが出来るのである程度有効。(ラパス日本語学校)

#### ⑤についての意見・感想

- ・「移住すごろく」については、移住について考えさせるいい教材となっている。「副読本」については、中学生の中級教材として活用できる。「出前授業」については、とてもいい刺激となる。特にラパスでの美術の授業を参観したときに感じた。(エンカルナシオン日本語学校)
- ・クイズとかゲームをしながらの教え方を見てとても参考になりました。とても楽しい日本型教育をならうことができました。(アマンバイ日本語学校 宮下綾先生)
- ・「移住すごろく」、「副読本」、「出前授業」それぞれ参考になりました。出前授業では、日本型教育をアスンシオン日本語学校の生徒さんたちに色々な工夫をして段取りよく進んで授業が出来て

いて感心しました。とても勉強になりました。(アマンバイ 西川美樹先生)

・日本での活用例を知る機会ができて良かったです。とても参考になりました。よく考えられた教材でもありました。(アマンバイ日本語学校 奈良さゆり先生)

・日本人学校でこれまで取り組んで来られた各種教材の作成、それを地域の日本語学校でも活用させて頂けることは、本当にありがたく思います。世代が代わり自分たちのルーツや、パラグアイの歴史を知る上でもとても良くまとめられ、自分たちでは出来ない貴重な資料になっています。(ピラポ日本語学校)

・昨年、中学生を対象としての移住学習授業に「移住すごろく」を使わせていただきました。パラグアイの日系のルーツをクイズ形式で学び、その授業はとても盛り上がりました。この度いただいた「副読本」も、これから移住学習授業に大いに役立てていけると期待しています。(ピラポ日本語学校)

・副読本は、特に中学生は自分の生まれた国について、日本語で学べることは、とても貴重だと思います。今後は、この本を授業の中に取り入れ、役立てたいと思います。ありがとうございました。(ピラポ日本語学校)

・移住すごろくは、高齢者にとっては過去を振り返っての思い出話をするのによかったです。学生、特に中学生にとっては言葉が難しすぎました。副読本は、パラグアイに住んでいながら見逃していた所にきづかされた良かったです。出前授業は、現地に足を運ばなくても参観できるのがすごく良かったです。イグアス校で取り入れていける事があれば活用させていただきます。(イグアス日本語学校 白沢泉先生)

・コンピューターの画面の使い方。資料を載せるだけでなく、音読も可能というところ。集中力が養われるのではないかと。日本語教育で今まで授業していた生徒に対して、国語教育の国語教材使用の内容読み取りの仕方・方法・進め方を具体的に出席授業に取り入れてほしい。日本語型授業は、今時点で有効である学校もあるが、難しくなってくると思う。教材があれば、活用することができる。しかし、ある程度の内容把握がなければ、難しいと思う。でも、元になるものがないとどうしようもない。移住に関して何も知らない生徒が取り組み、少しでも知ってもらえば、大きな成果になるのではと思う。(イグアス日本語学校 佃弥生先生)

・出席授業は、非常によかったです。教室で授業ができない今にとっては zoom が一番です。発言が少ない子ども達が多いので紙に書かせて答えさせるのが良かったです。副読本は、アスンシオンの子供たちだけでなく教師も勉強になります。(イグアス日本語学校 名倉愛香先生)



## ・第4回：概観

日本人学校教員による第4回目のオンライン出前授業を行った。

### 単元名 (小3)「パラグアイ紹介をしよう」

#### 授業の様子 1



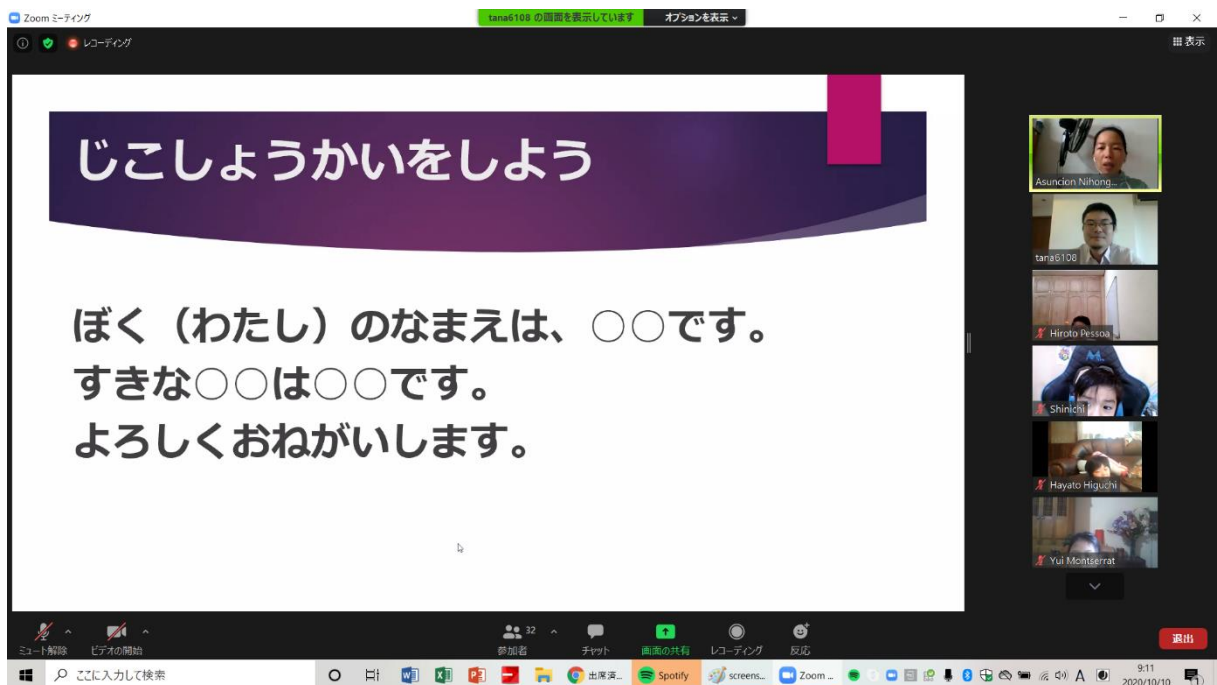


## 1. 自己紹介ゲーム

○自己紹介をしよう

自分の好きな○○をテーマに、パワーポイントで出たお題について自己紹介をする。

私の名前は○○です。好きな…は……です。よろしくおねがいします。



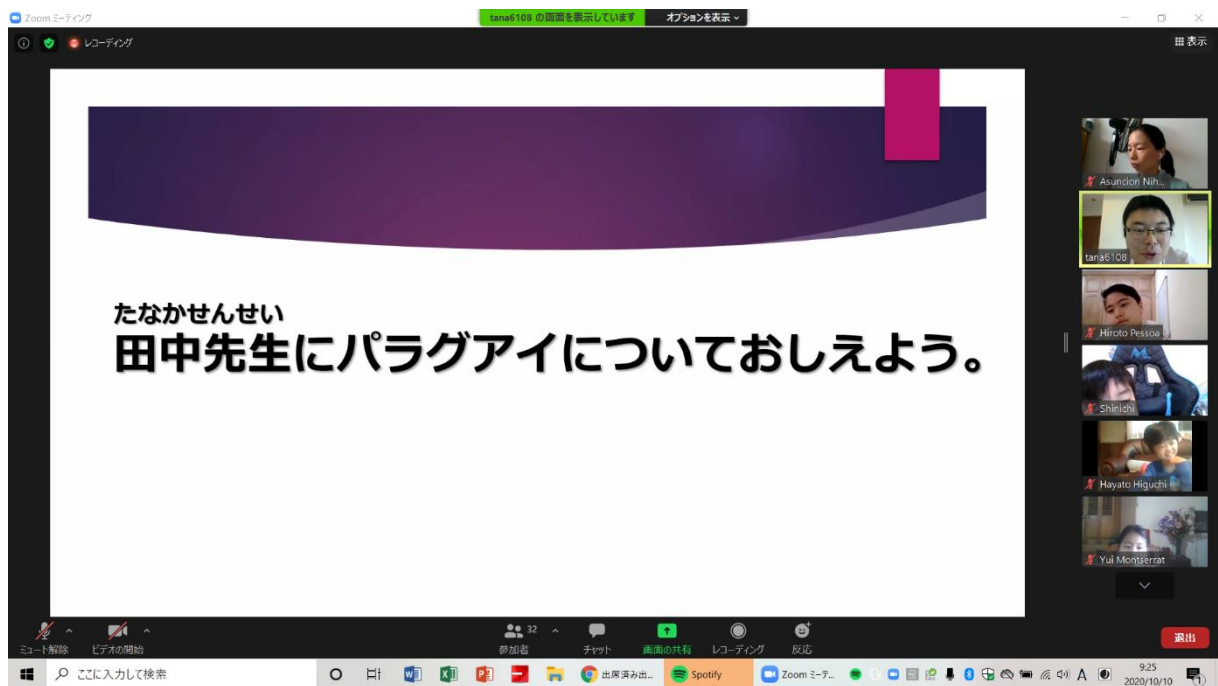








## 2. 本時の学習のねらいの確認



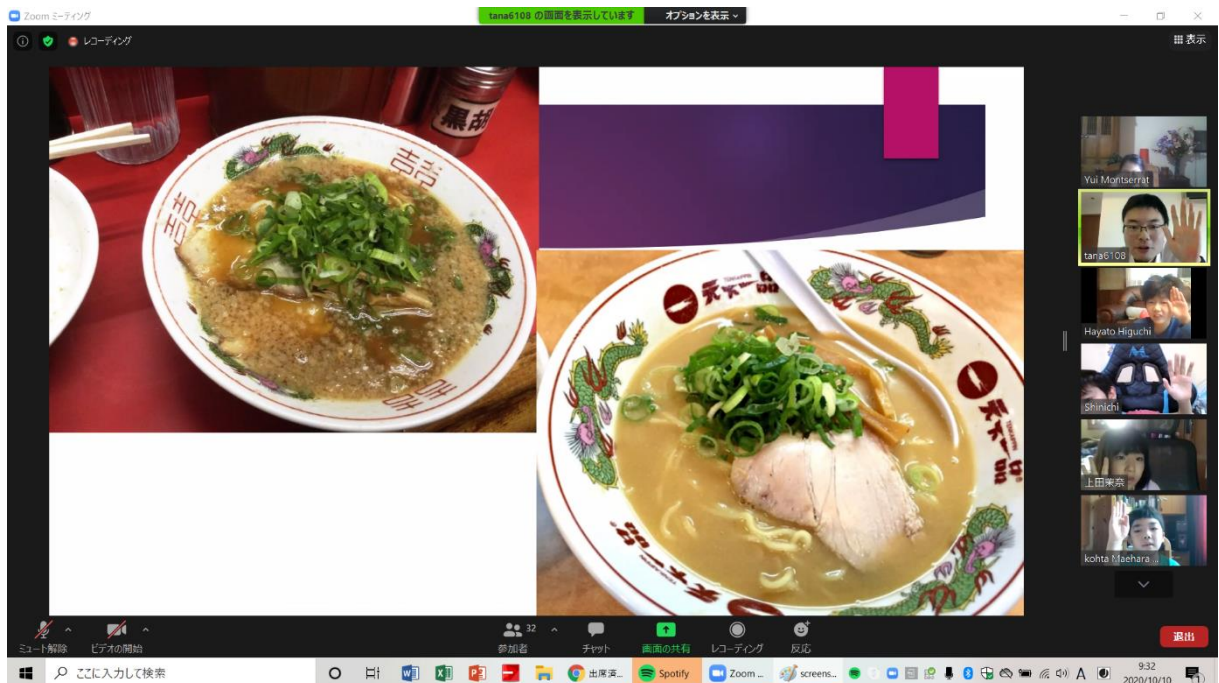
## 3. 日本についての紹介

- ・スカイツリー
- ・東寺五重塔

- ・上賀茂神社
- ・ラーメン
- ・寿司

○今からいくつかの日本の建物や、食べ物について紹介します。知っているものがある人は教えてください。

- ・高いビルがあることを知っている。
- ・ラーメンはパラグアイでも食べられます。
- ・寿司が好きです。

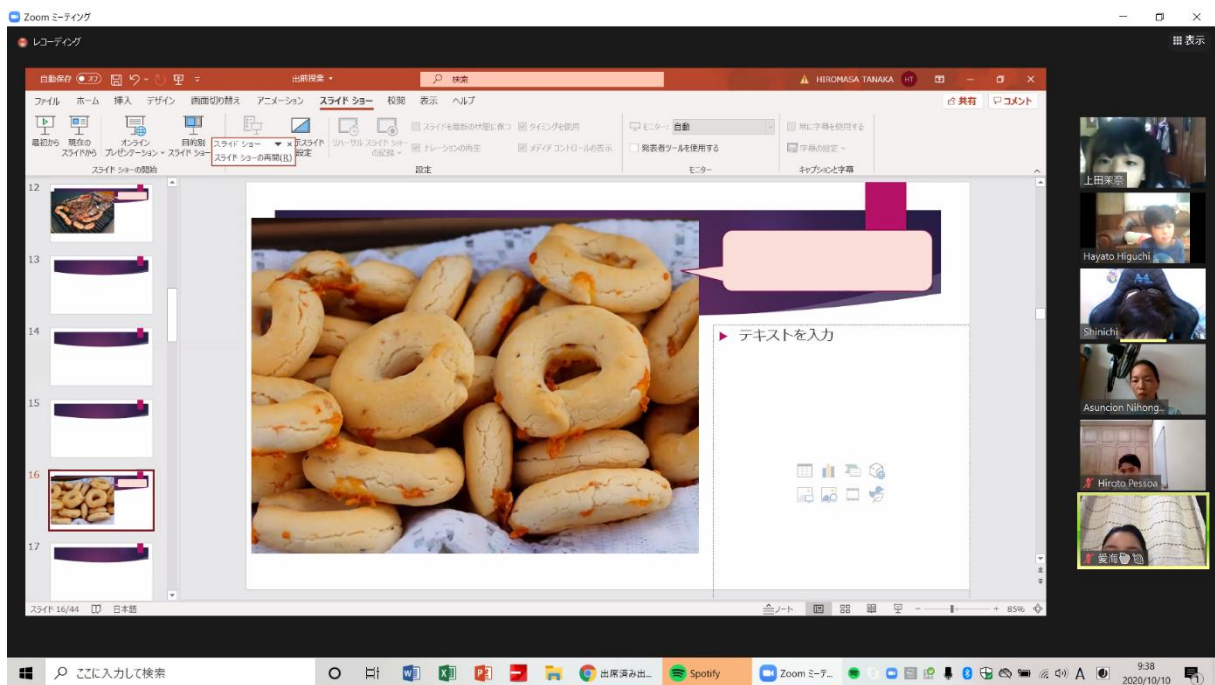
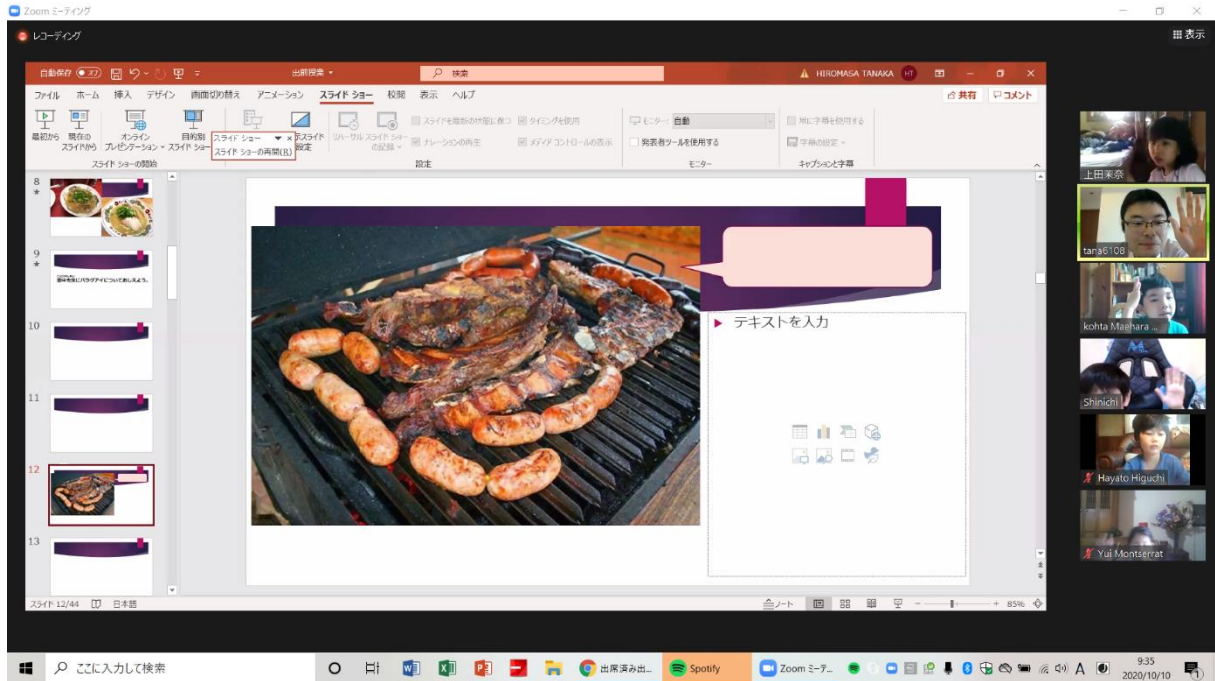


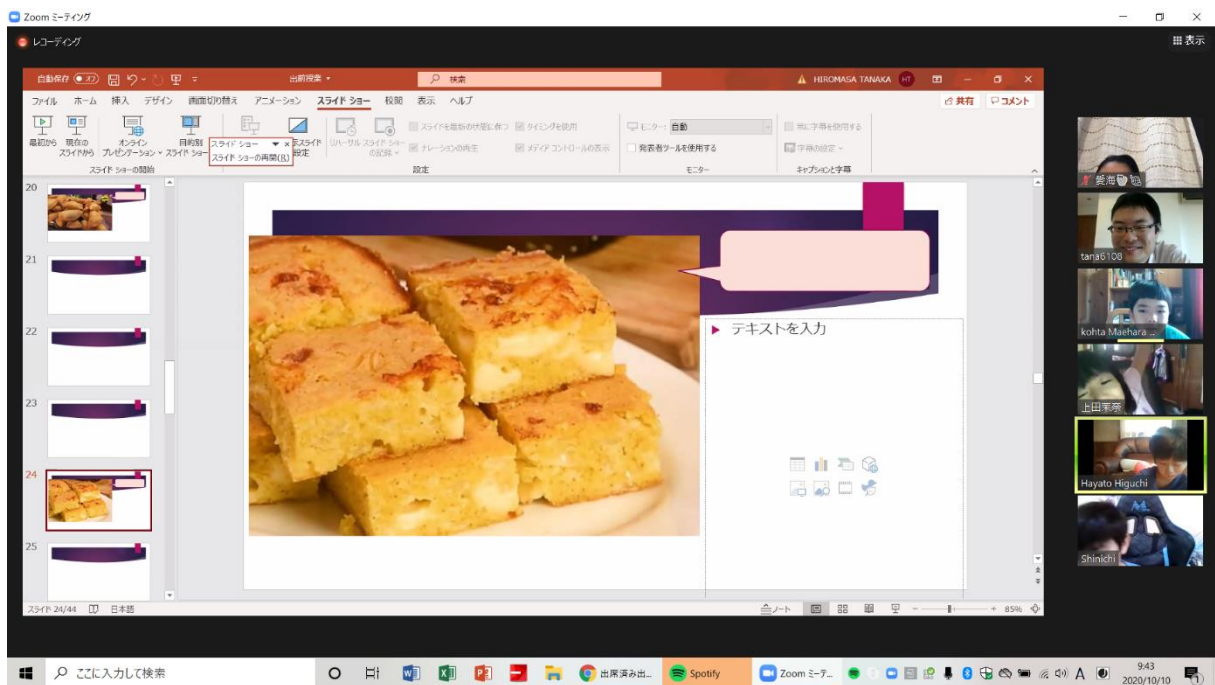
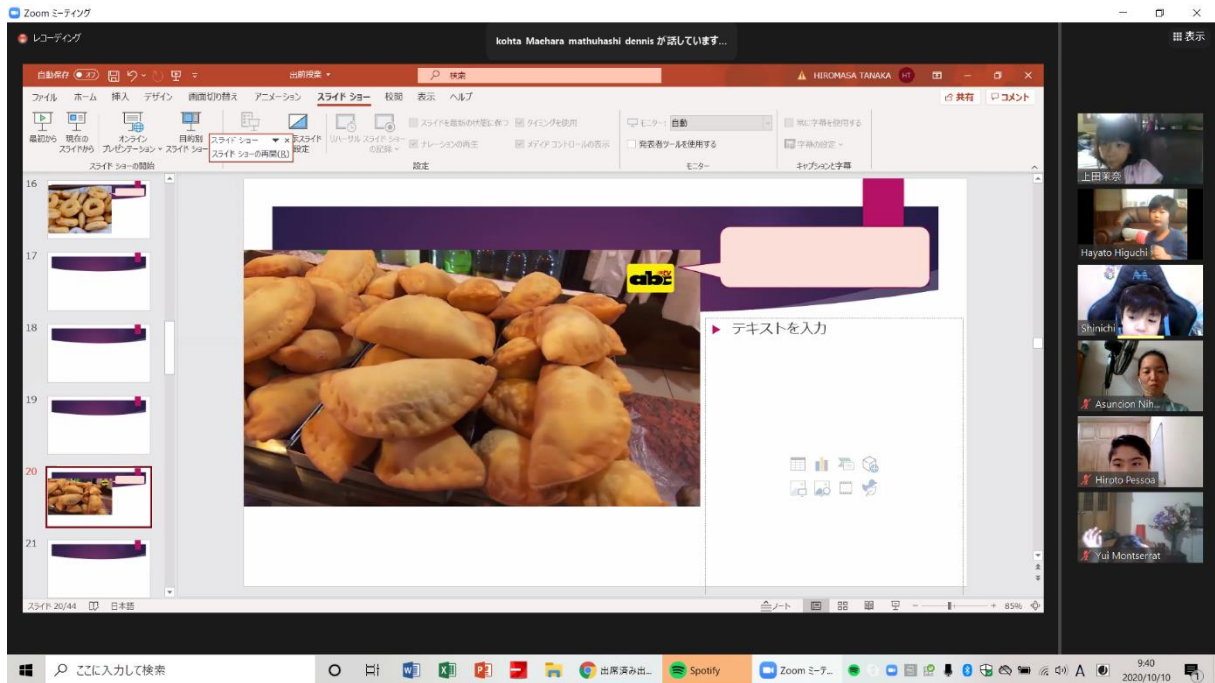
#### 4. パラグアイの紹介

- ・アサード
- ・チパ
- ・ソパパラグアージャ
- ・エンパナーダ
- ・アルファホール
  - ・テレレ
  - ・サッカー
  - ・ニヤンドウティ

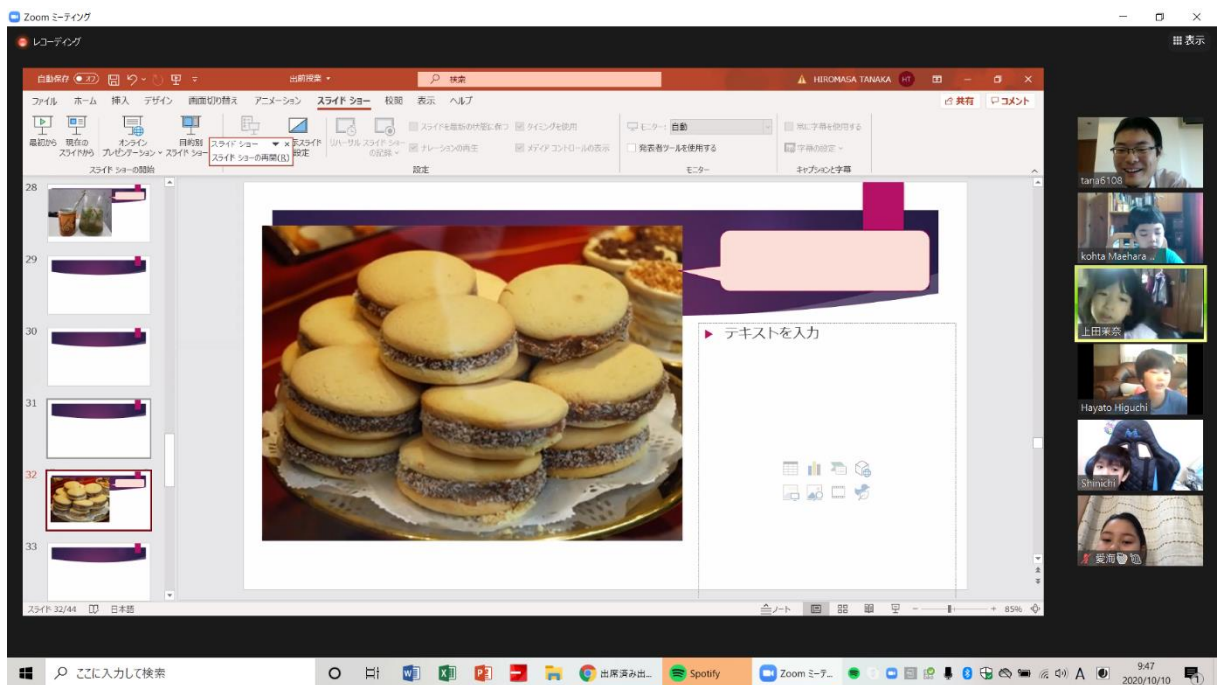
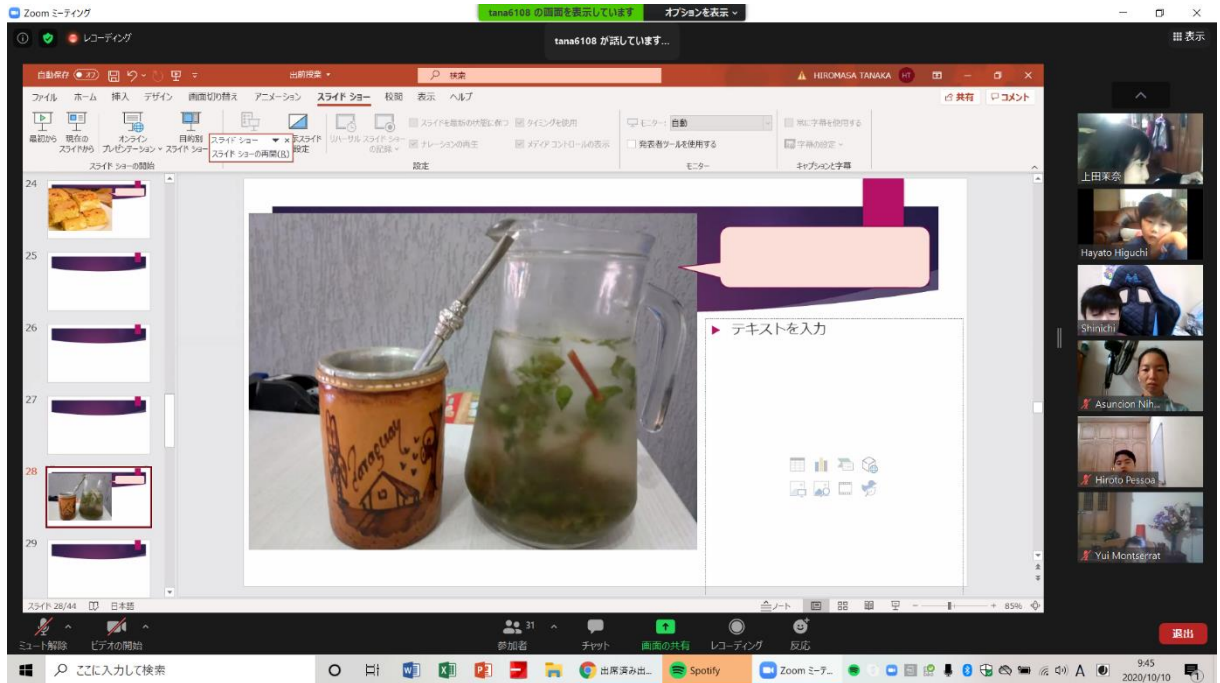
○今度はみんなから先生に、パラグアイについて教えてください。

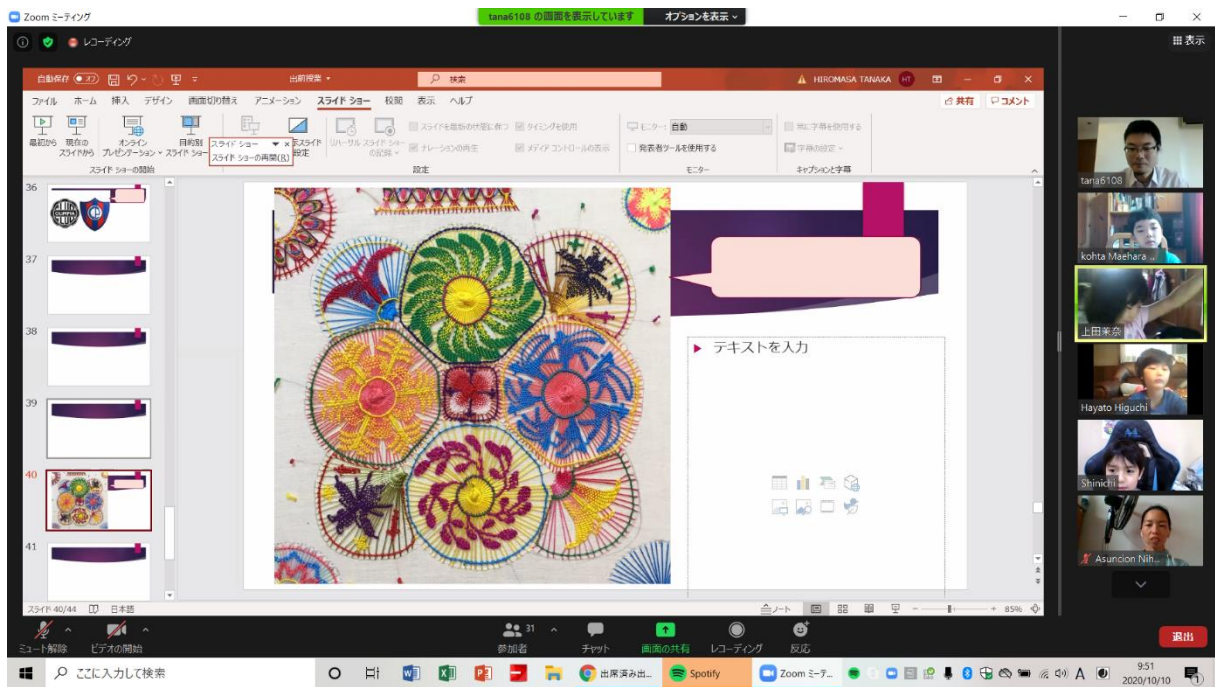
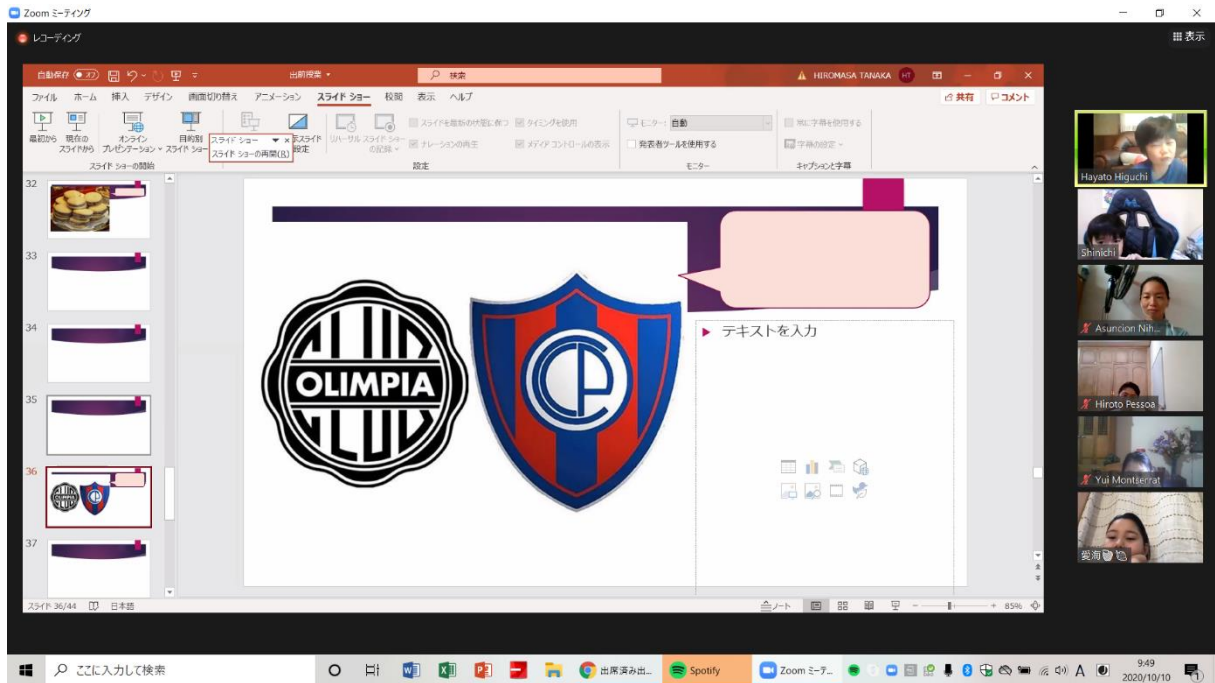
- ・アサードはお肉を焼いて食べることです。
- ・チパは温かいとおいしいです。
- ・エンパナーダはカルネが好きです。
- ・アルファホールはとても甘いです。

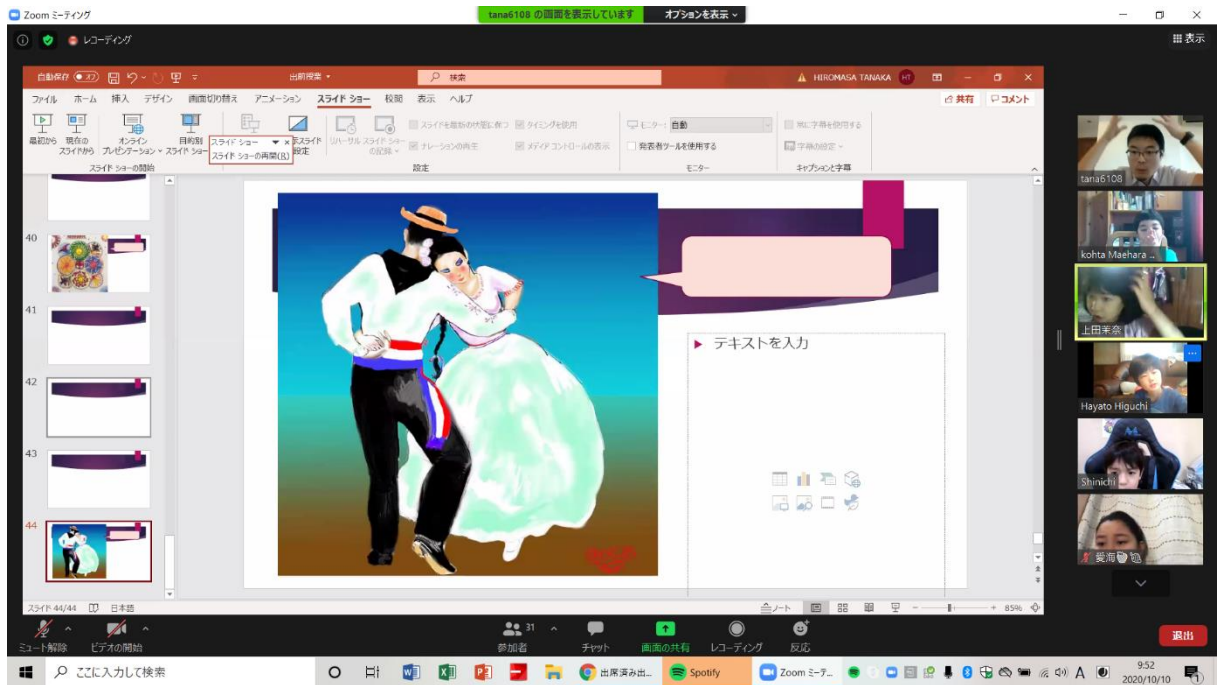










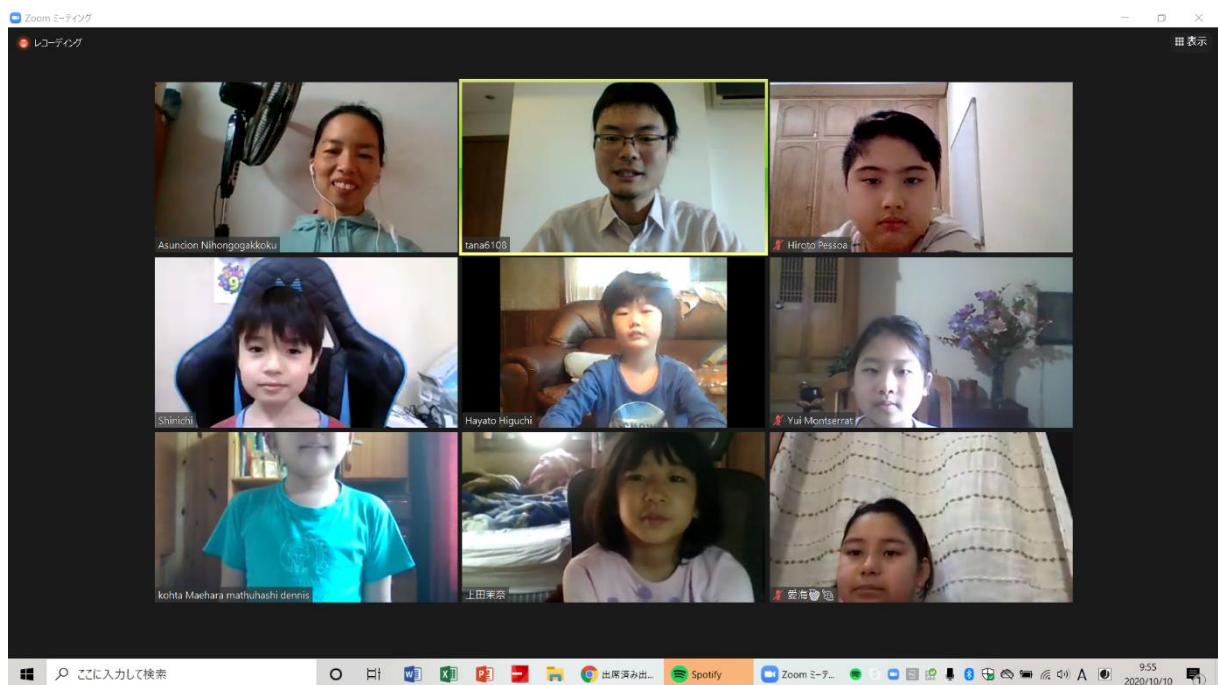


## 5. 本時のまとめをする

○パラグアイについてたくさん知ることができました。日本語でパラグアイについて説明できる力は大切です。両方の国についてたくさんを知ってってくださいね。

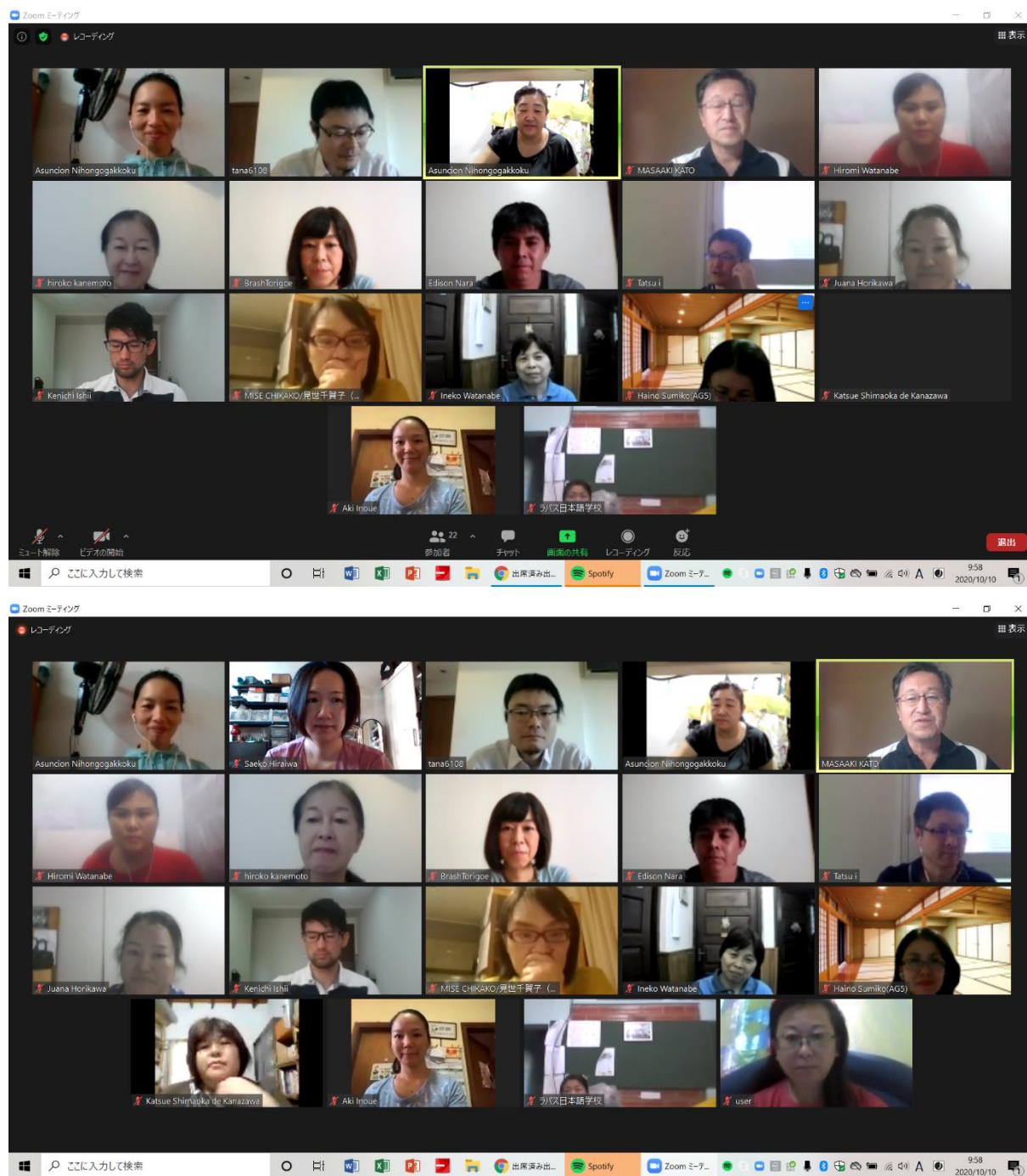
○日語校指導者による指名

★自分たちが知っていることを日本語を使って説明できたか。(発言)





※参加者と一緒に授業後の振り返り※



上記の授業に関して、次のような感想が参加者から寄せられた。

- ・生徒全員のマイクをオンにして、活発に発表できる場をお作りになったと理解しましたが、そ



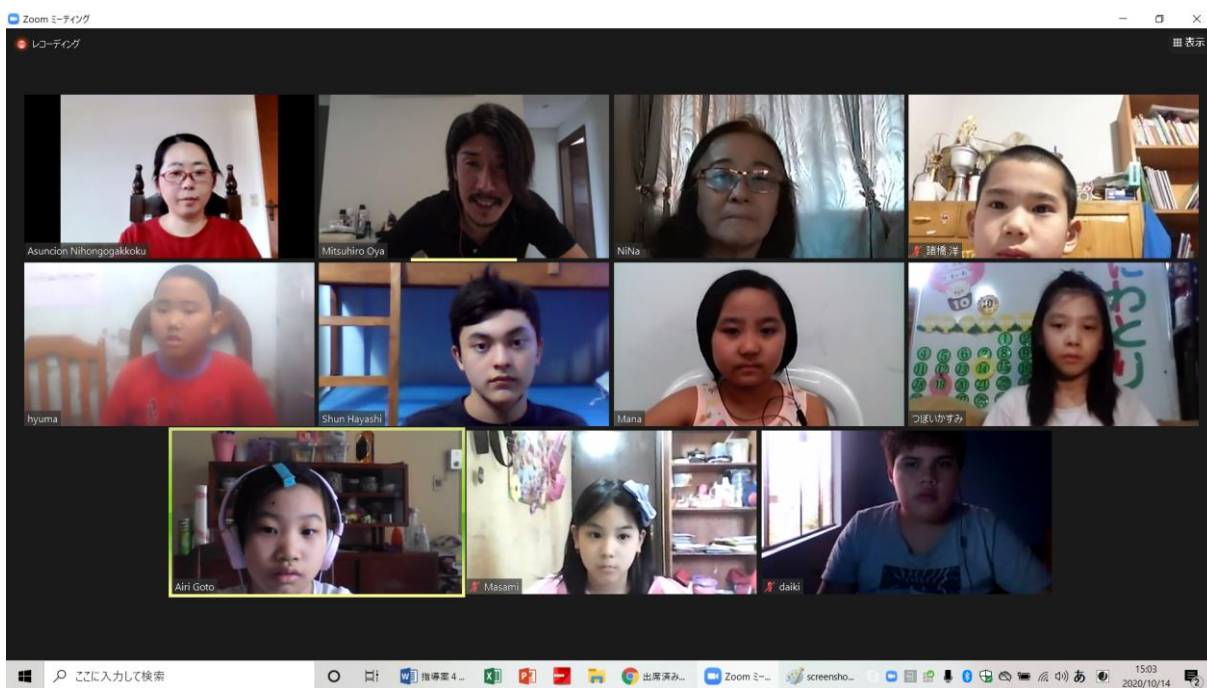
の通りの授業になったと思います。画面越しですが、田中先生が常に生徒の様子をしっかりと見ていらして、生徒の変化、例えば発表するのは恥ずかしいが、話すことは準備できている生徒の表情などを読み取って発表を促していらしたのが印象的でした。その姿を拝見して、対面授業でも子供たちの表情や様子の変化を見逃さないようにしたいと、改めて感じました。(ラ・コルメナ日本語学校 金澤克枝先生)

## ・第5回：概観

日本人学校教員による第5回目のオンライン出前授業を行った。

単元名 (小4・5)「すいせんします」

授業の様子1



### 1. アイスブレイキング

- 簡単なゲームで体と頭をほぐしていく。

Zoom ミーティング Mitsuhiko Oya の画面を表示しています オプションを表示

レコーディング

YouTube

脳トレ

次の動画

【イラスト間違い探し】集中力&注意力を鍛える脳トレ動画！【高齢者向け】 #249

18,037 回視聴 • 2020/10/09

脳トレクイズラボ

今回は、脳トレにおすすめの間違い探しクイズをご紹介します！

チャンネル登録

15:05 2020/10/14

Zoom ミーティング Mitsuhiko Oya の画面を表示しています オプションを表示

レコーディング

【イラスト間違い探し】集中力&注意力を鍛える脳トレ動画！【高齢者向け】 #249

3つの間違いを探してください

千ッッ

ポイ

2:10 / 8:09

15:07 2020/10/14

Zoom ミーティング Mitsuhiro Oya の画面を表示しています オプションを表示

Zoom ミーティング レコーディング

### 答え合わせ

Shun Hayashi Mitsuhiro Oya Airi Goto hyuma daiki 諸様洋

36 参加者 36 参加者 チャット 画面の共有 レコーディング 反応 退出

ここに入力して検索

15:08 2020/10/14

Zoom ミーティング レコーディング

### 3つの間違いを探してください

Shun Hayashi Mitsuhiro Oya Airi Goto hyuma daiki 諸様洋

ここに入力して検索

15:09 2020/10/14



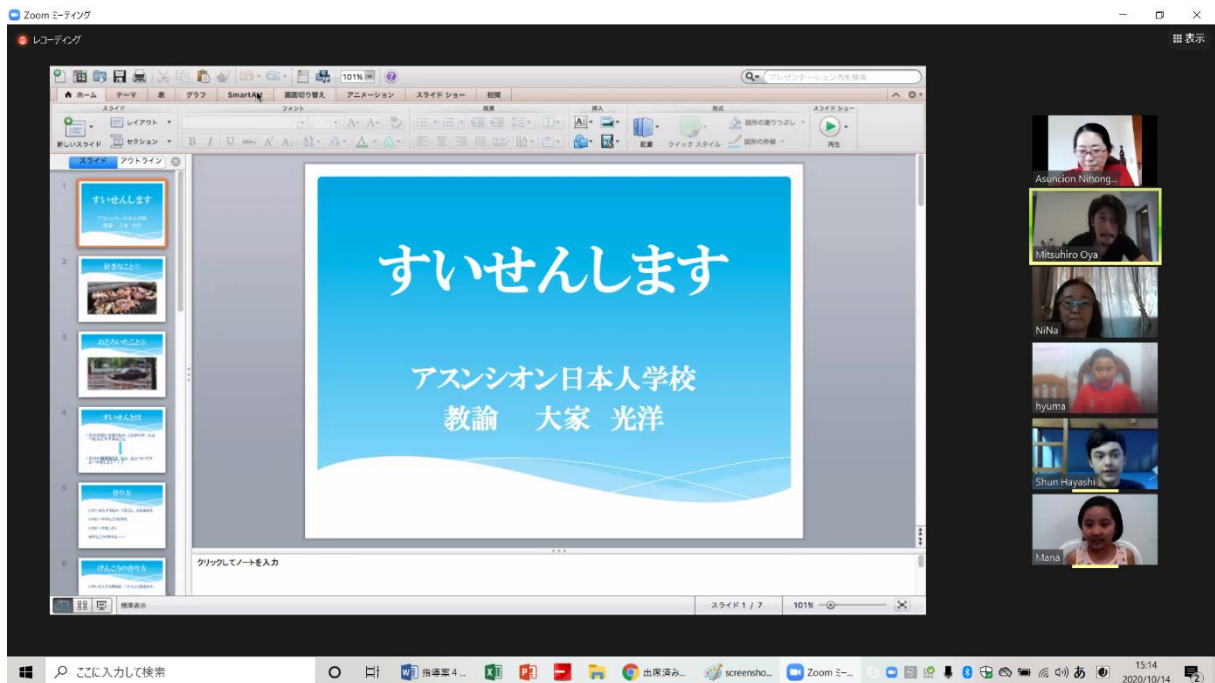






2. めあてを確認する。

めあて：「スピーチを考えて、発表しよう!!!」



Zoom ミーティング  
レコーディング  
Estuko Kudo が話しています...

# 好きなこと①



Airi Goto  
Mitsuhiro Oya  
つばしやすみ  
hyuma  
Shun Hayashi  
Mana

ここに入力して検索  
Word 指導書 4...  
Excel  
PowerPoint  
Outlook  
Chrome 出陣済み...  
screensho...  
Zoom ミー...  
15:15  
2020/10/14

Zoom ミーティング  
レコーディング

# おどろいたこと②



Airi Goto  
Mitsuhiro Oya  
Masami  
語修洋  
Shun Hayashi  
Mana

ここに入力して検索  
Word 指導書 4...  
Excel  
PowerPoint  
Outlook  
Chrome 出陣済み...  
screensho...  
Zoom ミー...  
15:16  
2020/10/14

Zoom ミーティング  
レコーディング

# すいせんとは

- \* 自分が良いと思うもの、ことがらや、人ぶつを人にすすめること。

↓

- \* 自分の好きなこと、もの、人についてスピーチをしよう!!!

ここに入力して検索

15:18  
2020/10/14

3. パワーポイントでスピーチの作り方を確認する。

○スピーチを作る手順を確認させて、教師の作ったお手本を提示する。

Zoom ミーティング  
レコーディング

# 作り方

- ① すいせんするもの、できごと、人を決める
- ② スピーチげんこうを作る
- ③ スピーチをしよう

※げんこうの作り方……

ここに入力して検索

15:19  
2020/10/14

Zoom ミーティング Mitsuihiro Oya の画面を表示しています オプションを表示

# マンディオカ

私がみなさんにすいせんするのはマンディオカです。  
 理由は、私はあまり芋が得意ではないですが、パラグアイにきてマンディオカを食べた時にすごく美味しいと感じました。アサードの時の肉との相性は絶妙です。

さらに私のマンディオカの好きなところは、あまりクセがなく、ホクホクしていて、甘みもあり、私の一番好きな芋です。

日本ではキャッサバと言われ、加工してタピオカとして売られていますが、マンディオカ自体をあまり売っているところを見たことはありません。だからこの美味しさを日本に伝えていきたいと思っています。

ちなみに私が好きなマンディオカはオーガウチョのマンディオカです。

Zoom ミーティング Mitsuihiro Oya の画面を表示しています オプションを表示

15:21 2020/10/14

Zoom ミーティング Mitsuihiro Oya の画面を表示しています オプションを表示

# げんこうの作り方

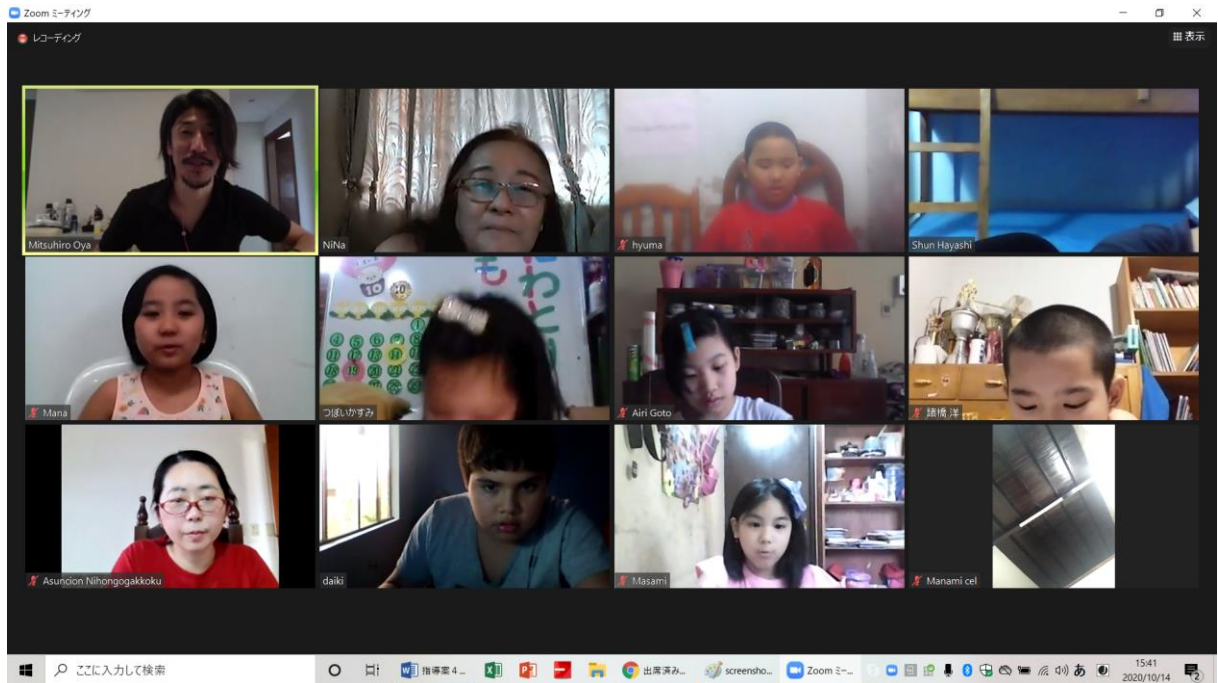
- ①すいせんする理由を二ついじょう書き出す。
- ②じゅんばんを考えながら文にする。
- ③まとめのことばを考える。(付け足し、感想)

Zoom ミーティング Mitsuihiro Oya の画面を表示しています オプションを表示

15:26 2020/10/14

4. 一人ひとりスピーチ原稿を考える。
- 適宜質問を受けながら、自由に考えさせる。
  - 理由を二つ以上考えさせる。





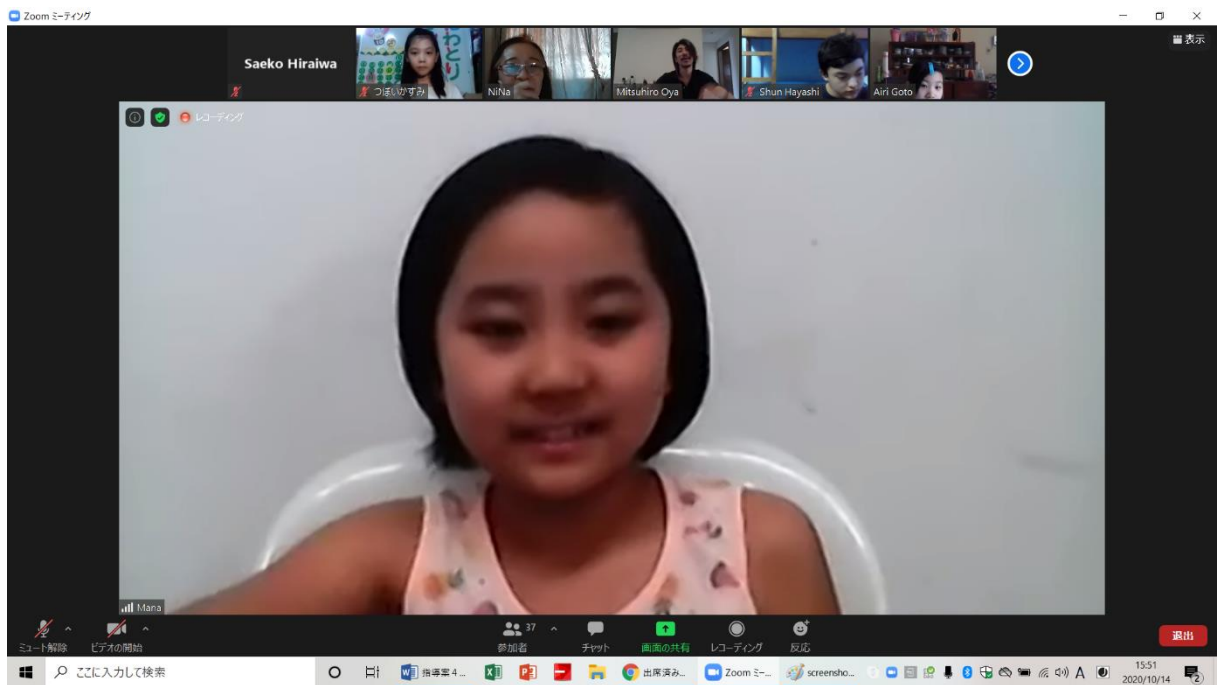
5. スピーチをする。

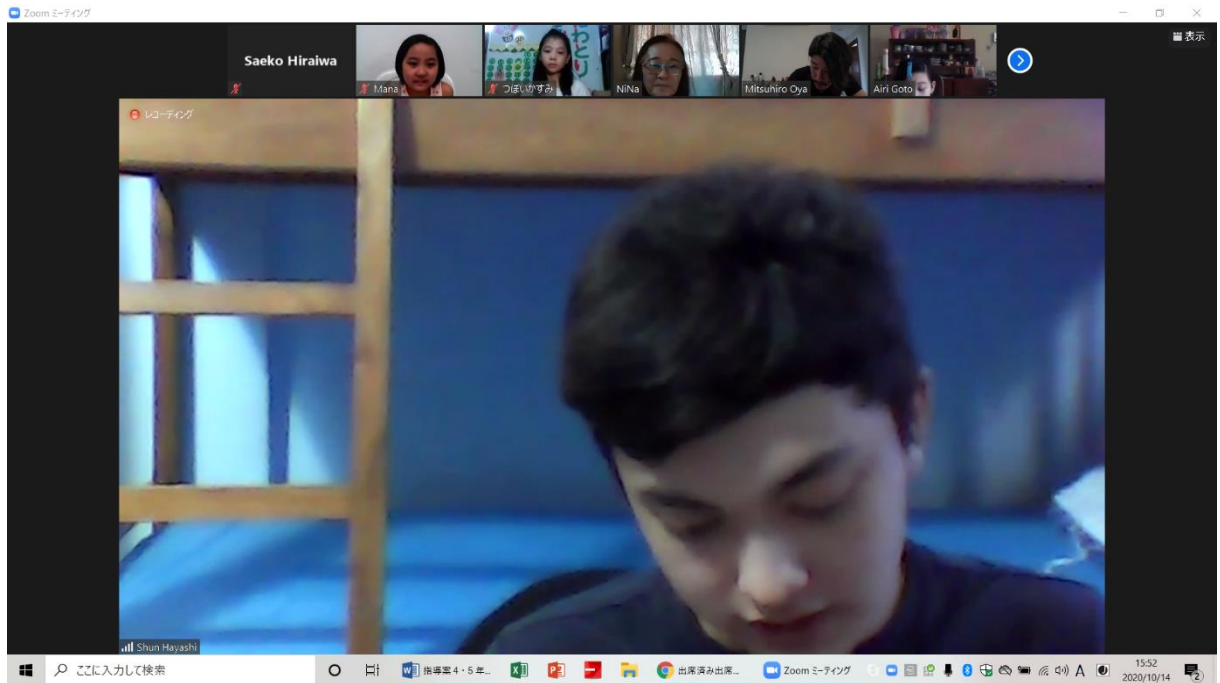
○読む時の注意点をおさえて、発表させる。

★具体的な理由を明確にし、スピーチを構成できているか。【発言】

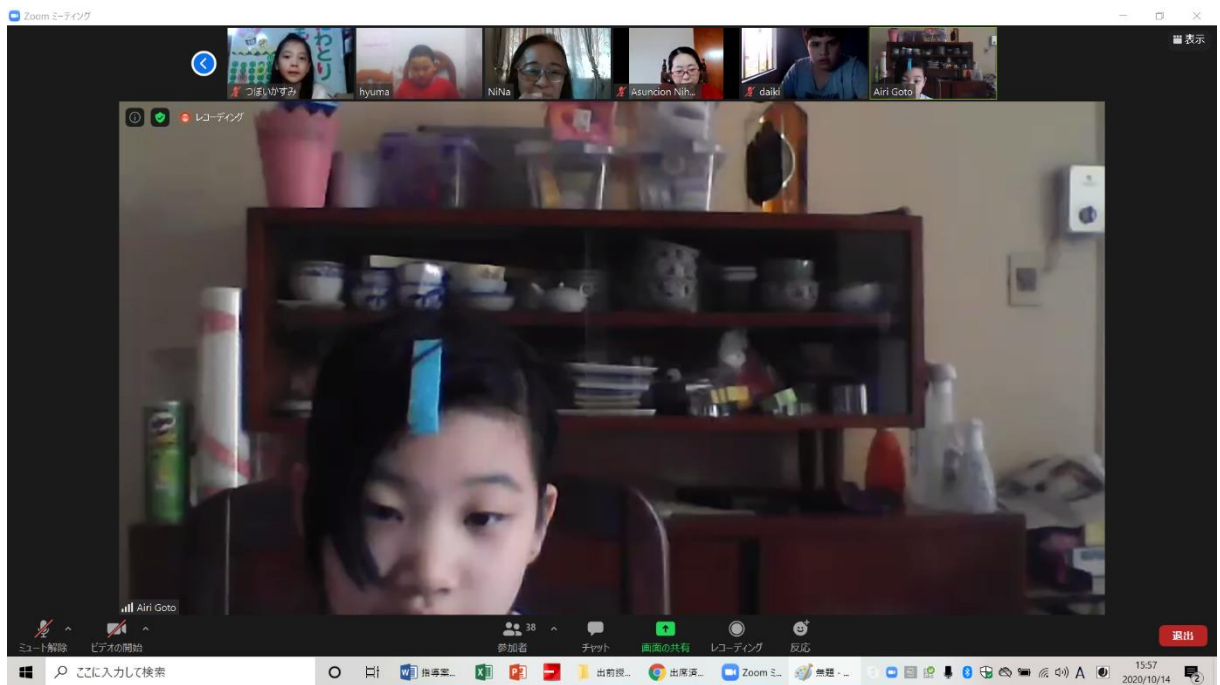
6 学習のまとめをする。







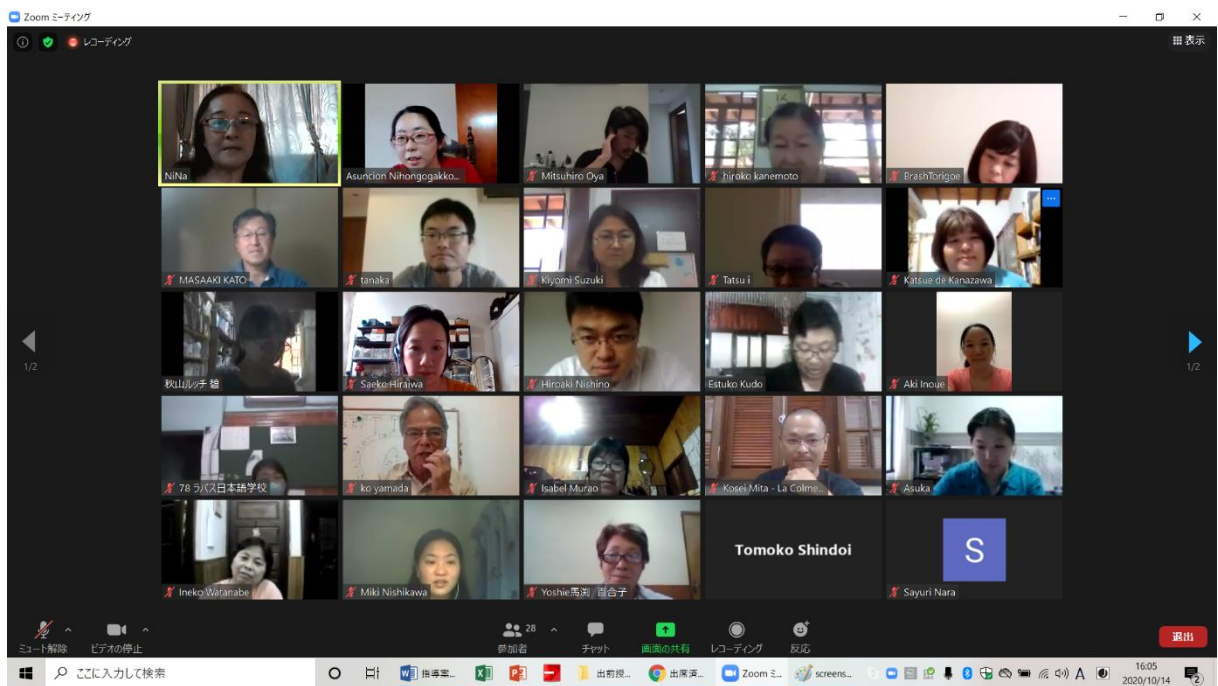








※参加者と一緒に授業後の振り返り※









上記の授業に関して、次のような感想が参加者から寄せられた。

・ 大家先生の授業で一番印象的だったのは、生徒への声掛けです。「心配しないで」「大丈夫だから」「(君たちは)わかるから」「ゆっくりでいいからね」とおっしゃりながら文づくりを見守っていらっしやいました。この声掛けで、生徒たちが安心して、リラックスして文づくりが出来たこ



とが想像できます。そしてみんなが書けたときに、「(みんなの話を聞くのが) 楽しみ!」「みんなが、何が好きか知りたい!!」とおっしゃいました。これで、生徒たちも「先生に話をきいてもらいたい」という気持ちがおきて、「話したい」という動機づけになったと感じました。準備されていたひな型は色分けがされており、自分が今どこを書いているのか、どこの書き方がよくわからないのかが、生徒自身で理解できるので、質問もしやすく、教師にとっても説明しやすいと思いました (ラ・コルメナ日本語学校 金澤克枝先生)

また、ラ・コルメナ日本語学校の三田耕生先生より、以下の意見が寄せられた。

①今回初めて「Zoom による授業」というものを拝見しました。生徒と教師が物理的に同一空間に存在しない、それも1対1ならまだしも、1対多…今回の授業では、生徒の1人が追い付いていないように見えたが、よくフォローされていてすごいなと思いました。同様の生徒が2人、3人と増えた場合、自分ではとても対処しきれないな、と思いながら拝見しました。

②推薦文というものを初めて作る生徒に対する説明として、

- ・そもそもそれは一体何であるのか
- ・最終的に目指す形
- ・その形を作るために必要となるパーツ
- ・各パーツに盛り込むべき要素

を、例や色分けを使うなどして分かりやすく教示されていて、教授法という点で非常に参考になりました。

(相手が子供であればもちろんですが、それが大人であれ) 自分にとっては既知の内容でも、「それを初めて見知る相手」にきちんと分かってもらうように伝えるためには、可能な限り相手の目線に立ち、要点をおさえた上で噛み砕いた丁寧な説明が重要であることを、再認識しました。

なお、コルメナにおいて、家庭で日常的に日本語を使う生徒はごくごく一部です。そのため、コルメナ日本語学校では「国語」ではなく、日本語を「外国語として」教えています。

コルメナの大部分の生徒にとっては「学校で習う日本語の単語・文法が知識のほぼ全て」であり、さらには既習内容を全て柔軟に使いこなせるわけでもありません。日本において「英語を勉強するのは学校の授業の時だけ」というような、成績中～下位の生徒の英語運用能力をご想像いただければ、コルメナでは「日本語の運用能力について」それと大体似たような状況と言えるかと思っています。

以上のような状況ですので、今回の授業は「レベル的には」簡単にコルメナで真似できるものではありません。しかし、各生徒への配慮や授業の進め方などという観点では、特に前記②の点など、参考にさせていただこうと思います。(ラ・コルメナ日本語学校 三田耕生先生)

## ・第6回：概観

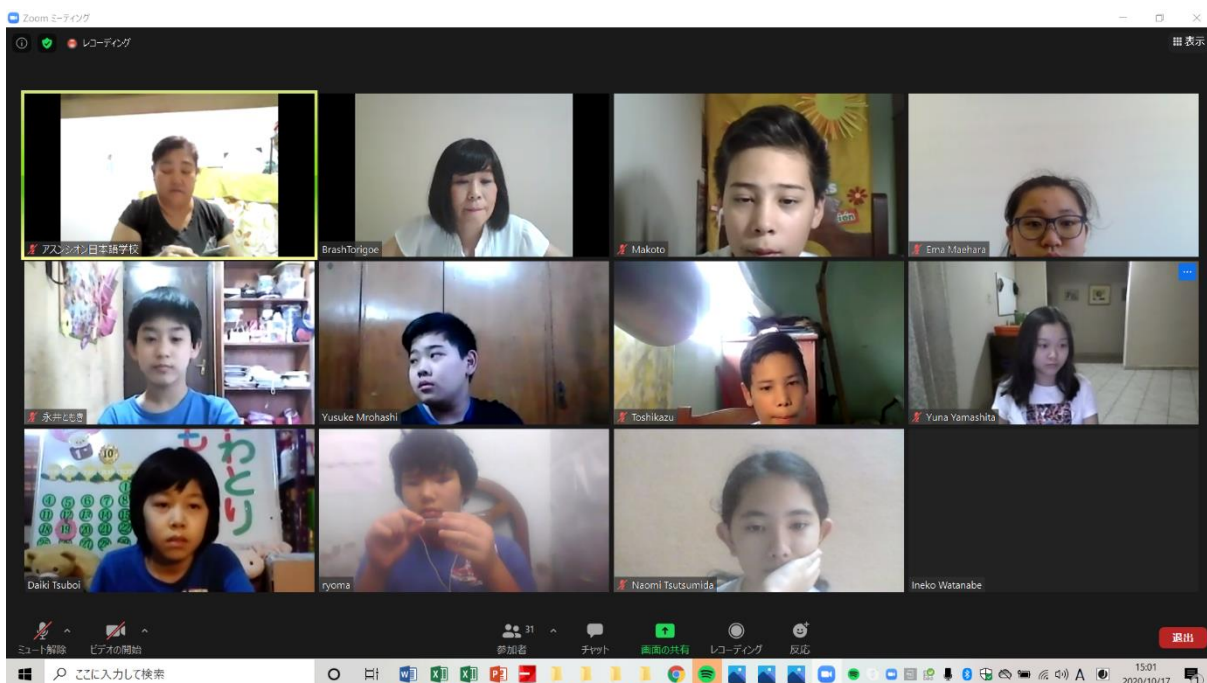
日本人学校教員による第6回目（最終回）のオンライン出前授業を行った。

### 単元名 (中1)「自分の将来について未来理想図を描こう」

#### 授業の様子1

##### 1. 導入

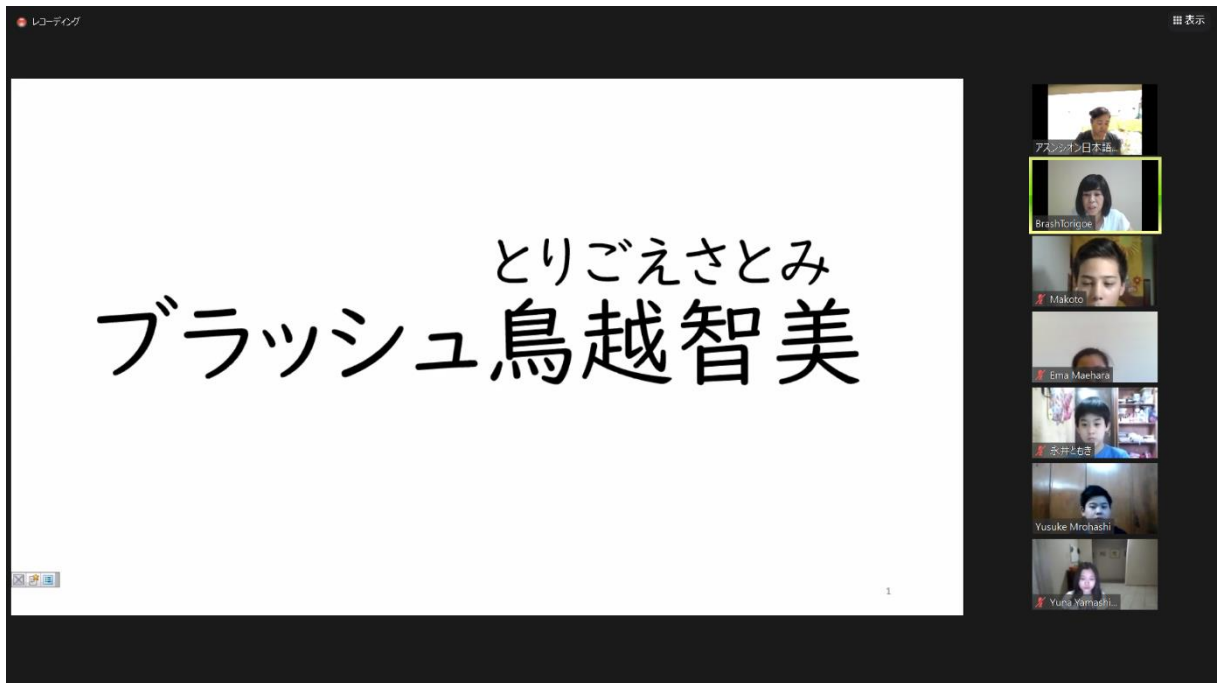
自分の将来や夢について、イメージを持つ。



レコーディング

とりごえさとみ  
ブラッシュ鳥越智美

1



アスシオン日本語  
BrashTorigoe  
Makoto  
Emi Maehara  
永井ともみ  
Yusuke Mrohashi  
Yuka Yamashi...

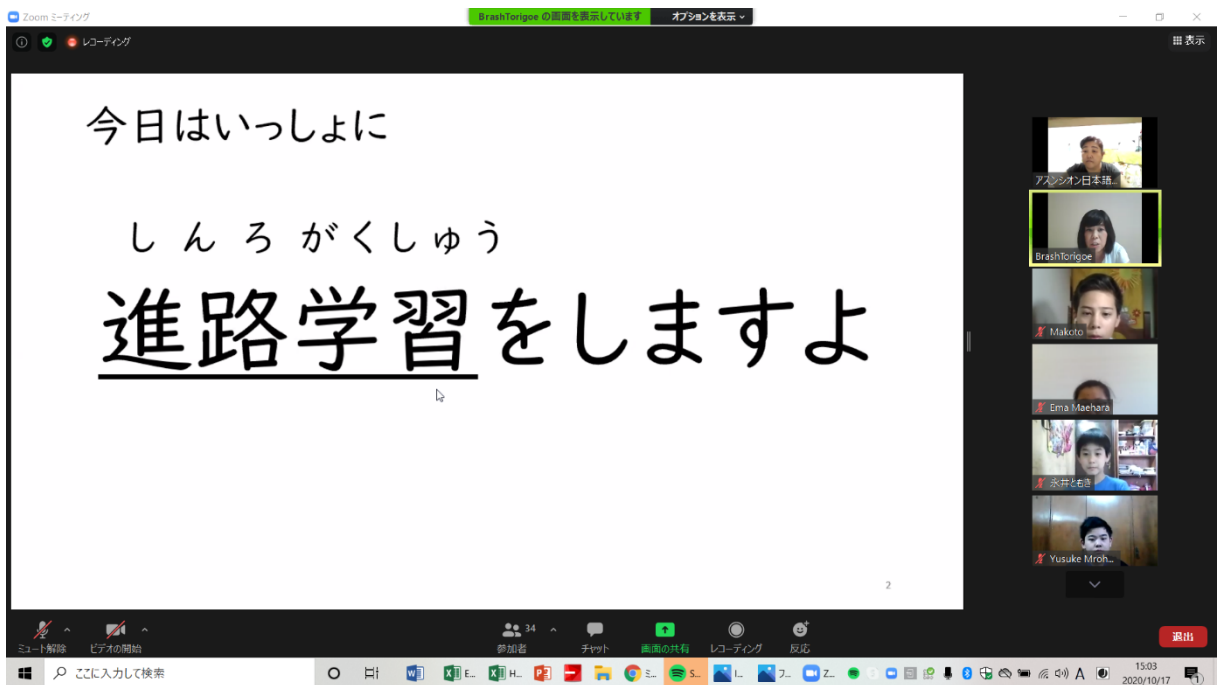
Zoom ミーティング

BrashTorigoe の画面を表示してはす オプションを表示

レコーディング

今日はいっしょに  
しんろがくしゅう  
進路学習をしますよ

2



アスシオン日本語  
BrashTorigoe  
Makoto  
Emi Maehara  
永井ともみ  
Yusuke Mroh...

ミュート解除 ビデオの開始 参加者 チャット 画面の共有 レコーディング 反応 退出

ここに入力して検索

15:03 2020/10/17

しょうらい ゆめ  
みなさんの、将来の夢を 教えてください

3

○将来どんな仕事をしてどんな生活をしたという夢がありますか。理由やきっかけは。

- ・「社長」「サッカー選手」「農家」
- ・まだ分からない→興味があること

○日本の同年代のなりたい職業を示し関心を深めさせる。

日本の中学生 なりたい職業

男子	女子
1位	
2位	プロスポーツプレイヤー
3位	ゲームクリエイター
4位	ITエンジニア・プログラマー
5位	社長などの会社経営者・起業家
6位	
	ものづくりエンジニア(自動車設計や開発)
8位	プロスポーツ選手
9位	歌手・俳優・声優などの芸能人
10位	会社員

2019年8月6日、ソニー生命株式会社が中高生を対象に行った「将来なりたい職業」

4



Zoom ミーティング BrashTorgoe の画面を表示しています オプションを表示

## 日本の中学生 になりたい職業

男子	女子
1位	1位
2位 プロスポーツプレイヤー	2位 絵を描く職業(漫画家・イラスト・アニメ)
3位 ゲームクリエイター	3位 医師
4位 ITエンジニア・プログラマー	4位
5位 社長などの会社経営者・起業家	5位 看護師
6位	6位 ショップ店員
ものづくりエンジニア(自動車設計や開発)	7位
8位 プロスポーツ選手	8位 文章を書く職業
9位 歌手・俳優・声優などの芸能人	9位 動物園や水族館の飼育員
10位 会社員	10位 デザイナー(ファッション・インテリア) 教師・教員 美容師

2019年8月6日、ソニー生命株式会社が中高生を対象に行った「将来になりたい職業」

4

36 参加者 | ミュート解除 | ビデオの開始 | チャット | 画面の共有 | レコーディング | 反応 | 退出

ここに入力して検索 | 15:11 2020/10/17

Zoom ミーティング レコーディング

## 日本の中学生 になりたい職業

男子	女子
1位	1位
2位 プロスポーツプレイヤー	2位 絵を描く職業(漫画家・イラスト・アニメ)
3位 ゲームクリエイター	3位 医師
4位 ITエンジニア・プログラマー	4位 公務員
5位 社長などの会社経営者・起業家	5位 看護師
6位	6位 ショップ店員
公務員 ものづくりエンジニア(自動車設計や開発)	7位
8位 プロスポーツ選手	8位 文章を書く職業
9位 歌手・俳優・声優などの芸能人	9位 動物園や水族館の飼育員
10位 会社員	10位 デザイナー(ファッション・インテリア) 教師・教員 美容師

2019年8月6日、ソニー生命株式会社が中高生を対象に行った「将来になりたい職業」

4

ここに入力して検索 | 15:13 2020/10/17

Zoom ミーティング  
レコーディング

## 日本の中学生 になりたい職業

男子		女子	
1位	YouTuberなどの動画投稿者	1位	歌手・俳優・声優などの芸能人
2位	プロスポーツプレイヤー	2位	絵を描く職業(漫画家・イラスト・アニメ)
3位	ゲームクリエイター	3位	医師
4位	ITエンジニア・プログラマー	4位	公務員
5位	社長などの会社経営者・起業家	5位	看護師
6位	公務員	6位	ショップ店員
	ものづくりエンジニア(自動車設計や開発)	7位	YouTuberなどの動画投稿者
8位	プロスポーツ選手	8位	文章を書く職業
9位	歌手・俳優・声優などの芸能人	9位	動物園や水族館の飼育員
10位	会社員	10位	デザイナー(ファッション・インテリア) 教師・教員 美容師

2019年8月6日、ソニー生命株式会社が中高生を対象に行った「将来になりたい職業」

4

ここに入力して検索

15:15  
2020/10/17

## 2. 本時の学習のねらいの確認

Zoom ミーティング  
レコーディング

BrashTongue の画面を表示しています オプションを表示



未来理想図を描こう  
みらいりそつず えが

ミュート解除 ビデオの開始

参加者 36

チャット 画面の共有 レコーディング 反応

ここに入力して検索

15:16  
2020/10/17

## 3. 質問に答えながら自分の将来を具体化する。

○紙に記入して「未来理想図」を作るよ。

① 将来、絶対にやってみたいことは何ですか。

- ② 20歳、30歳はどこで何をしていますか。
- ③ 何歳で結婚している？子供は何人ですか。
- ④ 自由質問

《問題の意図》

①～④：現実的な質問で生徒の思考を未来世界に誘導する。夢の実現及び過程に意識を向けさせる。

⑤：理想の実現に向けて、現在の自分のすべきことを明確にする

- ・ 20歳はアスンシオン、30歳は日本で見習い
- ・ 30歳ぐらいで結婚して子供は2人かな。
- ・ ④給料はいくらもらってますか。恋人はいますか。等

○①～④までまとめてみよう。

①

The screenshot shows a Zoom meeting interface. The main content is a hand-drawn diagram on a piece of paper. At the top, it says '将来の夢' (Future Dream). Below this, there are two vertical boxes. The top box is labeled '30才' (30 years old) and the bottom box is labeled '20才' (20 years old). At the bottom of the diagram, it says '智美 13才' (Tomomi 13 years old). A blue speech bubble points to the top of the paper with the text: '紙の1番上に、しょうらい ゆめ <将来の夢>と書いて、「自分の夢」を書こう。' (At the top of the paper, write 'しょうらい ゆめ <Future Dream>' and '自分の夢' (My Dream)). The Zoom interface includes a toolbar at the bottom with icons for mute, video, chat, and other functions, and a list of participants on the right side.

Zoom ミーティング  
BrashTorigoe の画面を表示しています オプションを表示

ノート準備

〈将来の夢〉

30才

20才

智美 13才

紙の1番上に、  
しょうらい ゆめ  
〈将来の夢〉と  
書いて、「自分の  
夢」を書こう。

とちゅうに、20才、30才  
と書いて、将来と今を「時  
間のライン」でつなげよう

紙の1番下に、  
「自分の名前と年令」  
を書こう

Zoom ミーティング  
BrashTorigoe の画面を表示しています オプションを表示

15:19  
2020/10/17

Zoom ミーティング  
BrashTorigoe の画面を表示しています オプションを表示

ノート準備

〈将来の夢〉

30才

20才

智美 13才

紙の1番上に、  
しょうらい ゆめ  
〈将来の夢〉と  
書いて、「自分の  
夢」を書こう。

とちゅうに、20才、30才  
と書いて、将来と今を「時  
間のライン」でつなげよう

紙の1番下に、  
「自分の名前と年令」  
を書こう

なぜの箱を2つ  
書こう

Zoom ミーティング  
BrashTorigoe の画面を表示しています オプションを表示

15:21  
2020/10/17



Zoom ミーティング

レコーディング

11

① 将来、絶対にやってみたいことはなんですか。

② 20才のあなた、どこに住んで、何をしていますか。  
30才のあなたは、どうですか？

Ryoma watanabe

BrashTongue

Makoto

永田ことし

daigo

アレンション日本語

ここに入力して検索

15:36 2020/10/17

レコーディング

BrashTongue の動画を表示しています オプションを表示

11

① 将来、絶対にやってみたいことはなんですか。

② 20才のあなた、どこに住んで、何をしていますか。  
30才のあなたは、どうですか？

ビデオのピン留めを解除

Yusuke Mrohashi

ミュート解除

ビデオの開始

参加者 36

チャット

画面の共有

レコーディング

反応

退出

Zoom ミーティング

BrashTorigoe の画面を表示しています オプションを表示

① 将来、絶対にやってみたいことはなんですか。

② 20才のあなた、どこに住んで、何をしていますか。  
30才のあなたは、どうですか？

11

Daiki Tsuboi

15:41 2020/10/17

Zoom ミーティング

レコーディング

① 10年後から20年後、あなたはどこに住んでいて何をしていますか。

② ここまで、一番嬉しかったことと、辛かったことは何ですか。  
(いくつかのポイントに立ち寄って、見てください。)

③ あなたは結婚していますか。子供は何人ですか。

④ 自由質問 (みなさんが質問を考えてください。)  
※自分や他の人の将来、気になることを、質問しよう。

13

Yusuke Mrehashi

BrashTorigoe

Ryoma watanabe

アズシタ>日本社

Ishue Makoto

永井こもぎ

15:48 2020/10/17

4. 現在の自己を振り返る。

⑤現在の自分は、どんなことをやるのが大事でしょうか。

○最後の質問です。

・日本語をもっと頑張る。・お金を貯金。・友達を大事にする。・遊ぶ・本を読む・仕事について調べてみる。

Zoom ミーティング  
レコーディング

① 10年後から20年後、あなたはどこに住んでいて何をしていますか。

② ここまで、一番嬉しかったことと、辛かったことは何ですか。  
(いくつかのポイントに立ち寄って、見てきてください。)

③ あなたは結婚していますか。子供は何人ですか。

④ 自由質問 (みなさんが質問を考えてください。)  
※自分や他の人の将来、気になることを、質問しよう。

⑤ 現在の自分は、理想を手に入れるために、どんなことをやるのが大事ですか。

14

Brash Torigoe  
Ryoma watanabe  
永井 ともき  
Inoue Makoto  
Daiki Tsuboi  
アスオン日本語

ここに入力して検索

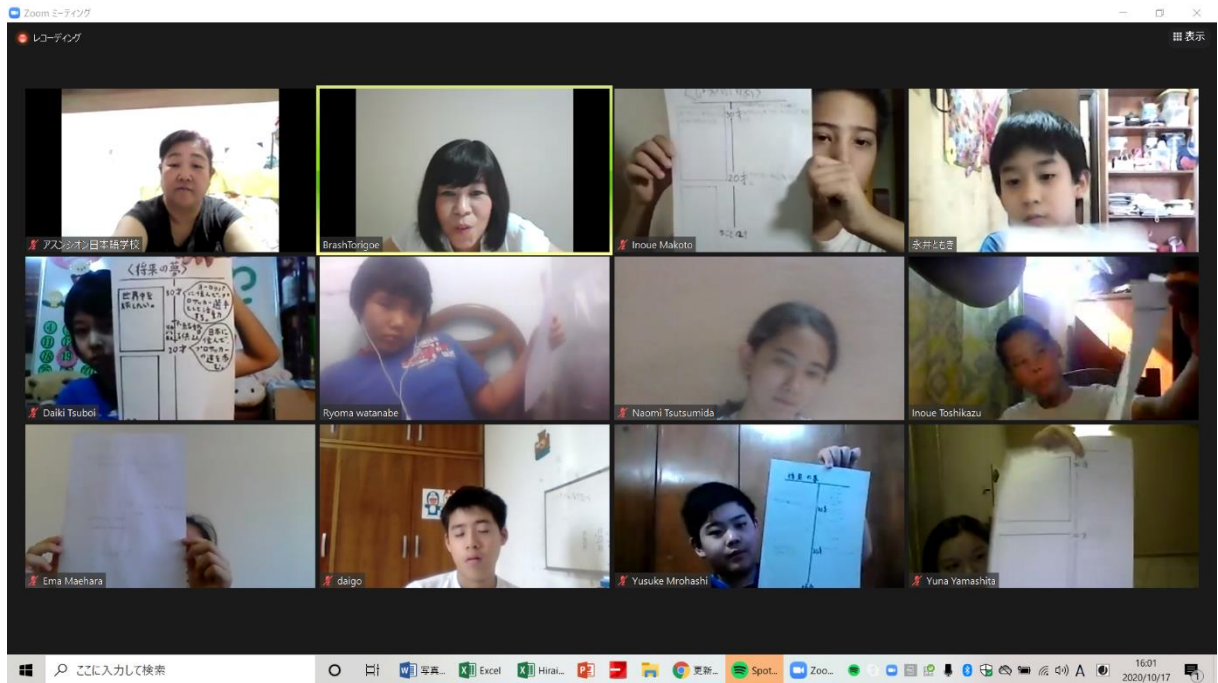
15:54  
2020/10/17

Zoom ミーティング  
レコーディング

アスオン日本語学校  
Brash Torigoe  
Inoue Makoto  
永井 ともき  
Daiki Tsuboi  
Ryoma watanabe  
Naomi Tsutsumida  
Inoue Toshikazu  
Ema Maehara  
daigo  
Yuna Yamashita  
Yusuke Mrohashi

ここに入力して検索

16:01  
2020/10/17

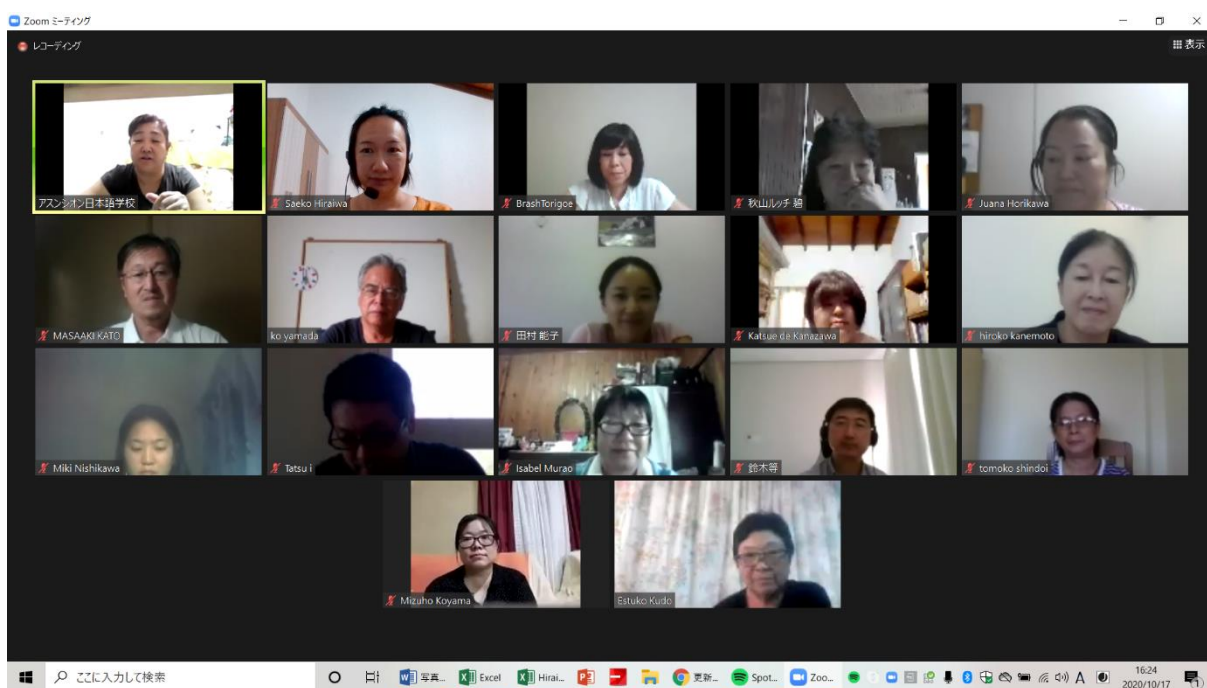
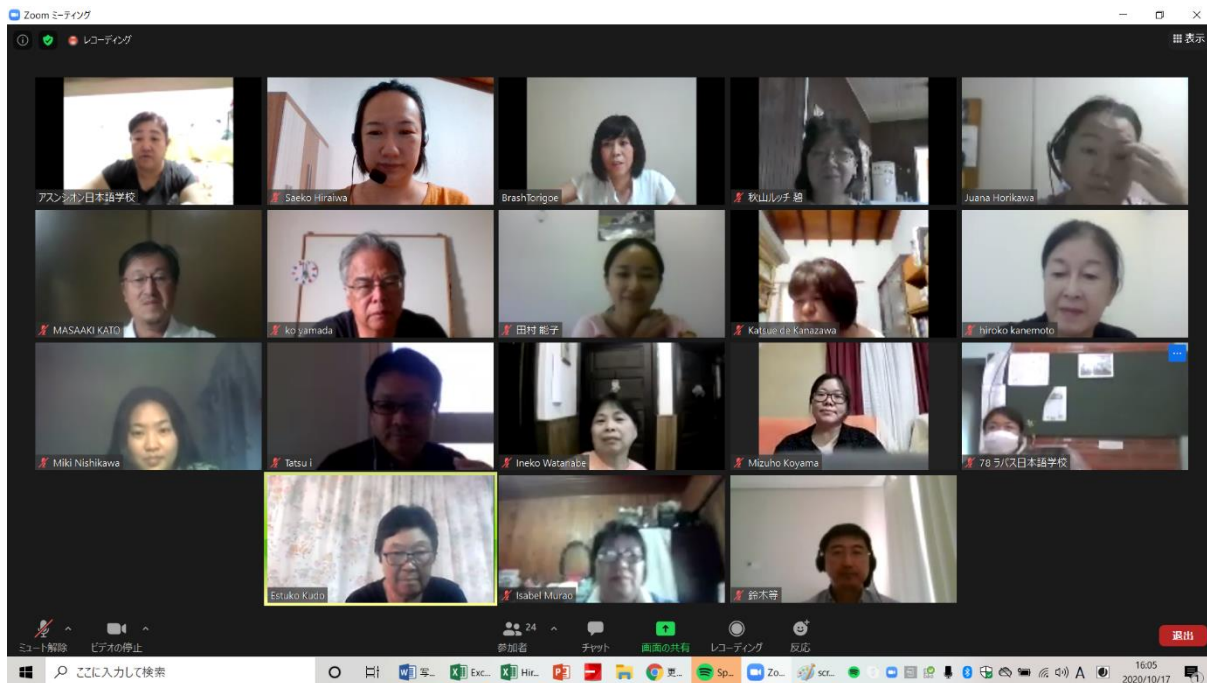


5. 本時の学習のフィードバックをする

○「未来理想図」を実現するために、アンテナを張ってどんどんチャレンジしていこう。







上記の授業に関して、次のような感想が参加者から寄せられた。

・生徒たちと鳥越先生の息が合っていた・・・という表現が正しいかどうかわかりませんが、先生と生徒、または生徒同士のやり取りがとても心地よかったです。当日にも申しましたが、まるで対面授業を真ん中の特等席で拝見しているような、不思議な感覚でした。それは、先生が画面越しで生徒をよくご覧になっていて、生徒への声掛けやお受け答えが素晴らしかったからではな

いか、と思いました。また、何人かが一斉に手をあげた時に、その中から一人だけをあてるのではなく、「〇〇さんの次が□□さん、その後△△さんに発表してもらいます」と発表の順番をお決めになりました。対面授業でもよくあることですが、この方法を取れば、低学年でも落ち着いて自分の順番を待つことができると思います。今度この方法を試してみたいと思います。

全ての授業を拝見して思ったことは、やはり、先生方の生徒への目配り・心配りと声掛けが素晴らしかったことです。そして、生徒たちの発言を絶対に否定せず、共感の声掛けをされていることです。そして別の方法で軌道修正をされていました。現在自分がどれだけできているかわかりませんが、これはぜひ、今後自分の授業の中で徹底させたいと考えています。6回の授業を通して得た気づきや学びを大切にして、生徒たちと接していきたいと思います。本当にありがとうございました。(ラ・コルメナ日本語学校 金澤克枝先生)

普段から仲の良い生徒同士が、お互いの夢を励まし合うような場面も見られる、なごやかな授業となった。

全6回の最終回にふさわしい、よい雰囲気の中、出前授業を終えることができたように思う。

総括として、今年度の出前授業は、児童生徒にも、参加者からも、大変に好評を持って受け入れられたと感じる。

いくつかの授業では、最後に生徒たちから「もっと先生と勉強したい」「楽しかった」等の声が聞かれたほか、参加者からも、生徒にきめ細やかに対応する本校教員の授業への姿勢が良かったという感想を聞くことができたことが、大きな喜びとなった。

コロナ禍でなければ、このようなオンライン形式の授業は考えられなかったことではあるが、移住地にある学校への教師研修や出前授業等、正常な状態であっても活用できる可能性がある。今後は、「オンライン授業」というものを選択肢の一つに入れることを積極的に考えていきたい。

### 2.3. 今後の課題等

本年度は、例年のように、対面による出前授業を行うことができなかったため、オンラインでの実施となったが、そこで以下のような気づきがあった。

・良い点：

従来であれば地方の移住地の日本語学校の先生方は出前授業を見学することはできなかったが、オンライン形態であったため、多くの見学者を迎えることができ、アンケートではたくさんの意見

をもらうことができた。今後、新型コロナウイルス感染症が収束に向かい、通常の対面授業が叶うようになった後でも同じような取り組みができるとよい。通常授業+オンラインでも配信するという、積極的な発信を行っていくことが地方の日本語学校に対してもよい働きかけになると考える。

・反省点：

アンケートによる意見の収集を行うことはできたが、日本人学校教員と日本語学校の先生方との活発な意見交換は、例年に比べて少なくなった。

協議会のような場を設けて、担当学年の教員同士がペアになってフィードバックを出し合う時間があってもよかったかもしれないが、時間的な制約上、大変難しかった。

また、例年であれば出前授業の日程は1日のみで、同じ日に並行して学年ごとの授業を行うが、今年は全6回に分けて行ったため、1回1回は短いものの、トータルの時間としてはより多く時間を割くこととなった。

<今後の課題等>

- ・ パラグアイでは、今後対面授業を行うか、またはオンライン授業を継続するか、パラグアイ教育省の方針が明確に定まっていない（2021年2月現在）。また、対面授業が決まっても、すぐに撤回される可能性もある。ついては、本年度行ったような、オンラインによる出前授業の取り組みを期待したい。
- ・ オンラインであれば、アスンシオン日本語学校に向けてだけでなく、地方の移住地の日本語学校を対象に出前授業を行うという取り組みも考えられる。
- ・ 地方の移住地のインターネット環境は、アスンシオン等の都市部と比べてあまり良くないため、オンラインによる出前授業が可能かどうかは、確認が必要である。

### 3. 副読本活用事例集、移住かるた制作について

#### ・副読本活用事例集について：

昨年度、本プロジェクトにおいて社会科副読本『わたしたちのパラグアイ 第3版』を編集・発行した。本年度は、この副読本がより活用されることを期待して、授業を実際に行う教師向けに、その活用方法を示した『わたしたちのパラグアイ 第3版 活用事例集』を作成した（以下『活用事例集』と表記）。指導案に近い形ではあるものの、あくまで『活用事例集』であり、使用する教師自身が、自身や担当する児童生徒に合わせてアレンジし、授業に応用するよう願って作成したものである。

さらに、副読本だけではなく、本校にて2018年度に作成した「パラグアイ版 移住すごろく」および2020年度に作成した「パラグアイ 移住かるた」の活用方法についても記載したため、これまでの制作物もぜひ活かしてほしいという期待が込められている。

#### ・移住かるたについて：

本年度のもう一つの成果物である「パラグアイ 移住かるた」は、パラグアイへの日本人の移住の歴史や、移住者のさまざまな体験について、日本人や日系人の児童生徒が遊びを通して学べるように作成したものである。

読み札の川柳は、パラグアイ日系老人クラブ連合会が実施しているシルバー川柳コンクールの応募作品の中から、移住に関して詠まれた句を日本人学校の教員が独自に選出したものと、アスンシオン日本語学校の児童生徒および有志の方々に詠んでいただいたもので、絵札は、パラグアイ各地の日本語学校の先生方、当プロジェクトにご賛同くださった有志の方々、日本人会連合会、各移住地の日本人会、移住史料館のご協力のもと、当時の貴重な写真や、当時の様子を再現した写真を集めた。

絵札の裏には読み札の川柳についての解説を設けており、その解説にはスペイン語翻訳を掲載しているため、日本語学校で日本語を学んでいる子どもたちの日本語理解の手助けともなる。

完成した活用事例集および移住かるたは関係先に配布する予定である。



#### 4. 総括～本年度の成果および来年度の見通し～

##### ・本年度の成果：

本年度は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、当初計画していた事業をほとんど行うことができない状況に追い込まれたものの、その中でも可能な範囲で、できるだけ事業に尽力した。

本校を拠点とした日本式の教育方法の発信、普及という目標については、例年行っていた合同研修会（モデル授業）や、書写指導などを行うことはできなかったが、出前授業についてはオンライン形式で実施することができた。

また、昨年度制作の社会科副読本『わたしたちのパラグアイ 第3版』の『活用事例集』、および『パラグアイ 移住かるた』を、教材開発の取り組みとして作成することができた。

##### ・来年度の見通し 「持続可能な支援の模索」：

パラグアイでは、2020年3月より全土でロックダウンが行われ、学校教育については、オンライン授業のみが実施されるなど、厳しい対応を迫られた。2021年2月より新年度が開始されたが、新型コロナウイルス感染症への対応は一律ではない。私立学校では対面授業とオンライン授業のハイブリッド式（希望者はオンラインのみ）で、公立学校では3月より対面授業を実施するとされてはいるものの、その方針はすぐに転換する可能性もある。本プロジェクトの主要な協力先であるアスンシオン日本語学校では、オンライン授業のみで新年度を開始している。

また、新年度には教員の入れ替えがあり、本年度末に3名の派遣教員が帰国し、新たに3名が赴任する。2名の教員を4年目として残すことが決まっているものの、新校長による新しい体制のもと、半数の教員が入れ替わることとなるため、まずは学校自体をきちんと整えて、新学期をスタートさせることが重要となる。

このように多くの不確定事項に対応する必要があることから、来年度は成果物等の作成をするのは難しいと考える。

また、2021年度は本プロジェクトの最終年度にあたる。本プロジェクトがすべて終了した後も、これまで行ってきた取り組みが活かされるよう希望することから、来年度の計画として、「本プロジェクトの終了後にも、本校がパラグアイ各地の日系の日本語学校や現地の学校と学びあったり貢献したりできるような、持続可能な取り組みの方向性を整える」ということが課題であると考えている。